

(受住 7 - 2)

宇治東山市営住宅浴室ほか改修工事(その1)

図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
A-00	図面リスト	NON	M-01	機械設備工事特記仕様書 1	NON
A-01	共通特記仕様書	NON	M-02	機械設備工事特記仕様書 2	NON
A-02	建築改修工事特記仕様書 1	NON	M-03	排水設備配置図(現況・改修)	1/150・1/30
A-03	建築改修工事特記仕様書 2	NON	M-04	排水設備図 平面詳細図(現況・撤去)	1/50
A-04	建築改修工事特記仕様書 3	NON	M-05	排水設備図 平面詳細図(改修)	1/50
A-05	建築改修工事特記仕様書 4	NON	M-06	給水・給湯・ガス設備図 平面詳細図(現況・撤去)	1/50
A-06	建築改修工事特記仕様書 5	NON	M-07	給水・給湯・ガス設備図 平面詳細図(改修)	1/50
A-07	アスベスト対策工事特記仕様書	NON	M-08	給水・給湯・ガス設備図 平面詳細図(現況・撤去)	1/50
A-08	附近見取り図・配置図	1/150・1/2500	M-09	換気設備図 平面詳細図(現況・撤去)	1/50
A-09	平面詳細図(現況・撤去)	1/50	M-10	換気設備図 平面詳細図(改修)	1/50・1/20・1/10
A-10	平面詳細図(改修)	1/50	M-11	給排水・給湯・換気設備図 機器詳細図	1/50・1/20・1/10
A-11	断面詳細図(現況・撤去位置)	1/50			
A-12	展開図(現況・改修)・雑詳細図	1/50・1/10	E-01	電気設備工事特記仕様書 1	NON
A-13	仮設計画参考図	1/100・1/150	E-02	電気設備工事特記仕様書 2	NON
			E-03	電気設備図 平面詳細図(現況・撤去)	1/50
			E-04	電気設備図 平面詳細図(改修)	1/50



A 工事概要

1	工事名称	(受住7-2) 宇治東山市営住宅浴室ほか改修工事(その1)
2	工事場所	宇治市宇治東山60番地の1
3	工事期間	入札通知書による。
4	規模構造	鉄筋コンクリート造2階建
5	建築面積	192.98㎡
6	延床面積	274.14㎡
7	工事範囲	浴室改修工事 一式 洗面脱衣室、台所改修工事 一式 上記に伴う機械設備工事 一式 上記に伴う電気設備工事 一式 上記に伴う撤去・処分 一式

B 特記仕様書

1	共通事項	<p>a 施工基準</p> <p>本工事は契約書及び 質疑回答書 現場説明書 特記仕様書 設計図 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編・機械設備工事編・電気設備工事編）及び公共建築工事標準仕様書（建築工事編 機械設備工事編・電気設備工事編）（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 令和4年版）により施工する。なお、設計図書間に相違がある場合の優先順位は上記記載の順とする。</p> <p>b 監理基準</p> <p>本工事は建築改修工事監理指針及び建築・機械設備・電気設備・各工事監理指針（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修令和4年版）により監理する。</p> <p>c 提出書類等</p> <p>契約書及び設計図書に定められた提出書類等を監督職員の指示により、定められた期日までに提出する。受注者は、下請契約を締結する場合には、下請金額に関わらず、施工体制台帳を提出する。また、施工体系図においては、すべての下請負人及び警備業者を記載する。なお、施工体制台帳には監督職員が指示する書類を添付して提出する。</p> <p>d 建設業退職金共済制度</p> <p>受注者は建設業退職金共済制度（建退共）に加入の上、掛金収納書を提出する。工事現場には「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場標識」を掲示し、工事完成時には「建退共運営実績報告書」、「労働者の就労日報」及び「共済証紙受払簿」を提出する。また、下請負人に対しても同共済制度加入を奨励する。</p> <p>e 工事実績情報</p> <p>受注者は受注時、変更時及び完成時の各時点において、あらかじめ登録内容について監督職員の確認を受けた上で、それぞれ10日以内に（一財）日本建築情報総合センターへ工事実績情報サービス入カシステム（CORINS）の登録申請を行う。また、登録後、直ちに登録されたことを証明する資料を監督職員に提出する（作成、登録に伴う費用は受注者の負担とする）。</p> <p>f 建設工事保険等</p> <p>受注者は、工项目的物・工事材料等を建設工事保険等（第三者保険を含み、火災による損害が見込まれる場合は火災保険を含む）に付し、その保険証書の写し又はこれに代わるものを提出する。なお、その保険の加入期間は、工事着工の時から、工事完成期日後14日迄とする。</p> <p>g 労災補償に必要な法定外の保険契約について</p> <p>受注者は、「公共工事の品質確保の促進に関する法律の一部を改正する法律」（令和元年法律第35号）に基づき、公共工事等に従事する者の業務上の負傷等に対する補償に必要な金額を担保するための保険（法定外の労災保険）に付する。</p> <p>h 工事写真・完成写真</p> <p>工事写真撮影ガイドブック（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 令和5年版）を参考に、着工前・工事中の各段階の工程の内容が充分把握できるよう撮影する。工事完成時には、完成写真を撮影し、着工前・工事中と共に工用上アルバムに整理の上1部提出する（データ共）。</p> <p>なお、着工前・完成写真は、着工前・完成を一对（左右または前後）として整理すること。</p> <p>受注者は建設機械等の燃料としての軽油はJIS規格軽油以外のものを使用してはならない。</p> <p>また、下請負人等に対しても不正軽油使用防止の指導・監視を徹底する。受注者は、京都府税務調査員による燃料検査に協力しなければならない。</p> <p>j 一般事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 軽微な変更については、請負金額の増減は行わない。 工事現場には、仮囲いを行い同現場の安全に十分配慮する。特に、工事車両の出入り及び時間等については、当該施設運営管理者等と十分打合せを行い交通安全管理に配慮する。 騒音・臭気等が発生する工事については、作業時間・日時について当該施設運営管理者と協議し、施設の運営管理等に支障をきたさぬよう配慮する。 既存部分については、受注者において汚染・損傷の無いよう十分な養生を行う。万一損傷等が生じた場合は、監督職員に報告の上受注者の責任において、現状復旧する。 使用材料は、設計図書に記載されたもの又は同等品とする。同等品とする場合は、事前に監督職員にカタログ等資料を提出し、承認を受ける。 工事完成時には、社内検査を実施する。 本工事は市の行う完成検査に合格し、工项目的物引渡書の提出をもって完了とする。 使用機器については、環境負荷の軽減に努めるものとし、排出ガス対策型機器・低騒音型機器 低振動型機器・低燃費型機器の使用を促進する。また、電動工具類は、整備された工具を使用し、安全性に責任を持ち管理する。 <p>k その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通誘導警備員は、現場説明書による。 公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律の定めに従って、各下請負人の施工の分担関係を表示した施工体系図を作成し、工事関係者が見やすい場所及び公衆が見やすい場所に掲げ、所定の様式により監督職員に提出する。 受注者は、宇治市が指名停止処置を行っている第三者に対して宇治市の契約についての全て、若しくは一部を下請、受託させてはならない。
---	------	--

1 過積載防止

受注者は本工事における材料等の搬出入に伴う、工事車両の過積載防止について、十分注意を払うと共に、下請負人への指導を徹底する。

m官公庁その他への手続き

工事の施工に必要な官公庁その他への手続きは、受注者の責任において速やかに行うものとする。なお、これに要する費用は受注者の負担とする。

n 技術者及び現場代理人

受注者は、主任技術者及び監理技術者並びに現場代理人について、受注者と直接的かつ恒常的な雇用関係にある者から選任し、配置しなければならない。

o 工事完了時の整地

受注者は工事完了時に、工事敷地内及び車両通行部分は、必要に応じ砂を搬入し、整地を行う。既設コンクリート舗装、アスファルト舗装等の損傷箇所については、原状復旧する。

p 建設発生土の処分

- 建設発生土を搬出する場合は「残土処理計画書（報告書）」を提出する。同計画書には処理場所の位置図及び経路図、受入承諾書を添付する。同報告書には処分したことが判明する資料（受入証明書）及び写真等を添付する。
- その他の建設発生土の取扱いについては、現場説明書による。

q 解体等工事の事前調査

- 受注者は、改正大気汚染防止法第18条の15第1項・第4項に基づき、改修工事対象となる全ての部材について、特定建築材料の使用の有無について調査し、その結果を発注者に説明する。
- また、第18条の15第3項・第4項に基づき、事前調査結果の記録を作成し、保存しなければならない。調査方法は、分析による調査、目視、設計図書等による。
- 受注者は、改正大気汚染防止法第18条の15第5項に基づき、事前調査結果を公衆の見やすい場所に掲示する。

2 発生材等処分

工事に伴う撤去材

- 撤去材・発生材は、場外搬出し関係法令を遵守し処理するものとし、「廃棄物処理計画書（報告書）」を適時提出する。同計画書には、当該廃棄物の処分業の許可証の写し、受注者と処分業者の契約書の写しに加えて、処分地の位置図及び経路図を添付する。また廃棄物を委託して運搬する場合は、該当する収集運搬業の許可証（搬出地と搬入地）の写しと受注者と運搬業者との契約書の写しを添付する。同報告書には処分したことが判明する資料として、運搬管理表（又はマニフェストの写し）及び写真等を添付する。
- 本工事の施工により発生するアスファルト塊、コンクリート塊及び木材は再資源化施設に搬出する。
- その他の建築副産物の取扱いについては、現場説明書による。
- 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」による産業廃棄物の収集運搬車に係る表示及び書面添え付けを行う。
- 工事完了時に産業廃棄物の収集運搬車両への表示状況が確認できる写真を提出する。

産業廃棄物税

「京都府産業廃棄物税条例」に基づき導入される産業廃棄物税（以下「産廃税」という）は京都府内の最終処分施設に搬入される産業廃棄物について課税されるものである。また、中間処理施設に搬入された産業廃棄物においてもリサイクル後の処理残滓（ザンサイ）等が最終処分場に搬入される場合は、最終処分場に搬入される量に対して課税される。なお、本工事においても、産廃税相当額を見込んでいる。（産廃税も本工事に含む）

3 仮設工事

工事電力・工用水

工事用電力設備

の保安責任者

現場説明書による。

工事用電力設備の保安責任者を定め報告する。当該施設に電気主任技術者が専任されている場合はその指示を仰ぐ。持込電動機器は整備された機器以外は持込させてはならない。また、仮設分電盤内に漏電遮断器を取り付け事故の防止に努める。

設置・維持管理

仮囲い

現場説明書による。

施工範囲・資材置場等に対しての侵入防止策を講じる。（フェンスバリケード（シート貼り共）等）

詳細については仮設計画参考図（A13）による。

内外足場・養生等

足場等は、労働安全衛生法・建築基準法・建設工事公衆災害防止対策要綱その他関係法令に従い適切な材料および構造のものとし、適切な保守管理を行う。高所作業車使用時含む。また、仮設計画を作成し監督職員と協議を行う。近接する他の部材や工作物の部分を損傷しないようにメッシュシート又は工用水シート等で養生を行う。外部足場については、手摺先行型枠本足場（W＝900以上）とする。足場の設置に関しては、「手すり先行工法に関するガイドライン（厚生労働省 平成15年4月制定・平成21年6月1日改正）」に基づく働きやすい安心感のある足場とし、二段手すりと幅木の機能を有する部材があらかじめ備えられた手すり先行専用足場とするか、または改善措置機材を用いて手すり先行専用足場型と同等の機能を確保する。また、外部足場には昇降足場を設置する。受注者は、労働安全衛生法施行令、労働安全衛生規則等の改正（平成31年2月）に伴い、高所作業を行う場合には、「墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン」に基づき、墜落、転落による労働災害の防止に努める。

墜落制止用器具の使用

について

4 その他

ホルムアルデヒド等の

放散量測定について

「住宅の品質確保の促進等に関する法律」に基づく告示（国土交通省告示第1346号）により、工事着工前及び工事完成時において、当該居室における空間の「特定測定物質」ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・エチルベンゼン・スチレンの濃度を測定し、分析結果を監督職員に提出する（検査方法は「品確法」告示1522号6-3(3)評価基準、判定基準は厚生労働省指針値による）。

分析機関・測定器具については、国土交通省住宅局「ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン及びスチレン用バツシブ採取機器（サンプラー）一覧表」による。（平成20年7月1日改訂版）測定場所：各住戸DK1ヶ所ずつ

電気・機械設備工事

工事着工に際し、事前に必要な機器（照明機器・放送設備・空調機器・受信設備等）器具の機能確認を行い、その結果を書面に監督職員に報告する。

5 完成図書

完成に際しては以下の図書を提出する。

名称	内容	サイズ	部数
完成図（背張り製本）	特記仕様書・完成図・施工図	A2版	2部
完成図書	機器完成図・機器保証書・取扱説明書・各種試験成績書・諸官庁提出書類（写）	A4版	2部
諸官庁提出書類	副本		一式
完成図データ	CADデータ（ファイル形式は任意とするが、JWW形式で出力したものを添付する）、PDF	C D - R	1部



宇治東山市営住宅浴室ほか改修工事(その1)

共通特記仕様書

NON

令和 7年 2月

金森一級建築設計事務所

1級建築士登録第111227号
金森 清正

図面番号

A01

建築改修工事 特記仕様書

【1】 工事概要

1. 工事場所 _____

2. 敷地面積 _____ m²

3. 建築物概要

棟名	構造	階数	建築面積(m ²)	延べ面積(m ²)	備考
					執務並行改修 全館無人改修
					執務並行改修 全館無人改修
					執務並行改修 全館無人改修

4. その他 _____

【2】 適用範囲

現場説明書(質疑回答書を含む)、本特記仕様書、図面、改修標準仕様書に示す範囲とする。
すべての設計図書は相互に補充するものとし、相違がある場合は、上記の順番を優先順位とする。
上記の標準仕様書とは、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)」をいう。(以下、これを「改修仕様」という。)
本書に特に記載のない事項であっても、すべて、「改修仕様」の適用を受けるものとする。

【3】 工事区分

設計図書による。
別契約の施工上密接に関連する工事との取合い部分が発生する場合は、別紙工事区分表による。

【4】 工事仕様

- 設計図書による。設計図書に記載されていない事項は、「改修仕様」のほか別記の適用基準による。
- 項目は、番号に印の付いたものを適用する。
- 特記事項は、印の付いたものを適用する。印の付かない場合は、印の付いたものを適用する。
印と印の付いた場合は、共に適用する。印が抹消された場合は、印のみ適用する。
- 項目及び特記事項に記載の()内表示番号は「改修仕様」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章	項目	特記事項																											
1 一般共通事項	特別な材料の工法	設計図書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。																											
	風圧力及び積雪に対する性能	建築基準法に基づき定められた風速及び地表面粗度区分等 風速(Vo) 3.2 (平成12年5月31日建設省告示第1454号) 地表面粗度区分 多雪地域の指定 なし あり																											
	現場代理人	本工事の施工にあたっては、工事請負契約書第10条に基づく現場代理人は、主任技術者又は監理技術者と同様、受注者と直接的かつ恒常的な雇用関係のある者を選任しなければならない。																											
	工事工程報告	月報は毎月末日に、翌月5日までに提出する。 日報は監督職員の指示による。 週報は毎週()曜日に提出する。																											
	工事実績情報の登録 (1.1.4)	適用する (適用事項は、現場説明書による)																											
	設備工事との取合い	施工範囲 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の型枠及びそれらの補強 図示した壁、天井の仕上材、下地材の切込み及び下地材の補強 駆動装置が電動による建具類の二次配線及び操作スイッチ 自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強 施工図 設備機器の位置、取合等の検討できる施工図を提出し、監督職員の承諾を受ける。																											
	施工図等の取扱い (1.2.3)	施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲される。																											
	工事写真 (1.2.4)	工事写真撮影ガイドブック建築工事編及び解体工事編(最新版)(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)によるほかは監督職員の指示による。 下記のことを監督職員に提出する。																											
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>部数(ネガ1枚につき)</th> <th>分類・規格</th> <th>原版の大きさ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>着工前</td> <td>1</td> <td>カラーサービス版</td> <td>24×36以上</td> </tr> <tr> <td>工事中</td> <td>1</td> <td>カラーサービス版</td> <td>24×36以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">完成時</td> <td>屋内 ()箇所</td> <td>カラーサービス版</td> <td>24×36以上</td> </tr> <tr> <td>外観 ()箇所</td> <td>カラーキャビネ版</td> <td>60×70以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2</td> <td>カラーキャビネ版</td> <td>24×36以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>カラーパネル半切</td> <td>60×70以上</td> </tr> </tbody> </table>		部数(ネガ1枚につき)	分類・規格	原版の大きさ(mm)	着工前	1	カラーサービス版	24×36以上	工事中	1	カラーサービス版	24×36以上	完成時	屋内 ()箇所	カラーサービス版	24×36以上	外観 ()箇所	カラーキャビネ版	60×70以上		2	カラーキャビネ版	24×36以上			カラーパネル半切	60×70以上
		部数(ネガ1枚につき)	分類・規格	原版の大きさ(mm)																									
	着工前	1	カラーサービス版	24×36以上																									
工事中	1	カラーサービス版	24×36以上																										
完成時	屋内 ()箇所	カラーサービス版	24×36以上																										
	外観 ()箇所	カラーキャビネ版	60×70以上																										
	2	カラーキャビネ版	24×36以上																										
		カラーパネル半切	60×70以上																										
	写真をデジタル写真で撮影する場合には、完成写真については有効画素数300万画素程度、工事写真は有効画素数130万画素程度とし、黒板の文字等の内容が判読できる精度を確保するものとする。 完成写真撮影場所は、監督職員の指示による。 完成写真撮影者は、監督職員の承諾する撮影業者(建築写真専門業者)とする。																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>処理方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>廃石綿等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>P C Bを含む機器類</td> <td></td> </tr> <tr> <td>P C B含有シーリング</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃酸・廃アルカリ(臭化リチウム)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃酸・廃アルカリ(蓄電池電解液)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>S F 6ガス使用機器</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類	処理方法	廃石綿等		P C Bを含む機器類		P C B含有シーリング		廃油		廃酸・廃アルカリ(臭化リチウム)		廃酸・廃アルカリ(蓄電池電解液)		S F 6ガス使用機器													
種類	処理方法																												
廃石綿等																													
P C Bを含む機器類																													
P C B含有シーリング																													
廃油																													
廃酸・廃アルカリ(臭化リチウム)																													
廃酸・廃アルカリ(蓄電池電解液)																													
S F 6ガス使用機器																													

章	項目	特記事項																																								
1 一般共通事項	14 石綿含有建材の調査 (1.5.1)	<p>P C B含有シーリング材の分析調査 行う()箇所 行わない</p> <p>P C B含有シーリング材の撤去・処分方法は「建築物の解体等に伴う有害物質等の適切な取扱」による。 次の建設廃棄物は再資源化する。 蛍光灯ランプ H I Dランプ 硬質塩化ビニル管・継手</p> <p>再生資源利用[促進]計画書、実施書の提出 詳細は現場説明書による。</p> <p>マニフェスト制度 産業廃棄物管理票(マニフェスト)制度により、適正な処理を行うこと。 産業廃棄物の処理を委託する場合は、運搬と処分についてそれぞれの許可業者と処理委託料を記載した「処理委託契約書」により委託契約すること。</p> <p>調査 行う 石綿の除去に当たり、あらかじめ関係法令等に基づき、石綿含有建材の事前調査を下記により行い、結果を取りまとめ、監督職員に提出するとともに、その写しを工事の現場に備え置く。 調査範囲 図示による 調査事項 石綿使用部位の確認 石綿層の厚さの確認 施工範囲と工事管理区分の確認 更衣施設等の仮設計画 廃棄物等の搬出方法 行わない</p> <p>石綿含有分析方法 行う(分析結果を監督職員に提出する) J I S A 1481に基づくこと</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>定性分析</th> <th>定量分析</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>()箇所数</td> <td>()箇所数</td> </tr> </tbody> </table> <p>サンプル数 1箇所あたり3サンプル 行わない</p> <p>既存の石綿含有建材の調査報告書の貸与 あり なし</p>	材 料 名	定性分析	定量分析		()箇所数	()箇所数		()箇所数	()箇所数		()箇所数	()箇所数		()箇所数	()箇所数																									
	材 料 名	定性分析	定量分析																																							
		()箇所数	()箇所数																																							
		()箇所数	()箇所数																																							
		()箇所数	()箇所数																																							
		()箇所数	()箇所数																																							
	15 調査のための破壊部分の補修 (1.6.3)	既存破壊部分の補修方法 図示による																																								
	16 技能士 (1.7.2)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>工事種別</th> <th>適用する技能士の技能検定における選択作業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>仮設工事</td> <td>とび作業</td> </tr> <tr> <td>鉄筋工事</td> <td>鉄筋組立作業</td> </tr> <tr> <td>コンクリート工事</td> <td>左官作業 コクリート圧送工作業 型枠工作業</td> </tr> <tr> <td>鉄骨工事</td> <td>構造物鉄工作業 とび作業</td> </tr> <tr> <td>ブロック及びALC補工事</td> <td>コクリートブロック工作業 ALC補工作業</td> </tr> <tr> <td>カーポート工事</td> <td>金属製カーポート施工作業 ビル用リフト工作業 ガラス工作業</td> </tr> <tr> <td>防水工事</td> <td>アクリル防水工作業 シリカ防水工作業 ウレタン系塗膜防水工作業 セメント系防水工作業 アクリル系塗膜防水工作業 FRP防水工作業 合成ゴム系シート防水工作業 塩化ビニル系シート防水工作業 改質アクリルシート工法防水工作業</td> </tr> <tr> <td>石工事</td> <td>石張り作業</td> </tr> <tr> <td>タイル工事</td> <td>タイル張り作業</td> </tr> <tr> <td>木工事</td> <td>大工工作業</td> </tr> <tr> <td>屋根及びとい工事</td> <td>内外装板金作業 かわらぶき作業 スレート工作業</td> </tr> <tr> <td>金属工事</td> <td>鋼製下地工作業 内外装板金作業</td> </tr> <tr> <td>左官工事</td> <td>左官作業</td> </tr> <tr> <td>塗装工事</td> <td>建築塗装作業</td> </tr> <tr> <td>建具工事</td> <td>ビル用リフト工作業 ガラス工作業 自動ドア工作業</td> </tr> <tr> <td>内装工事</td> <td>プラスチック床仕上げ工作業 ボード仕上げ工作業 家具手加工作業 壁装作業</td> </tr> <tr> <td>排水工事</td> <td>建築配管作業</td> </tr> <tr> <td>舗装工事</td> <td>溶融バインドマカ工作業 加熱バインドマカ工作業</td> </tr> <tr> <td>植栽工事</td> <td>造園工作業</td> </tr> </tbody> </table> <p>ただし技能士に代わる者による施工の場合は監督職員の承諾を得ること。</p>	工事種別	適用する技能士の技能検定における選択作業	仮設工事	とび作業	鉄筋工事	鉄筋組立作業	コンクリート工事	左官作業 コクリート圧送工作業 型枠工作業	鉄骨工事	構造物鉄工作業 とび作業	ブロック及びALC補工事	コクリートブロック工作業 ALC補工作業	カーポート工事	金属製カーポート施工作業 ビル用リフト工作業 ガラス工作業	防水工事	アクリル防水工作業 シリカ防水工作業 ウレタン系塗膜防水工作業 セメント系防水工作業 アクリル系塗膜防水工作業 FRP防水工作業 合成ゴム系シート防水工作業 塩化ビニル系シート防水工作業 改質アクリルシート工法防水工作業	石工事	石張り作業	タイル工事	タイル張り作業	木工事	大工工作業	屋根及びとい工事	内外装板金作業 かわらぶき作業 スレート工作業	金属工事	鋼製下地工作業 内外装板金作業	左官工事	左官作業	塗装工事	建築塗装作業	建具工事	ビル用リフト工作業 ガラス工作業 自動ドア工作業	内装工事	プラスチック床仕上げ工作業 ボード仕上げ工作業 家具手加工作業 壁装作業	排水工事	建築配管作業	舗装工事	溶融バインドマカ工作業 加熱バインドマカ工作業	植栽工事	造園工作業
	工事種別	適用する技能士の技能検定における選択作業																																								
	仮設工事	とび作業																																								
	鉄筋工事	鉄筋組立作業																																								
コンクリート工事	左官作業 コクリート圧送工作業 型枠工作業																																									
鉄骨工事	構造物鉄工作業 とび作業																																									
ブロック及びALC補工事	コクリートブロック工作業 ALC補工作業																																									
カーポート工事	金属製カーポート施工作業 ビル用リフト工作業 ガラス工作業																																									
防水工事	アクリル防水工作業 シリカ防水工作業 ウレタン系塗膜防水工作業 セメント系防水工作業 アクリル系塗膜防水工作業 FRP防水工作業 合成ゴム系シート防水工作業 塩化ビニル系シート防水工作業 改質アクリルシート工法防水工作業																																									
石工事	石張り作業																																									
タイル工事	タイル張り作業																																									
木工事	大工工作業																																									
屋根及びとい工事	内外装板金作業 かわらぶき作業 スレート工作業																																									
金属工事	鋼製下地工作業 内外装板金作業																																									
左官工事	左官作業																																									
塗装工事	建築塗装作業																																									
建具工事	ビル用リフト工作業 ガラス工作業 自動ドア工作業																																									
内装工事	プラスチック床仕上げ工作業 ボード仕上げ工作業 家具手加工作業 壁装作業																																									
排水工事	建築配管作業																																									
舗装工事	溶融バインドマカ工作業 加熱バインドマカ工作業																																									
植栽工事	造園工作業																																									

章	項目	特記事項																						
2 仮設工事	17 施工の検査等 (1.7.5)	見本施工の実施 適用する() 適用しない																						
	18 化学物質の濃度測定 (1.7.9)	適用する (適用事項は、現場説明書による)																						
	完成図 (1.9.2)	作成する(提出部数 2部 ()部) 詳細は監督職員の指示による。 完成図等の電子データによる提出については、現場説明書による。																						
	保全に関する資料 (1.9.3)	作成する(提出部数 2部 ()部) 敷地、建物の構造規模、主要な設備構成等の建物概要 建物を使用する上での注意事項 建物に設置されている家具、機器等及び部位毎の仕上げの概要説明 建物、工作物、植栽等を管理する上での保全業務の要点 主要材料の製造所名、所在地、連絡先、非常時の連絡体制一覧表 建設大臣官房官庁営繕部監修「管理者のための建築物保全の手引き」及び「建築保全業務共通仕様書」を参考として作成すること。																						
	① 足場その他 (2.1.3) (2.2.1)	労働安全衛生法、建築基準法、建設工事公衆災害防止対策要綱その他関係法令に従い、適切な材料及び構造のものとし、適切な保守管理を行う。 外部足場 施工箇所面に枠組足場を設ける。 施工箇所面にくさび緊結式足場を設ける。 施工箇所面に単管本足場を設ける。 仮設ゴンドラを使用する。 移動式足場を使用する。 内部足場 脚立、足場板等 防護シート等 防音パネル 防音シート 養生シート ネット及び養生シート 材料、撤去材等の運搬方法 A種 B種 C種 D種 E種 (表2.2.1)																						
	② 既存部分の養生 (2.3.1)	既存部分の養生 行う(ビニールシート、合板 ()) 行わない 既存家具・既存設備等の養生 行う(ビニールシート ()) 行わない 既存ブラインド・カーテン等の養生及び保管 行う 行わない 養生の方法 取り外しの上清掃 保管場所 室内にてカバー掛の上、適切保管 家具の移動 行う(図示) 行わない 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。																						
	③ 仮設間仕切り (2.3.2)	設ける(図示)																						
	4 監督職員事務所 (2.4.1)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>仕上げ(厚さmm)</th> <th>塗装</th> <th>充填</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">A種</td> <td>せっこうボード</td> <td>なし</td> <td>グラスウール</td> </tr> <tr> <td>種類 GB-R</td> <td>片面</td> <td>24kg/m³</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">B種</td> <td>厚さ 12.5mm</td> <td></td> <td>厚さ 50mm</td> </tr> <tr> <td>合板 材質 珪藻土合板 厚さ mm 9mm</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>C種</td> <td>全面シート張り</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>設けない</p> <p>規模 10m²程度 20m²程度 35m²程度 65m²程度 100m²程度 仕上 床 合板張り素地 ビニ床シート敷き 珪藻土合板敷き 内壁、天井 合板又はせっこうボード張り、合成樹脂珪藻土合板塗り 屋根 塗装溶融亜鉛めっき鋼板張り 鉄板張り鋼合板塗り 休憩室 設けない 設ける(敷敷き) 備品 机 いす 保護帽 ゴム長靴 雨がっぱ 衣類収納 (上記6品、____人分程度) 書棚 黒板 製図板 掛時計 温度計 消火器 掃除機 懐中電灯 湯沸器 加入電話機 冷暖房機器 コピー機 ネット回線 流し台 改修仕様(令和4年版) 建築改修工事監理指針(令和4年版) 建築工事施工チェックシート 建築工事標準詳細図(令和4年改定) 工事写真撮影ガイドブック建築工事編及び解体工事編(最新版)</p>	種別	仕上げ(厚さmm)	塗装	充填	A種	せっこうボード	なし	グラスウール	種類 GB-R	片面	24kg/m ³	B種	厚さ 12.5mm		厚さ 50mm	合板 材質 珪藻土合板 厚さ mm 9mm			C種	全面シート張り		
	種別	仕上げ(厚さmm)	塗装	充填																				
	A種	せっこうボード	なし	グラスウール																				
		種類 GB-R	片面	24kg/m ³																				
B種	厚さ 12.5mm		厚さ 50mm																					
	合板 材質 珪藻土合板 厚さ mm 9mm																							
C種	全面シート張り																							

章	項目	特記事項																
1 一般共通事項	適用基準等	公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) 令和4年版 (監修:国土交通省) 建築工事標準詳細図 令和4年改定 (監修:国土交通省) 敷地調査共通仕様書 令和4年改定 (監修:国土交通省) 建築構造設計基準、同資料 令和3年改定 (監修:国土交通省) 公共建築工事標準仕様書(建築工事編) 令和4年版 (監修:国土交通省) 公共建築木造工事標準仕様書 令和4年版 (監修:国土交通省) 公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編) 令和4年版 (監修:国土交通省) 公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編) 令和4年版 (監修:国土交通省) (注:監修欄「国土交通省」は国土交通省大臣官房官庁営繕部を示す)																
	11 電気保安技術者 (1.3.3)	適用する																
	施工条件 (1.3.5)	現場説明書による																
	発生材の処理等 (1.3.12)	引渡しを要するもの() 工事現場において再利用を図るもの、再資源化を図るもの() 指定副産物の搬出(詳細は現場説明書による) アスファルトコンクリート塊 セメントコンクリート塊 建設発生木材 指定副産物の処分地(詳細は現場説明書による) 指定地処分() 自由処分(最寄りの再資源化施設へ搬出すること) 指定副産物以外の搬出 構外搬出適切処理() 特別管理産業廃棄物																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>処理方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>廃石綿等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>P C Bを含む機器類</td> <td></td> </tr> <tr> <td>P C B含有シーリング</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃酸・廃アルカリ(臭化リチウム)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃酸・廃アルカリ(蓄電池電解液)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>S F 6ガス使用機器</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類	処理方法	廃石綿等		P C Bを含む機器類		P C B含有シーリング		廃油		廃酸・廃アルカリ(臭化リチウム)		廃酸・廃アルカリ(蓄電池電解液)		S F 6ガス使用機器	
	種類	処理方法																
	廃石綿等																	
	P C Bを含む機器類																	
	P C B含有シーリング																	
	廃油																	
	廃酸・廃アルカリ(臭化リチウム)																	
廃酸・廃アルカリ(蓄電池電解液)																		
S F 6ガス使用機器																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>処理方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>廃石綿等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>P C Bを含む機器類</td> <td></td> </tr> <tr> <td>P C B含有シーリング</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃酸・廃アルカリ(臭化リチウム)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃酸・廃アルカリ(蓄電池電解液)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>S F 6ガス使用機器</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類	処理方法	廃石綿等		P C Bを含む機器類		P C B含有シーリング		廃油		廃酸・廃アルカリ(臭化リチウム)		廃酸・廃アルカリ(蓄電池電解液)		S F 6ガス使用機器		
種類	処理方法																	
廃石綿等																		
P C Bを含む機器類																		
P C B含有シーリング																		
廃油																		
廃酸・廃アルカリ(臭化リチウム)																		
廃酸・廃アルカリ(蓄電池電解液)																		
S F 6ガス使用機器																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>処理方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>廃石綿等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>P C Bを含む機器類</td> <td></td> </tr> <tr> <td>P C B含有シーリング</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃酸・廃アルカリ(臭化リチウム)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃酸・廃アルカリ(蓄電池電解液)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>S F 6ガス使用機器</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類	処理方法	廃石綿等		P C Bを含む機器類		P C B含有シーリング		廃油		廃酸・廃アルカリ(臭化リチウム)		廃酸・廃アルカリ(蓄電池電解液)		S F 6ガス使用機器		
種類	処理方法																	
廃石綿等																		
P C Bを含む機器類																		
P C B含有シーリング																		
廃油																		
廃酸・廃アルカリ(臭化リチウム)																		
廃酸・廃アルカリ(蓄電池電解液)																		
S F 6ガス使用機器																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>処理方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>廃石綿等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>P C Bを含む機器類</td> <td></td> </tr> <tr> <td>P C B含有シーリング</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃酸・廃アルカリ(臭化リチウム)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃酸・廃アルカリ(蓄電池電解液)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>S F 6ガス使用機器</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類	処理方法	廃石綿等		P C Bを含む機器類		P C B含有シーリング		廃油		廃酸・廃アルカリ(臭化リチウム)		廃酸・廃アルカリ(蓄電池電解液)		S F 6ガス使用機器		
種類	処理方法																	
廃石綿等																		
P C Bを含む機器類																		
P C B含有シーリング																		
廃油																		
廃酸・廃アルカリ(臭化リチウム)																		
廃酸・廃アルカリ(蓄電池電解液)																		
S F 6ガス使用機器																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>処理方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>廃石綿等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>P C Bを含む機器類</td> <td></td> </tr> <tr> <td>P C B含有シーリング</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃酸・廃アルカリ(臭化リチウム)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃酸・廃アルカリ(蓄電池電解液)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>S F 6ガス使用機器</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類	処理方法	廃石綿等		P C Bを含む機器類		P C B含有シーリング		廃油		廃酸・廃アルカリ(臭化リチウム)		廃酸・廃アルカリ(蓄電池電解液)		S F 6ガス使用機器		
種類	処理方法																	
廃石綿等																		
P C Bを含む機器類																		
P C B含有シーリング																		
廃油																		
廃酸・廃アルカリ(臭化リチウム)																		
廃酸・廃アルカリ(蓄電池電解液)																		
S F 6ガス使用機器																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>処理方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>廃石綿等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>P C Bを含む機器類</td> <td></td> </tr> <tr> <td>P C B含有シーリング</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃酸・廃アルカリ(臭化リチウム)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃酸・廃アルカリ(蓄電池電解液)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>S F 6ガス使用機器</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類	処理方法	廃石綿等		P C Bを含む機器類		P C B含有シーリング		廃油		廃酸・廃アルカリ(臭化リチウム)		廃酸・廃アルカリ(蓄電池電解液)		S F 6ガス使用機器		
種類	処理方法																	
廃石綿等																		
P C Bを含む機器類																		
P C B含有シーリング																		
廃油																		
廃酸・廃アルカリ(臭化リチウム)																		
廃酸・廃アルカリ(蓄電池電解液)																		
S F 6ガス使用機器																		

章	項目	特記事項																
1 一般共通事項	11 電気保安技術者 (1.3.3)	適用する																
	施工条件 (1.3.5)	現場説明書による																
	発生材の処理等 (1.3.12)	引渡しを要するもの() 工事現場において再利用を図るもの、再資源化を図るもの() 指定副産物の搬出(詳細は現場説明書による) アスファルトコンクリート塊 セメントコンクリート塊 建設発生木材 指定副産物の処分地(詳細は現場説明書による) 指定地処分() 自由処分(最寄りの再資源化施設へ搬出すること) 指定副産物以外の搬出 構外搬出適切処理() 特別管理産業廃棄物																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>処理方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>廃石綿等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>P C Bを含む機器類</td> <td></td> </tr> <tr> <td>P C B含有シーリング</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃酸・廃アルカリ(臭化リチウム)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃酸・廃アルカリ(蓄電池電解液)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>S F 6ガス使用機器</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類	処理方法	廃石綿等		P C Bを含む機器類		P C B含有シーリング		廃油		廃酸・廃アルカリ(臭化リチウム)		廃酸・廃アルカリ(蓄電池電解液)		S F 6ガス使用機器	
	種類	処理方法																
	廃石綿等																	
	P C Bを含む機器類																	
	P C B含有シーリング																	
	廃油																	
	廃酸・廃アルカリ(臭化リチウム)																	
	廃酸・廃アルカリ(蓄電池電解液)																	
S F 6ガス使用機器																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>処理方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>廃石綿等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>P C Bを含む機器類</td> <td></td> </tr> <tr> <td>P C B含有シーリング</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃酸・廃アルカリ(臭化リチウム)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃酸・廃アルカリ(蓄電池電解液)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>S F 6ガス使用機器</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類	処理方法	廃石綿等		P C Bを含む機器類		P C B含有シーリング		廃油		廃酸・廃アルカリ(臭化リチウム)		廃酸・廃アルカリ(蓄電池電解液)		S F 6ガス使用機器		
種類	処理方法																	
廃石綿等																		
P C Bを含む機器類																		
P C B含有シーリング																		
廃油																		
廃酸・廃アルカリ(臭化リチウム)																		
廃酸・廃アルカリ(蓄電池電解液)																		
S F 6ガス使用機器																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>処理方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>廃石綿等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>P C Bを含む機器類</td> <td></td> </tr> <tr> <td>P C B含有シーリング</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃酸・廃アルカリ(臭化リチウム)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃酸・廃アルカリ(蓄電池電解液)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>S F 6ガス使用機器</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類	処理方法	廃石綿等		P C Bを含む機器類		P C B含有シーリング		廃油		廃酸・廃アルカリ(臭化リチウム)		廃酸・廃アルカリ(蓄電池電解液)		S F 6ガス使用機器		
種類	処理方法																	
廃石綿等																		
P C Bを含む機器類																		
P C B含有シーリング																		
廃油																		
廃酸・廃アルカリ(臭化リチウム)																		
廃酸・廃アルカリ(蓄電池電解液)																		
S F 6ガス使用機器																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>処理方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>廃石綿等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>P C Bを含む機器類</td> <td></td> </tr> <tr> <td>P C B含有シーリング</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃酸・廃アルカリ(臭化リチウム)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃酸・廃アルカリ(蓄電池電解液)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>S F 6ガス使用機器</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類	処理方法	廃石綿等		P C Bを含む機器類		P C B含有シーリング		廃油		廃酸・廃アルカリ(臭化リチウム)		廃酸・廃アルカリ(蓄電池電解液)		S F 6ガス使用機器		
種類	処理方法																	
廃石綿等																		
P C Bを含む機器類																		
P C B含有シーリング																		
廃油																		
廃酸・廃アルカリ(臭化リチウム)																		
廃酸・廃アルカリ(蓄電池電解液)																		
S F 6ガス使用機器																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>処理方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>廃石綿等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>P C Bを含む機器類</td> <td></td> </tr> <tr> <td>P C B含有シーリング</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃酸・廃アルカリ(臭化リチウム)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃酸・廃アルカリ(蓄電池電解液)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>S F 6ガス使用機器</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類	処理方法	廃石綿等		P C Bを含む機器類		P C B含有シーリング		廃油		廃酸・廃アルカリ(臭化リチウム)		廃酸・廃アルカリ(蓄電池電解液)		S F 6ガス使用機器		
種類	処理方法																	
廃石綿等																		
P C Bを含む機器類																		
P C B含有シーリング																		
廃油																		
廃酸・廃アルカリ(臭化リチウム)																		
廃酸・廃アルカリ(蓄電池電解液)																		
S F 6ガス使用機器																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>処理方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>廃石綿等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>P C Bを含む機器類</td> <td></td> </tr> <tr> <td>P C B含有シーリング</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃油</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃酸・廃アルカリ(臭化リチウム)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃酸・廃アルカリ(蓄電池電解液)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>S F 6ガス使用機器</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類	処理方法	廃石綿等		P C Bを含む機器類		P C B含有シーリング		廃油		廃酸・廃アルカリ(臭化リチウム)		廃酸・廃アルカリ(蓄電池電解液)		S F 6ガス使用機器		
種類	処理方法																	
廃石綿等																		
P C Bを含む機器類																		
P C B含有シーリング																		
廃油																		
廃酸・廃アルカリ(臭化リチウム)																		
廃酸・廃アルカリ(蓄電池電解液)																		
S F 6ガス使用機器																		

章	項目	特記事項																						
2 仮設工事	17 施工の検査等 (1.7.5)	見本施工の実施 適用する() 適用しない																						
	18 化学物質の濃度測定 (1.7.9)	適用する (適用事項は、現場説明書による)																						
	完成図 (1.9.2)	作成する(提出部数 2部 ()部) 詳細は監督職員の指示による。 完成図等の電子データによる提出については、現場説明書による。																						
	保全に関する資料 (1.9.3)	作成する(提出部数 2部 ()部) 敷地、建物の構造規模、主要な設備構成等の建物概要 建物を使用する上での注意事項 建物に設置されている家具、機器等及び部位毎の仕上げの概要説明 建物、工作物、植栽等を管理する上での保全業務の要点 主要材料の製造所名、所在地、連絡先、非常時の連絡体制一覧表 建設大臣官房官庁営繕部監修「管理者のための建築物保全の手引き」及び「建築保全業務共通仕様書」を参考として作成すること。																						
	① 足場その他 (2.1.3) (2.2.1)	労働安全衛生法、建築基準法、建設工事公衆災害防止対策要綱その他関係法令に従い、適切な材料及び構造のものとし、適切な保守管理を行う。 外部足場 施工箇所面に枠組足場を設ける。 施工箇所面にくさび緊結式足場を設ける。 施工箇所面に単管本足場を設ける。 仮設ゴンドラを使用する。 移動式足場を使用する。 内部足場 脚立、足場板等 防護シート等 防音パネル 防音シート 養生シート ネット及び養生シート 材料、撤去材等の運搬方法 A種 B種 C種 D種 E種 (表2.2.1)																						
	② 既存部分の養生 (2.3.1)	既存部分の養生 行う(ビニールシート、合板 ()) 行わない 既存家具・既存設備等の養生 行う(ビニールシート ()) 行わない 既存ブラインド・カーテン等の養生及び保管 行う 行わない 養生の方法 取り外しの上清掃 保管場所 室内にてカバー掛の上、適切保管 家具の移動 行う(図示) 行わない 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。																						
	③ 仮設間仕切り (2.3.2)	設ける(図示)																						
	4 監督職員事務所 (2.4.1)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>仕上げ(厚さmm)</th> <th>塗装</th> <th>充填</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">A種</td> <td>せっこうボード</td> <td>なし</td> <td>グラスウール</td> </tr> <tr> <td>種類 GB-R</td> <td>片面</td> <td>24kg/m³</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">B種</td> <td>厚さ 12.5mm</td> <td></td> <td>厚さ 50mm</td> </tr> <tr> <td>合板 材質 珪藻土合板 厚さ mm 9mm</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>C種</td> <td>全面シート張り</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>設けない</p> <p>規模 10m²程度 20m²程度 35m²程度 65m²程度 100m²程度 仕上 床 合板張り素地 ビニ床シート敷き 珪藻土合板敷き 内壁、天井 合板又はせっこうボード張り、合成樹脂珪藻土合板塗り 屋根 塗装溶融亜鉛めっき鋼板張り 鉄板張り鋼合板塗り 休憩室 設けない 設ける(敷敷き) 備品 机 いす 保護帽 ゴム長靴 雨がっぱ 衣類収納 (上記6品、____人分程度) 書棚 黒板 製図板 掛時計 温度計 消火器 掃除機 懐中電灯 湯沸器 加入電話機 冷暖房機器 コピー機 ネット回線 流し台 改修仕様(令和4年版) 建築改修工事監理指針(令和4年版) 建築工事施工チェックシート 建築工事標準詳細図(令和4年改定) 工事写真撮影ガイドブック建築工事編及び解体工事編(最新版)</p>	種別	仕上げ(厚さmm)	塗装	充填	A種	せっこうボード	なし	グラスウール	種類 GB-R	片面	24kg/m ³	B種	厚さ 12.5mm		厚さ 50mm	合板 材質 珪藻土合板 厚さ mm 9mm			C種	全面シート張り		
	種別	仕上げ(厚さmm)	塗装	充填																				
	A種	せっこうボード	なし	グラスウール																				
		種類 GB-R	片面	24kg/m ³																				
B種	厚さ 12.5mm		厚さ 50mm																					
	合板 材質 珪藻土合板 厚さ mm 9mm																							
C種	全面シート張り																							



章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
2	5 工用水	構内既存の施設 利用できない ○ 利用できる (○ 有償 無償)	2	10 構造体強度補正值 (6.3.2)	気温による構造体強度補正值 (S) (表6.3.2)	3	防水改修工事	断熱材 (屋根保護防水断熱工法) 厚さ _____ mm	3	接着工法の場合で、PCコンクリート部材下地の場合 目地処理 図示による _____ 入隅部の増張り (S-F1、S1-F1の場合) 図示による _____ 絶縁用シート及び可塑性移行防止用シート 発泡ポリエチレンシート _____ 仕上げ塗料 加- シM'- _____ 脱気装置 (絶縁工法) 設ける 材種 () 設置数量 (1箇所/ _____㎡) 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定めること。 固定金具の材質及び寸法形状 防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの片面若しくは両面に樹脂を積層加工した鋼板で、厚さ0.4mm以上のもの	
	6 工用電力	構内既存の施設 利用できない ○ 利用できる (○ 有償 無償)		11 コンクリートの試験 (6.9.2) ~ (6.9.5)	予想平均気温 () 補正值 (S) 期間 (打設日)						断熱材 (屋根露出防水断熱工法) 厚さ _____ mm 種類 _____
2	7 仮囲い等	図示による _____	2	12 軽量コンクリート (6.10.1) ~ (6.10.3)	フレッシュコンクリートの試験 省略する	4	改質アスファルトシート防水 (3.4.2) ~ (3.4.4)	ルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 図示による _____	6	脱気装置 (X-1) 設ける 材種 () 設置数量 (1箇所/ _____㎡) 保護層 設ける 設けない	
	8 設計GL	図示による 設計GL = 現状GL		13 寒中コンクリート (6.11.1)	常時又は水に直接接する部分の使用 可 不可 種類 1種 2種 施工箇所 _____ 気乾単位容積質量 _____ t/m3						14 暑中コンクリート (6.12.2)
2	1 埋め戻し及び盛土 (3.2.3)	A種 砂質土 (山砂の類) を水締め又は機器による締固め (表3.2.1) B種 根切り土の中の良質土を機器による締固め C種 他現場の建設発生土の中の良質土を機器による締固め D種 再生コンクリート砂を水締め又は機器による締固め その他 (材料 _____ 工法 _____) 建設発生土 (盛土材) の外部からの受入土量 (_____ m3) 発生場所 ()	2	15 既存防水の処理 (3.1.4) (3.2.3) ~ (3.2.5)	受注者は、出荷伝票等を整理・保管し、監督職員の請求があった場合は、遅滞なく提出するとともに、検査時に提示しなければならない。また、ミキサー車1台毎の積載量が把握できる運搬管理表を検査時に提出しなければならない。	5	合成高分子系I-Fタイプシート防水 (3.5.2) ~ (3.5.4)	断熱材 (断熱工法) 厚さ _____ mm 種類 _____ 機械的固定工法の場合 _____ 接着工法の場合 _____	7	保証書 受注者、防水施工業者、防水材料メーカーの連名による保証書を提出すること。 (保証年数は工事目的物引渡しより10年間以上とする。)	
	2 建設発生土の処理 (3.2.5)	下記に定めるほかは、現場説明書による 構外指示の受入場所に処分 受入場所 (一財) 城陽山砂利採取地整備公社 現場説明書による 土壌調査 行う (受入場所指定の検査) 京都府土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例 施行規則第7条第3項13号及び第4項に規定する方法 仮置場所 _____ 構内指示の場所に敷き均し 構内指示の場所にたい種 _____		16 既存下地の処理 (3.2.6)	既存下地の修正箇所の形状、長さ、数量等 図示による _____						17 アスファルト防水 (3.3.2) ~ (3.3.5)
2	3 鉄筋の種類 (5.2.1)	異形鉄筋	3	17 鉄筋の種類 (5.2.1)	種類 普通コンクリート (表6.2.1) 類別 類	5	S-F1、S-M1、S-M2の仕様 非歩行仕様 軽歩行仕様	断熱材 (断熱工法) 厚さ _____ mm 種類 _____ 機械的固定工法の場合 _____ 接着工法の場合 _____	7	9 施工標識 工事完了後に監督職員の指示する位置へ取り付ける。 材質 真鍮製エッチング仕上 150×100 設置数量 () 箇所	
	4 溶接金網 (5.2.2)	網目の形状、寸法 100mm×100mm 鉄線の径 6.0 mm		18 設計基準強度 (Fc)	設計基準強度 (Fc)						18 設計基準強度 (Fc)
2	5 コンクリートの種類 (6.2.1)	種類 普通コンクリート (表6.2.1) 類別 類	3	5 コンクリートの種類 (6.2.1)	種類 普通コンクリート (表6.2.1) 類別 類	5	S-I-M1及びS-I-M2の場合の防湿用フィルム 設置する	断熱材 (断熱工法) 厚さ _____ mm 種類 _____ 機械的固定工法の場合 _____ 接着工法の場合 _____	7	10 シーリング (3.1.4) (3.7.2) ~ (3.7.8)	
	6 コンクリートの強度 (6.2.4) (6.10.2) (6.14.1)	設計基準強度 (Fc)		19 既存防水の処理 (3.1.4) (3.2.3) ~ (3.2.5)	既存保護層の撤去 行う (範囲 図示による) 行わない 既存防水層の撤去 行う (範囲 図示による) 行わない 既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 行う (M4AS M4ASI M4C M4DI L4X) 行わない						20 既存下地の処理 (3.2.6)
2	7 セメントの種類 (6.3.1)	普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 高炉セメントB種 (通用箇所 _____) シリカセメント フライアッシュセメントB種 (施工箇所 _____)	3	7 セメントの種類 (6.3.1)	普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 高炉セメントB種 (通用箇所 _____) シリカセメント フライアッシュセメントB種 (施工箇所 _____)	5	S-I-M1及びS-I-M2の場合の防湿用フィルム 設置する	断熱材 (断熱工法) 厚さ _____ mm 種類 _____ 機械的固定工法の場合 _____ 接着工法の場合 _____	7	11 とい(雨水) (3.8.2) (3.8.3)	
	8 骨材 (6.3.1)	粗骨材 砂利 (JIS A5308), 砕石 (JIS A5005) 高炉スラグ 再生骨材H 電気炉酸化スラグ 細骨材 砂 (JIS A5308), 砕砂 (JIS A5005) 高炉スラグ 再生骨材H 電気炉酸化スラグ 鋼スラグ 再生骨材H		21 アスファルト防水 (3.3.2) ~ (3.3.5)	屋根露出防水工法						22 アスファルト防水 (3.3.2) ~ (3.3.5)
2	9 混和材料 (6.3.1)	混和剤 AE剤、AE減水剤又は高性能AE減水剤の種 (JIS A 6204) 防錆剤 鉄筋コンクリート用防錆剤 (JIS A 6025) 混和材 フライアッシュ (JIS A 6201) 種、 種若しくは 種 コンクリート用高炉スラグ微粉末 (JIS A 6206) コンクリート用シリカフェューム (JIS A 6207) コンクリート用膨張材 (JIS A 6202)	3	9 混和材料 (6.3.1)	混和剤 AE剤、AE減水剤又は高性能AE減水剤の種 (JIS A 6204) 防錆剤 鉄筋コンクリート用防錆剤 (JIS A 6025) 混和材 フライアッシュ (JIS A 6201) 種、 種若しくは 種 コンクリート用高炉スラグ微粉末 (JIS A 6206) コンクリート用シリカフェューム (JIS A 6207) コンクリート用膨張材 (JIS A 6202)	5	S-I-M1及びS-I-M2の場合の防湿用フィルム 設置する	断熱材 (断熱工法) 厚さ _____ mm 種類 _____ 機械的固定工法の場合 _____ 接着工法の場合 _____	7	11 とい(雨水) (3.8.2) (3.8.3)	
	10 構造体強度補正值 (6.3.2)	気温による構造体強度補正值 (S) (表6.3.2)		23 既存防水の処理 (3.1.4) (3.2.3) ~ (3.2.5)	既存保護層の撤去 行う (範囲 図示による) 行わない 既存防水層の撤去 行う (範囲 図示による) 行わない 既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 行う (M4AS M4ASI M4C M4DI L4X) 行わない						24 既存下地の処理 (3.2.6)



章 項 目	特 記 事 項			
5 建具改修工事	引き戸用検出装置性能値 改修標仕 表5.9.3による 放射無線周波数 電磁界耐性			
	耐電圧	防 錆	防 滴	電 源
	戸の開閉方式 建具表による 引き戸検出装置の種類 表 5.9.4 () による 建具表による タッチスイッチの種類 無線式タッチスイッチ 光線式タッチスイッチ 車椅子使用者用便房 大形押しボタンスイッチ 非接触スイッチ 凍結防止措置 行う			
15 自閉式上吊り引戸装置 (5.10.3)	性能値等の区分 (表5.10.1) 適用戸の総質量(kg) 40以下 40を超えるもの 自動開き力(N) 15以下 20以下 自動閉じ力(N) 15以下 20以下			
16 重量シャッター (5.11.2) ~ (5.11.4)	種 類 管理用シャッター (シャッターケース 設ける) 耐風圧強度 () 外壁用防火シャッター (シャッターケース 設ける) 耐風圧強度 () 屋内用防火シャッター (シャッターケース 設ける) 屋内用防煙シャッター (シャッターケース 設ける) 外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度 Pa 開閉方式 電動式 (手動併用) 手動式 電動式シャッターには安全装置を設ける 設置箇所 図示による スラット及びシャッターケース用鋼板 材 質 めっきの付着量 JIS G 3302 Z12又はF12を満足するもの JIS G 3312 Z12又はF12を満足するもの			
17 軽量シャッター (5.12.2) ~ (5.12.4)	開閉方式 電動式 (手動併用) 手動式 電動式シャッターには安全装置を設ける 設置箇所 図示による 耐風圧強度 Pa スラット 材 質 めっきの付着量 形 状 JIS G 3312 Z06又はF06を満足するもの インターロッキング形 JIS G 3322 Z90を満足するもの オーバーラッピング形			
18 オーバーヘッドドア (5.13.2) ~ (5.13.4)	セクション材 スチールタイプ アルミニウムタイプ ファイバークラスティック 耐風圧性能 Pa 開閉方式 バランス式 チェーン式 電動式 電動式シャッターには安全装置を設ける 設置箇所 図示による 収納形式 スタンダード形 ローヘッド形 ハイリフト形 パーチカル形 ガイドレール等 溶融亜鉛めっき鋼板 ステンレス鋼板			
19 ガラス (5.14.2) ~ (5.14.4)	材料 種 別 種類等 種 別 種類等 20mm板ガラス 強化ガラス 厚板ガラス 熱線吸収ガラス 網入板ガラス 複層ガラス 線入板ガラス 熱線反射ガラス 合わせガラス 倍強度ガラス			
	ガラス溝の大きさ (図5.14.1) 種 別 面クリアランス エッジクリアランス 掛り代 アルミニウム建具 建具製造所の仕様による 建具製造所の仕様による 建具製造所の仕様による 鋼製建具 ステンレス建具			

章 項 目	特 記 事 項			
20 ガラス留め材 (5.14.2)	建 具 の 種 類 材 質 アルミニウム製 シーリング材(SR-1) グレイジングチャンネル 樹脂製 グレイジングチャンネル 鋼製・鋼製軽量・ステンレス製 シーリング材(SR-1) パテ 1種 2種 木製 パテ (木製用) 防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能認定品とする。 防音仕様、断熱仕様及び耐震仕様については図示による。			
21 ガラスブロック (5.14.5)	寸 法 (mm) 厚 さ (mm) 色 調 パターン 防 火 認 定 x 図示 クリア 白 熱線反射 なし あり 品質規格はJIS A5212 による 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定めること。 壁用金属枠及び補強材 力骨 材質 SUS304 寸法・形状 径5.5mmのはしご形状複筋及び単筋 シーリング 表3.7.1による SR-1 PS-1 化粧目地モルタルの色 白 グレー 金属製化粧カバー 材質 SUS304 寸法・形状 図示による 目地幅の寸法 平積みの場合 8mm以上、15mm以下 曲面積みの場合 外側15mm以下、内側6mm以上 (曲率半径はガラスブロックの幅寸法の10倍以上) 伸縮調整目地の位置 6mm以下ごとに幅10~25mmの伸縮調整目地を設ける。			
22 木製建具 (5.7.2) ~ (5.7.4)	建具材の加工、組立時の含水率の種別 A種 B種 代用樹種の適用 可 不可 接着剤のホルムアルデヒド放散量 F フラッシュ戸 表面材のホルムアルデヒド放散量 改修標仕5.7.2(2)(イ)(a)による 表面材の合板の種類 合板の種類 規 格 等 備 考 普通合板 表面の樹脂 板面の品質 (広葉樹 1種) 接着の程度 (1種 2種) 天然木化粧合板 樹種名 () 接着の程度 (1種 2種) 特殊加工化粧合板 化粧加工の方法 プリント ポリエステル化粧合板 メラミン化粧合板 接着の程度 (1種 2種) MDF 表面板の厚さ 図示による (表5.7.6) 引き戸の合わせかまちのいんろう付きの適用 適用しない 適用する かまち戸 かまち樹種 () 鍍板樹種 () 見込み寸法 36mm ふすま 張りの種類 型 型 上張り (押し等の裏側以外) 鳥の子 新鳥の子又はビニル紙程度 見込み寸法 19.5mm 戸ふすま 表面板の仕上 図示による 見込み寸法 30mm 紙張り障子 見込み寸法 30mm			
23 ポリカーボネイト樹脂板	種類 厚さ mm			

章 項 目	特 記 事 項			
6 内装改修工事	揮発性有機化合物対策 (6.5.2) ~ (6.5.4) (6.8.2) (6.9.2) (6.10.2) (6.11.2) (6.11.4) (6.11.5) (6.13.2) (6.14.2) (6.16.4) (9.5.3) (9.5.4) 木材、木れんが、ビニル床シート、タイル、ゴム床タイル、カーペット、合成樹脂塗床、フローリング、ボード類、断熱材の接着に使用する 接着剤のホルムアルデヒド放散量 F 木材塗料、フローリング材、ボード類、壁紙、断熱材のホルムアルデヒド放散量 F			
	② 他の部分との取り合い等 (6.1.3) 既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁、床の改修範囲 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 図示による 範囲() 仕上げ () 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 図示による 範囲() 仕上げ () 天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 既存のまま 図示による 範囲() 仕上げ ()			
	③ 既存床の撤去等 (6.2.2)			
	種 別 工 法 施 工 箇 所 ビニル床シート等 下地材の除去 図示による 合成樹脂塗床材 機械的除去工法 図示による 目荒し工法 フローリング張り床材 手こわし工法 図示による 床タイル 床組			
	コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外装改修工事による。 ④ 既存壁の撤去等 (6.3.2) 間仕切壁撤去に伴う構造体の補修 改修標仕4.3.10によるモルタル塗り (塗り厚25mmを超える場合の補修 行う 行わない)			
	⑤ 木下地等 (6.5.1) ~ (6.5.9) 材料のホルムアルデヒド放散量 F 又は改修標仕6.5.2(1)(ウ)(b)による 含水率 下地材 A種(15%以下) B種(20%以下) 造作材 A種(15%以下) B種(18%以下) 以下に規定されているものは、その規定による。 JAS 1083 (製材) に基づく製材 下地用製材 使用箇所 樹 種 寸 法 等級 含水率 保存処理 間仕切壁 壁脚線・天井 杉 50x50 1級 40x45 2級 18x45 造作用製材 使用箇所 樹 種 寸 法 等級 含水率 保存処理 出入口脚線 米桐 25x63 無節 上小節 小節 並 広葉樹製材 使用箇所 樹 種 寸 法 等級 含水率 保存処理 特等 10%以下 1等 2等 JAS 1083 (製材) 以外の製材 (表12.2.2) 使用箇所 樹 種 寸 法 材面の品質 防虫処理 含水率 A種 B種			

章 項 目	特 記 事 項			
6 内装改修工事	使用木材のうち杉、ひのきについては京都府産木材とする。 工事完成までに、ウッドマテリアルCO2京都の木認証書 (京都府産木材証明書及びウッドマテリアルCO2計算書) (注1)を提出する事を原則とする。当該認証を受けた木材の使用が困難な場合には、京都の木証明書 (京都府産木材証明書) (注2)を提出すること。 証明書及び計算書の発行に係る手続きについては次の機関による。 一般財団法人京都府木材組合連合会 TEL : 075-802-2991 注1) 認証書 注2) 証明書は製材助、流通業者の全てが取扱事業者又は認証機関登録事業者でなければ発行されない。 詳細は上記法人のホームページを参照すること。 工事完成までに、京都府産木材の産地証明書を提出すること。 京都木材規格(KTS)材を使用する場合は、京都木材規格(KTS)材証明書 (発行機関：(一社)京都府木材組合連合会)を提出すること。			
	「集材材の日本農林規格」による造作用集材材 造作用集材材 使用箇所 品 名 樹 種 見付材面数 寸 法 見付材面の品質 1等 2等 化粧ばり造作用集材材 使用箇所 品 名 樹 種 寸法 化粧板厚 見付材面数 見付材面の品質 化粧材 芯材 1等 2等			
	「集材材の日本農林規格」以外の造作用集材材 造作用集材材 使用箇所 樹 種 寸 法 見付材面の品質 含水率 15%以下 化粧ばり造作用集材材 使用箇所 化粧樹種名 芯材樹種名 寸法 化粧板厚 見付材面の品質 含水率 15%以下			
	JAS 0701 (単板積層材) に基づく造作用単板積層材 造作用単板積層材 使用箇所 品 名 寸法 表面の品質 防虫処理 表面化粧加工なし 1等 2等 3等 適用する 表面化粧加工あり 天然木化粧加工 塗装加工 適用しない			
	JAS 0701 (単板積層材) 以外の造作用単板積層材 造作用単板積層材 使用箇所 寸法 表面の品質 含水率 防虫処理 表面化粧加工なし 14%以下 適用する 表面化粧加工あり 天然木化粧加工 塗装加工 適用しない			
	JAS 3079 (直交集成板) 施工箇所 品 名 曲げ性能 (強度等級) 種別 接着性能 (使用環境) 樹種 寸法(mm)			
	合板等 「合板の日本農林規格」による普通合板 使用箇所 品 名 厚 さ 樹種名 接着程度 板面の品質 その他処理 押入れ、物入れ 5.5mm 1類 広葉樹 2等以上 防虫処理 2類 針葉樹 難燃処理 C-D以上 防炎処理 「合板の日本農林規格」による構造用合板 使用箇所 品 名 等級 厚 さ 樹種名 接着程度 板面の品質 保存処理 その他処理 畳床下 下地合板 2級 12mm ラワン 1類 C-D 防虫処理 地材、フローリング張り 以上 特等 以上 強度等級 「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 使用箇所 品 名 厚 さ 単板の樹種名 接着程度 防虫処理 1類 2類 「合板の日本農林規格」による天然化粧合板 使用箇所 化粧板に使用する単板の樹種名 厚 さ 接着程度 防虫処理 1類 2類 「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 使用箇所 品 目 厚 さ 接着程度 単板の樹種名 化粧加工の方法 防虫処理 1類 2類			



章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
6 内装改修工事	<p>パーティクルボード</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>厚さ</th> <th>各種区分</th> </tr> <tr> <td></td> <td>15mm</td> <td>1.3 Pタイプ又は1.3 Mタイプ</td> </tr> </table> <p>JAS 0360 に基づく構造用パネル</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>等級</th> <th>厚さ</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>MDF</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>厚さ</th> <th>表裏面の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>接着剤による区分</th> <th>難燃性による区分</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>造作化粧板の釘打ち 隠し釘打ち 釘頭埋め木 つぶし頭釘打ち 釘頭現し</p> <p>諸金物の形状、寸法及び材質 かすがい、座金、箱金物及び短冊金物は、表6.5.3から表6.5.5までに示す程度の市販品で、木材の寸法に応じた適切なものとし、コンクリート埋込部を除き、表8.20.1【鉄鋼の垂鉛めっきの種類】のF種程度の垂鉛めっきを施したもの</p> <p>防腐・防蟻処理を省略できる樹種による製材 適用部位 _____</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理</th> </tr> <tr> <th>適用部材</th> <th>保存処理性能区分</th> </tr> <tr> <td>K2 K3 K4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>K2 K3 K4</td> <td></td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理</th> </tr> <tr> <th>適用部材</th> <th>処理の方法</th> <th>薬剤の種類</th> </tr> <tr> <td></td> <td>薬剤の製造所の仕様による</td> <td>JIS K 1571に適合又は同等品</td> </tr> </table> <p>薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理 適用部位 _____ 合板等の加圧注入処理等の適用 適用部位 _____</p> <p>防虫処理 行う (範囲:ラワン材等 「製材の日本農林規格」による保存処理 K1) 行わない</p>	使用箇所	厚さ	各種区分		15mm	1.3 Pタイプ又は1.3 Mタイプ	使用箇所	等級	厚さ				使用箇所	厚さ	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分							薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理		適用部材	保存処理性能区分	K2 K3 K4		K2 K3 K4		薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理		適用部材	処理の方法	薬剤の種類		薬剤の製造所の仕様による	JIS K 1571に適合又は同等品	6 内装改修工事	<p>ビニル床タイル</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>種 類</th> <th>記号</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>色 柄</th> <th>寸 法</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">接着形</td> <td>コボシヨビニル床タイル</td> <td>K T</td> <td>2.0 3.0</td> <td rowspan="2">無地 ○柄物</td> <td rowspan="2">300×300 ○450×450</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>単層ビニル床タイル</td> <td>T T</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">重ね形</td> <td>複層ビニル床タイル</td> <td>F T</td> <td>2.0 2.5 3.0</td> <td rowspan="2">○柄物</td> <td rowspan="2">500×500</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>置敷きビニル床タイル</td> <td>F O A</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>薄型置敷きビニル床タイル</td> <td>F O B</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>帯電防止床シート 帯電防止タイル</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>性 能</th> <th>厚 さ (mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td>体積抵抗値 1.0×10⁹ 以下</td> <td></td> </tr> </table> <p>視覚障害者用床タイル</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>形 状</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>塩化ビニル系</td> <td>3 0 0mm角</td> <td></td> </tr> <tr> <td>レジンコンクリート系</td> <td>1 5 0mm角</td> <td></td> </tr> <tr> <td>磁器又はせっ器質タイル</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>耐動荷重性床シート</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>厚 さ (mm)</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>防滑性床シート 防滑性床タイル</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>寸 法</th> <th>厚 さ (mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>ビニル幅木</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>高 さ (mm)</th> <th>厚 さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>軟質 硬質</td> <td>60 75 100</td> <td>1.5 2.0</td> </tr> </table> <p>ゴム床タイル張り</p> <table border="1"> <tr> <th>色 柄</th> <th>種 類</th> <th>厚 さ (mm)</th> <th>寸 法 (mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td>単層品 積層品</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>織じゅうたん</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>織り方</th> <th>パイル形状</th> <th>帯電性</th> <th>色柄</th> <th>接合方法</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>A種 B種 C種</td> <td></td> <td></td> <td>適用</td> <td>無地</td> <td>ヒトコト工法 つづり縫い</td> <td></td> </tr> </table> <p>タフテッドカーペット</p> <table border="1"> <tr> <th>パイル形状</th> <th>パイル長さ(mm)</th> <th>工 法</th> <th>帯電性</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>クリップ工法 全面接着工法</td> <td>適用</td> <td></td> </tr> </table> <p>タイルカーペット</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>パイル形状</th> <th>寸法(mm)</th> <th>総厚さ(mm)</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>一種 二種</td> <td>ループパイル</td> <td>500×500</td> <td>6.5</td> <td></td> </tr> </table> <p>タイルカーペットの敷き方 平場部分 市松敷き _____ 階段部分 模様流し _____</p> <p>接着剤のホルムアルデヒド放散量 F _____ 下敷き材 JIS L 3204(反毛フェルト)の第2種 2号 呼び厚さ8mm</p> <p>見切り、押さえ金物 材質、形状等 図示による _____</p>	区分	種 類	記号	厚さ(mm)	色 柄	寸 法	施工箇所	接着形	コボシヨビニル床タイル	K T	2.0 3.0	無地 ○柄物	300×300 ○450×450		単層ビニル床タイル	T T	2.0	重ね形	複層ビニル床タイル	F T	2.0 2.5 3.0	○柄物	500×500		置敷きビニル床タイル	F O A	4.0		薄型置敷きビニル床タイル	F O B					種 類	性 能	厚 さ (mm)		体積抵抗値 1.0×10 ⁹ 以下		種 類	形 状	備 考	塩化ビニル系	3 0 0mm角		レジンコンクリート系	1 5 0mm角		磁器又はせっ器質タイル			種 類	厚 さ (mm)	備 考				種 類	寸 法	厚 さ (mm)				種 類	高 さ (mm)	厚 さ (mm)	軟質 硬質	60 75 100	1.5 2.0	色 柄	種 類	厚 さ (mm)	寸 法 (mm)		単層品 積層品			種 別	織り方	パイル形状	帯電性	色柄	接合方法	施 工 箇 所	A種 B種 C種			適用	無地	ヒトコト工法 つづり縫い		パイル形状	パイル長さ(mm)	工 法	帯電性	施 工 箇 所			クリップ工法 全面接着工法	適用		種別	パイル形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	施 工 箇 所	一種 二種	ループパイル	500×500	6.5		6 内装改修工事	<p>11 フローリング張り (6.11.2) ~ (6.11.6)</p> <p>フローリングのホルムアルデヒド放散量 改修標仕6.11.2(2)による 接着剤のホルムアルデヒド放散量 F _____</p> <p>単層フローリング (表6.11.1) ~ (表6.11.6)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>樹 種</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>大きさ</th> <th>工 法</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">フローリングボード1等</td> <td rowspan="3">なら</td> <td rowspan="3">15</td> <td>表6.11.1</td> <td>釘留め工法</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>表6.11.3</td> <td>根太張り工法</td> </tr> <tr> <td>表6.11.5</td> <td>直張り工法</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">フローリングボード1等</td> <td rowspan="2">なら</td> <td rowspan="2">8</td> <td></td> <td>接着工法</td> <td rowspan="2">防水処理足金物付</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td></td> </tr> </table> <p>複合フローリング</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>樹 種</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>工 法</th> <th>種 別</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">1×6タイプフローリングボードタイプ</td> <td rowspan="3">なら</td> <td rowspan="3">15</td> <td>釘留め工法</td> <td rowspan="3">A種 B種 C種</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>根太張り工法</td> </tr> <tr> <td>直張り工法</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>接着工法</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>接着工法のフローリング裏面の不陸緩衝材 合成樹脂発泡シート _____</p> <p>仕上げ塗装 ウレタン樹脂ワニス塗り(1液形) B種 オイルステインの上ワックス塗り 生地そのままワックス塗り</p> <p>12 畳敷き (6.12.2)</p> <p>種別 A種 B種 C種 D種 (KT-____) 衝撃緩和型畳 (畳表: C1 C2)</p> <p>13 せっこうボード、その他ボード及び合板張り (6.13.2) (6.13.3)</p> <p>MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 F _____ 改修標仕6.13.2(2)の(a)~(d)のいずれか 接着剤のホルムアルデヒド放散量 F _____ 表面への化粧張り等の加工 図示による _____</p> <p>種別 表6.13.1によるJIS規格品とする (表6.13.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>規 格、厚 さ (mm) 等</th> </tr> <tr> <td>せっこうボード(GB-R)</td> <td>12.5(不燃) 9.5(準不燃)</td> </tr> <tr> <td>化粧せっこうボード(GB-D)</td> <td>杉証模様 12.5(不燃) トラバーチン模様 (軽鉄下地は専用のものとする)</td> </tr> <tr> <td>不燃積層せっこうボード(GB-NC)</td> <td>トラバーチン模様 模様なし 9.5(不燃)</td> </tr> <tr> <td>シージングせっこうボード(GB-S)</td> <td>15(不燃) 12.5(準不燃) 9.5(準不燃)</td> </tr> <tr> <td>強化せっこうボード(GB-F)</td> <td>21(不燃) 15(不燃) 12.5(不燃)</td> </tr> <tr> <td>ロックウール吸音ボード(RW-B)</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>グラスウール吸音ボード(GW-B)</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>吸音あなあきせっこうボード(GB-P)</td> <td>9.5(準不燃)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">ロックウール化粧吸音板(DR)</td> <td rowspan="3">内部用</td> <td>フラット 12(不燃) 9(不燃)</td> </tr> <tr> <td>立体模様 15(不燃) 12(不燃)</td> </tr> <tr> <td>軒天用 フラット 12(不燃) 9(不燃) 立体模様 15(不燃) 12(不燃)</td> </tr> <tr> <td>化粧けい酸カルシウム板(0.8FK)</td> <td>タイプ2(無石棉) 8.0 6.0</td> </tr> <tr> <td>メラミン樹脂化粧板</td> <td>JIS K 6903 による 1.2</td> </tr> <tr> <td>難燃木毛セメント板</td> <td>30 25 20 15</td> </tr> <tr> <td>断熱木毛セメント板</td> <td>30 25 20 15</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">火山性ガラス質被覆層板</td> <td>研磨品 (3 6 9 9.5 ____)</td> </tr> <tr> <td>無研磨品 (3 6 9 9.5 ____)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">普通合板</td> <td>厚さ 5.5 接着の程度 表板樹種 シナ</td> </tr> <tr> <td>板面の品質 防虫処理 行う</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">天然木化粧合板</td> <td>厚さ 接着の程度</td> </tr> <tr> <td>化粧板樹種 なら しおじ 防虫処理 行う</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">特殊加工化粧合板</td> <td>厚さ 接着の程度 化粧加工の方法</td> </tr> <tr> <td>表面性能 F FW W WS 防虫処理 行う</td> </tr> <tr> <td>その他張り用合板</td> <td></td> </tr> </table> <p>合板類の張付け A種 B種 (表6.13.3) せっこうボードの目地処理 (表6.13.5) 縦目処理 突付け 目透かし (表6.13.5) 突付け工法及び目透し工法のエッジの種類 ベベルエッジ スクエアエッジ (表6.13.5)</p>	種 類	樹 種	厚さ(mm)	大きさ	工 法	備 考	フローリングボード1等	なら	15	表6.11.1	釘留め工法		表6.11.3	根太張り工法	表6.11.5	直張り工法	フローリングボード1等	なら	8		接着工法	防水処理足金物付	15		種 類	樹 種	厚さ(mm)	工 法	種 別	備 考	1×6タイプフローリングボードタイプ	なら	15	釘留め工法	A種 B種 C種		根太張り工法	直張り工法				接着工法			種 類	規 格、厚 さ (mm) 等	せっこうボード(GB-R)	12.5(不燃) 9.5(準不燃)	化粧せっこうボード(GB-D)	杉証模様 12.5(不燃) トラバーチン模様 (軽鉄下地は専用のものとする)	不燃積層せっこうボード(GB-NC)	トラバーチン模様 模様なし 9.5(不燃)	シージングせっこうボード(GB-S)	15(不燃) 12.5(準不燃) 9.5(準不燃)	強化せっこうボード(GB-F)	21(不燃) 15(不燃) 12.5(不燃)	ロックウール吸音ボード(RW-B)	25	グラスウール吸音ボード(GW-B)	25	吸音あなあきせっこうボード(GB-P)	9.5(準不燃)	ロックウール化粧吸音板(DR)	内部用	フラット 12(不燃) 9(不燃)	立体模様 15(不燃) 12(不燃)	軒天用 フラット 12(不燃) 9(不燃) 立体模様 15(不燃) 12(不燃)	化粧けい酸カルシウム板(0.8FK)	タイプ2(無石棉) 8.0 6.0	メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903 による 1.2	難燃木毛セメント板	30 25 20 15	断熱木毛セメント板	30 25 20 15	火山性ガラス質被覆層板	研磨品 (3 6 9 9.5 ____)	無研磨品 (3 6 9 9.5 ____)	普通合板	厚さ 5.5 接着の程度 表板樹種 シナ	板面の品質 防虫処理 行う	天然木化粧合板	厚さ 接着の程度	化粧板樹種 なら しおじ 防虫処理 行う	特殊加工化粧合板	厚さ 接着の程度 化粧加工の方法	表面性能 F FW W WS 防虫処理 行う	その他張り用合板		6 内装改修工事	<p>14 壁紙張り (6.14.2) (6.14.3)</p> <p>防火性能・種類・規格・施工箇所 図示による 下表による</p> <table border="1"> <tr> <th>施 行 箇 所</th> <th>防火性能</th> <th>品 質 ・ 規 格</th> </tr> <tr> <td>洗面脱衣室壁</td> <td></td> <td>ビニル壁紙量産品(中級品)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>素地ごしらえ モルタル及びせっこうプラスター面 A種 B種 (表7.2.4) コンクリート面 A種 B種 (表7.2.5) せっこうボード面及びその他のボード面 A種 B種 (表7.2.7)</p> <p>材質 アルミニウム製 塩化ビニル製</p> <p>15 天井廻り縁</p> <p>16 モルタル塗り (6.15.2) ~ (6.15.6)</p> <p>モルタル 現場調合材料 既製目地材 既調合材料(_____) 設ける (形状 _____) 床目地 設ける 設けない 目地の種類 押目地 _____ 目地割り 2m程度 _____ 最大目地間隔 3m程度 _____</p> <p>17 タイル張り (6.16.2) ~ (6.16.4)</p> <p>伸縮調整目地等 床面 縦・横とも4m以内ごと _____ 壁面 図示による _____ タイルの試験張り 行わない 行う タイルの見本焼 行わない 行う 施工後の確認及び試験 行わない 行う 浮きの確認 全面打診による確認を行う 接着力の試験 接着力試験機による引張接着強度の測定を行う 行わない</p> <p>タイルの種類</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所・形状・タイルの種類</th> <th>生地</th> <th>釉 薬</th> <th>耐凍害性</th> <th>耐滑り性</th> <th>役 物</th> <th>色</th> <th>工 法</th> </tr> <tr> <td></td> <td>磁器 陶器</td> <td>無釉 施釉</td> <td>有り 無し</td> <td></td> <td>有り 無し</td> <td>標準 特注</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>磁器 陶器</td> <td>無釉 施釉</td> <td>有り 無し</td> <td></td> <td>有り 無し</td> <td>標準 特注</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>磁器 陶器</td> <td>無釉 施釉</td> <td>有り 無し</td> <td></td> <td>有り 無し</td> <td>標準 特注</td> <td></td> </tr> </table> <p>壁タイル張りの工法 内装タイル 密着張り 改良圧着張り 内装タイル以外のユニットタイル マスク張り モザイクタイル張り 内装タイル接着張りの有機質接着剤のホルムアルデヒド放散量 F _____ 既調合モルタル _____ 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 目荒し工法 _____</p> <p>18 セルフレベリング材塗り (6.17.2) ~ (6.17.3)</p> <p>塗厚(mm) 10 15 _____</p>	施 行 箇 所	防火性能	品 質 ・ 規 格	洗面脱衣室壁		ビニル壁紙量産品(中級品)				施工箇所・形状・タイルの種類	生地	釉 薬	耐凍害性	耐滑り性	役 物	色	工 法		磁器 陶器	無釉 施釉	有り 無し		有り 無し	標準 特注			磁器 陶器	無釉 施釉	有り 無し		有り 無し	標準 特注			磁器 陶器	無釉 施釉	有り 無し		有り 無し	標準 特注		7 塗装改修工事	<p>1 塗装材料 (7.1.3)</p> <p>塗料のホルムアルデヒド等の放散量 F _____</p> <p>2 下地調整 (7.2.1) ~ (7.2.7)</p> <p>塗替え下地調整の種類がR6種の場合の既存塗膜の除去範囲 劣化部分は除去し、活膜部分は残す 図示 (表7.2.1) ~ (表7.2.7)</p> <table border="1"> <tr> <th>素 地</th> <th>種 別</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">木部</td> <td>R A種</td> <td rowspan="3">洗面脱衣室 窓額縁・入口枠額縁</td> </tr> <tr> <td>R B種</td> </tr> <tr> <td>R C種</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">鉄鋼面</td> <td>R A種</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>R B種</td> </tr> <tr> <td>R C種</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">垂鉛めっき鋼面</td> <td>R A種</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>R B種</td> </tr> <tr> <td>R C種</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">モルタル及びせっこうボード面</td> <td>R A種</td> <td rowspan="3">ひび割れ部の補修 適用する 適用しない</td> </tr> <tr> <td>R B種</td> </tr> <tr> <td>R C種</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">コンクリート面及びALCパネル面</td> <td>R A種</td> <td rowspan="3">ひび割れ部の補修 適用する 適用しない</td> </tr> <tr> <td>R B種</td> </tr> <tr> <td>R C種</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">コンクリート面及び押出成形型材面</td> <td>R A種</td> <td rowspan="3">ひび割れ部の補修 適用する 適用しない</td> </tr> <tr> <td>R B種</td> </tr> <tr> <td>R C種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">せっこうボード及びその他ボード面</td> <td>R A種</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>R B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>R C種</td> <td></td> </tr> </table>	素 地	種 別	備 考	木部	R A種	洗面脱衣室 窓額縁・入口枠額縁	R B種	R C種	鉄鋼面	R A種		R B種	R C種	垂鉛めっき鋼面	R A種		R B種	R C種	モルタル及びせっこうボード面	R A種	ひび割れ部の補修 適用する 適用しない	R B種	R C種	コンクリート面及びALCパネル面	R A種	ひび割れ部の補修 適用する 適用しない	R B種	R C種	コンクリート面及び押出成形型材面	R A種	ひび割れ部の補修 適用する 適用しない	R B種	R C種	せっこうボード及びその他ボード面	R A種		R B種		R C種	
	使用箇所	厚さ	各種区分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		15mm	1.3 Pタイプ又は1.3 Mタイプ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
使用箇所	等級	厚さ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
使用箇所	厚さ	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
適用部材	保存処理性能区分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
K2 K3 K4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
K2 K3 K4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
適用部材	処理の方法	薬剤の種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	薬剤の製造所の仕様による	JIS K 1571に適合又は同等品																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
区分	種 類	記号	厚さ(mm)	色 柄	寸 法	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
接着形	コボシヨビニル床タイル	K T	2.0 3.0	無地 ○柄物	300×300 ○450×450																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	単層ビニル床タイル	T T	2.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
重ね形	複層ビニル床タイル	F T	2.0 2.5 3.0	○柄物	500×500																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	置敷きビニル床タイル	F O A	4.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	薄型置敷きビニル床タイル	F O B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
種 類	性 能	厚 さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	体積抵抗値 1.0×10 ⁹ 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
種 類	形 状	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
塩化ビニル系	3 0 0mm角																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
レジンコンクリート系	1 5 0mm角																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
磁器又はせっ器質タイル																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
種 類	厚 さ (mm)	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
種 類	寸 法	厚 さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
種 類	高 さ (mm)	厚 さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
軟質 硬質	60 75 100	1.5 2.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
色 柄	種 類	厚 さ (mm)	寸 法 (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	単層品 積層品																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
種 別	織り方	パイル形状	帯電性	色柄	接合方法	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
A種 B種 C種			適用	無地	ヒトコト工法 つづり縫い																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
パイル形状	パイル長さ(mm)	工 法	帯電性	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		クリップ工法 全面接着工法	適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
種別	パイル形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
一種 二種	ループパイル	500×500	6.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
種 類	樹 種	厚さ(mm)	大きさ	工 法	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
フローリングボード1等	なら	15	表6.11.1	釘留め工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
			表6.11.3	根太張り工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
			表6.11.5	直張り工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
フローリングボード1等	なら	8		接着工法	防水処理足金物付																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
			15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
種 類	樹 種	厚さ(mm)	工 法	種 別	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
1×6タイプフローリングボードタイプ	なら	15	釘留め工法	A種 B種 C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
			根太張り工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
			直張り工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
			接着工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
種 類	規 格、厚 さ (mm) 等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
せっこうボード(GB-R)	12.5(不燃) 9.5(準不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
化粧せっこうボード(GB-D)	杉証模様 12.5(不燃) トラバーチン模様 (軽鉄下地は専用のものとする)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
不燃積層せっこうボード(GB-NC)	トラバーチン模様 模様なし 9.5(不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
シージングせっこうボード(GB-S)	15(不燃) 12.5(準不燃) 9.5(準不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
強化せっこうボード(GB-F)	21(不燃) 15(不燃) 12.5(不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
ロックウール吸音ボード(RW-B)	25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
グラスウール吸音ボード(GW-B)	25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
吸音あなあきせっこうボード(GB-P)	9.5(準不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
ロックウール化粧吸音板(DR)	内部用	フラット 12(不燃) 9(不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		立体模様 15(不燃) 12(不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		軒天用 フラット 12(不燃) 9(不燃) 立体模様 15(不燃) 12(不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
化粧けい酸カルシウム板(0.8FK)	タイプ2(無石棉) 8.0 6.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903 による 1.2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
難燃木毛セメント板	30 25 20 15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
断熱木毛セメント板	30 25 20 15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
火山性ガラス質被覆層板	研磨品 (3 6 9 9.5 ____)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	無研磨品 (3 6 9 9.5 ____)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
普通合板	厚さ 5.5 接着の程度 表板樹種 シナ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	板面の品質 防虫処理 行う																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
天然木化粧合板	厚さ 接着の程度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	化粧板樹種 なら しおじ 防虫処理 行う																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
特殊加工化粧合板	厚さ 接着の程度 化粧加工の方法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	表面性能 F FW W WS 防虫処理 行う																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
その他張り用合板																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
施 行 箇 所	防火性能	品 質 ・ 規 格																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
洗面脱衣室壁		ビニル壁紙量産品(中級品)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
施工箇所・形状・タイルの種類	生地	釉 薬	耐凍害性	耐滑り性	役 物	色	工 法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	磁器 陶器	無釉 施釉	有り 無し		有り 無し	標準 特注																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	磁器 陶器	無釉 施釉	有り 無し		有り 無し	標準 特注																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	磁器 陶器	無釉 施釉	有り 無し		有り 無し	標準 特注																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
素 地	種 別	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
木部	R A種	洗面脱衣室 窓額縁・入口枠額縁																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	R B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	R C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
鉄鋼面	R A種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	R B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	R C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
垂鉛めっき鋼面	R A種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	R B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	R C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
モルタル及びせっこうボード面	R A種	ひび割れ部の補修 適用する 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	R B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	R C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
コンクリート面及びALCパネル面	R A種	ひび割れ部の補修 適用する 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	R B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	R C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
コンクリート面及び押出成形型材面	R A種	ひび割れ部の補修 適用する 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	R B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	R C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
せっこうボード及びその他ボード面	R A種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	R B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	R C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
6 内装改修工事	<p>9 カーペット敷き (6.9.2) ~ (6.9.3)</p> <p>厚膜型塗床材 (6.10.2) (6.10.3)</p> <p>弾性ウレタン樹脂系塗床材 平滑仕上げ 防滑仕上げ つや消し仕上げ 塗厚(mm) _____</p> <p>エポキシ樹脂系塗床材 薄膜流しのべ工法 (平滑 防滑) 厚膜流しのべ工法 (平滑 防滑) 樹脂モルタル工法 (平滑 防滑)</p> <p>薄膜型塗床材 エポキシ樹脂系塗床材 塗床材料のホルムアルデヒド放散量 F _____</p>	10 合成樹脂塗床 (6.10.2) (6.10.3)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
6 内装改修工事	<p>8 ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り (6.8.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>種 類</th> <th>記号</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>色 柄</th> <th>工 法</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">発泡層無</td> <td>単層ビニル床シート</td> <td>T S</td> <td rowspan="2">2.5 2.0</td> <td rowspan="2">無地 マーブル 柄物</td> <td rowspan="2">熱溶接</td> <td rowspan="2">仕上表による</td> </tr> <tr> <td>複層ビニル床シート</td> <td>F S</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">発泡層有</td> <td>発泡複層ビニル床シート</td> <td>H S</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>クッションフロア</td> <td>K S</td> </tr> </table>	区分	種 類	記号	厚さ(mm)	色 柄	工 法	施工箇所	発泡層無	単層ビニル床シート	T S	2.5 2.0	無地 マーブル 柄物	熱溶接	仕上表による	複層ビニル床シート	F S	発泡層有	発泡複層ビニル床シート	H S					クッションフロア	K S	8 ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り (6.8.2)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
区分	種 類	記号	厚さ(mm)	色 柄	工 法	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
発泡層無	単層ビニル床シート	T S	2.5 2.0	無地 マーブル 柄物	熱溶接	仕上表による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	複層ビニル床シート	F S																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
発泡層有	発泡複層ビニル床シート	H S																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	クッションフロア	K S																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									

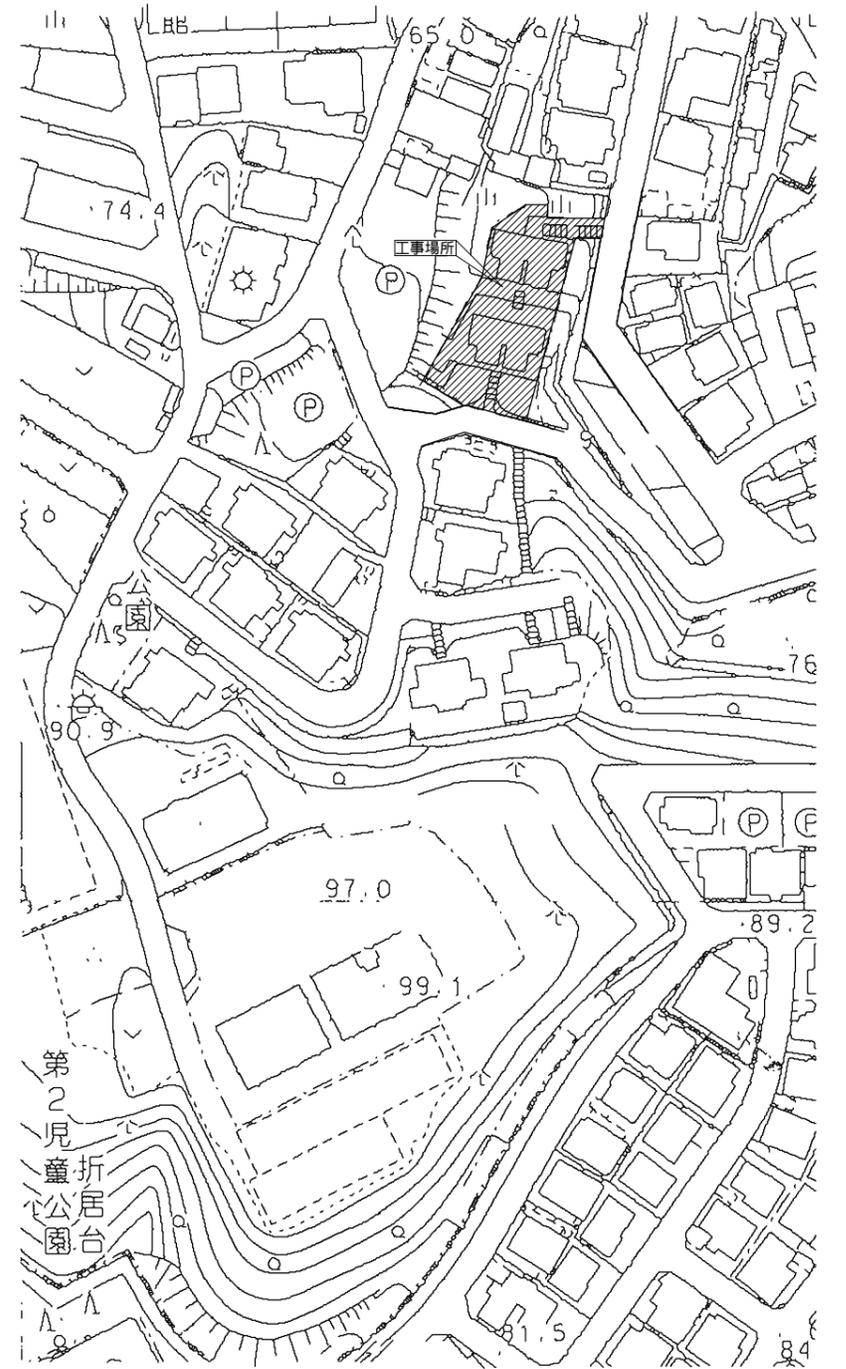


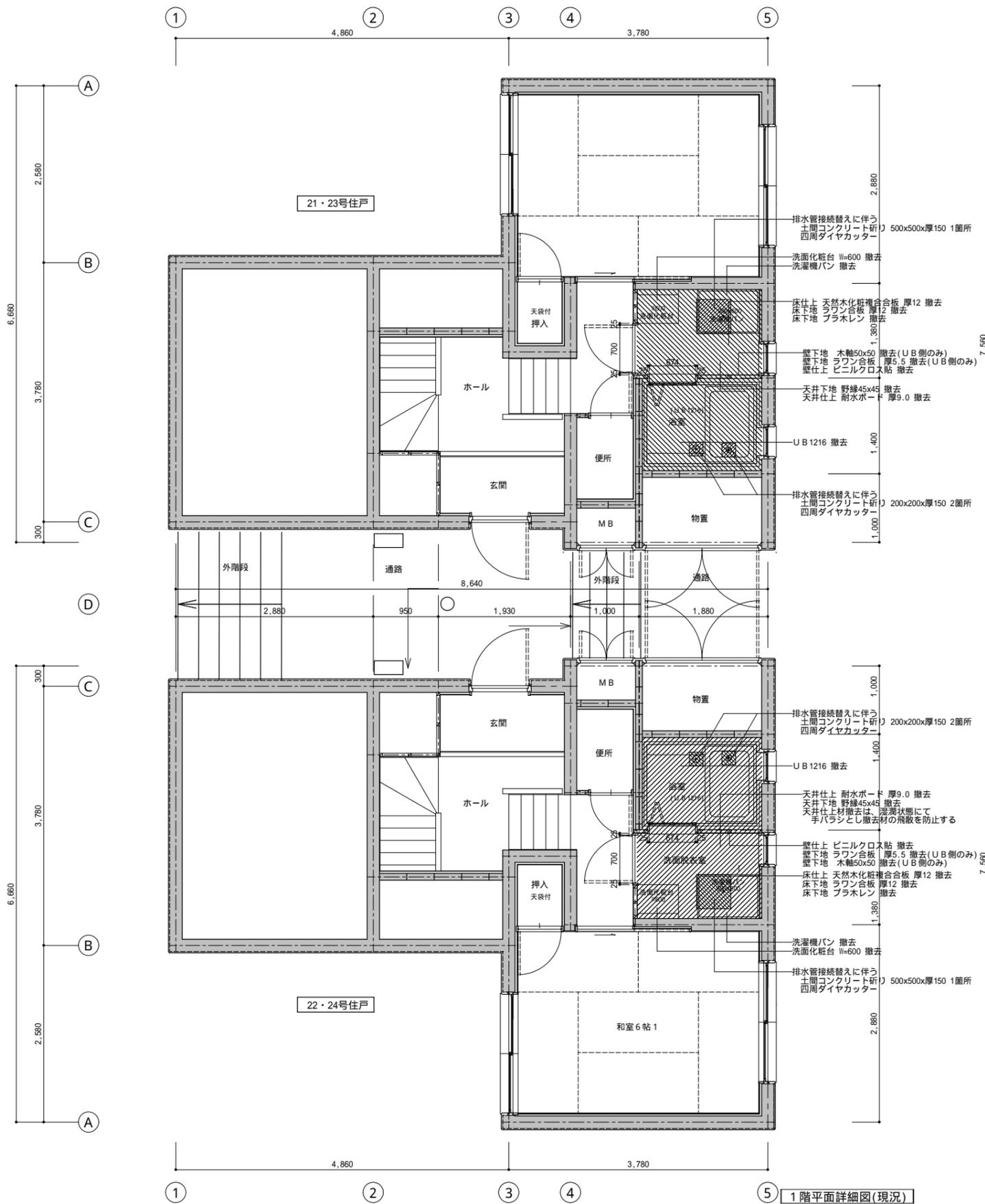
章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項		
7 塗装改修工事	③ 素地ごしらえ (7.3.2) ~ (7.3.7)	(表7.3.2) ~ (表7.3.7)	1 鉄筋の種類 (8.2.1)	(表8.2.1)	8-2 耐震補強工事(コンクリート工事)	10 無筋コンクリート (8.11.1) (8.11.2)	コンクリートの種類 普通コンクリート 設計基準強度 18N/mm ² スラブ 15cm又は18cm セメントの種類 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 高炉セメントB種 フライアッシュセメントB種 適用箇所 標準仕様書6.14.1(4)による箇所 図示による()		
	4 錆止め塗料塗り (7.4.2) (7.4.3)	錆止め塗料の種類 素地面 塗装の種類 塗料の種類 工程の種類 備考 鉄鋼面 S O P 塗替え A種 C種 ○ (工程の種類は表7.4.3) 新規見え掛り A種 A種 ○ E P-G 塗替え A種 B種 C種 ○ (工程の種類は表7.4.3) 新規見え掛り A種 B種 A種 ○ D P 塗替え 7.4.2(1)(イ) ○ B種(下地調整種) (a)による ○ C種(下地調整種) (工程の種類は表7.4.4) 新規 7.4.2(1)(イ) ○ A種 (a)による 亜鉛めっき鋼面 S O P 塗替え A種 ○ B種 C種 ○ (工程の種類は表7.4.5) 新規 鋼製建具等 A種 ○ B種 A種 ○ E P-G 塗替え C種 ○ C種 ○ 規 其他 B種 ○ B種 ○ (工程の種類は表7.4.5) 新規 鋼製建具等 C種 ○ A種 ○ 規 其他 C種 ○ B種 ○ D P 塗替え B種 ○ - (工程の種類は表7.4.6) 新規 B種 ○ -	2 溶接金網(8.2.2)	網目の形状、寸法 鉄線の径(mm)	3 鉄筋の継手及び定着(8.3.4) (8.4.2) (8.4.3)	部 位 接 合 方 法 径(mm) 重ね継手 ガス圧接継手 D 19以上 機械式継手 溶接継手 重ね継手 ガス圧接継手 D 16以下 機械式継手 溶接継手 機械式継手 適用箇所、性能、種類、鉄筋相互のあき 構造図による 施工完了後の継手部の試験 行う 行わない 不合格となった継手部への措置等 監督職員と協議する 溶接継手 適用箇所、性能、工法、鉄筋相互のあき 構造図による 溶接完了後の溶接部の試験 行う 行わない 不合格となった溶接部への措置等 監督職員と協議する 柱及び梁の主筋並びに耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さ 構造図による 鉄筋継手位置 構造図による 表8.3.3による 鉄筋の定着長さ 構造図による 表8.3.4による 機械式定着工法 適用箇所、種類 構造図による 帯筋組立の形、継手及び定着 構造図による	11 コンクリート車の過積載防止対策等	受注者は、出荷伝票等を整理・保管し、監督職員の請求があった場合は、遅滞なく提出するとともに、検査時に提示しなければならない。また、ミキサー車1台毎の積載量が把握できる運搬管理表を検査時に提出しなければならない。	
5 塗装工程 (7.5.2) ~ (7.13.2)	⑤ 塗装工程 (7.5.2) ~ (7.13.2)	(表7.5.1) ~ (表7.13.1)	4 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(8.3.5)	鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ 構造図による 表8.3.6による(次の2項目のかぶり厚さを除く。) 軽量コンクリートで土に接する部分の鉄筋のかぶり厚さは下表による。 塩害の受けるおそれのある部分等、耐久上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さは下表による。 施 工 箇 所 等 最 小 か ぶ り 厚 さ(mm)	8-3 耐震補強工事(あと施工アンカー工事)	1 あと施工アンカー (8.2.4) (8.12.4)	金属系アンカー 引張耐力 セン断耐力 径 埋込み長さ セット方式 本体打込み式改良型 接合筋 種類 長さ 径 接着系アンカー 引張耐力 セン断耐力 種類 カプセル型回転・打撃式 アンカー筋 改修仕様表8.2.1の異形棒鋼 種類 径 埋込み長さ 新設壁内への定着長さ 埋め込み配管等の探査 範囲 あと施工アンカー施工部分全て 方法 鉄筋探知機(金属探知機)により探査し、鉄筋、配管類の位置に 要出しを行う。 図示による		
	⑤ 塗装工程 (7.5.2) ~ (7.13.2)	工程の種類 記 号 名 称 種 別 S O P 合成樹脂調合ペイント塗り 木部 新規外部 A種 B種 C種 新規内部 A種 B種 C種 塗替え A種 B種(外部の場合)工程3、 工程4は行わない) C種 種類 1種 鉄鋼面 A種 B種 C種 亜鉛めっき鋼面 鋼製建具 A種 B種 C種 塗替え 其他塗替え・新規 A種 B種 C種 C L カワカ塗り A種(着色塗料の種類) B種 N A D アクリル樹脂系 非水分散形塗料塗り A種 B種 D P 耐候性塗料塗り 鉄鋼面 亜鉛めっき鋼面 コンクリート面及び 押出成形セメント板面 A-1種 B-1種 C-1種 A-2種 B-2種 C-2種 上塗り 1級 ふっ素樹脂系等 2級 シリコン系等 3級 ポリウレタン系等 E P-G つや有合成樹脂エポキシペイント塗り 鉄鋼面 A種 B種 C種 木部 新規 A種 B種 C種 塗替え A種 B種 C種 鉄鋼面 A種 B種 C種 亜鉛めっき鋼面 A種 ○ B種 E P 合成樹脂エポキシペイント塗り A種 B種 C種 しみ止め しみ止めシーラー(B種及びC種の場合) U C ウレタン樹脂ニス塗り A種 B種 アクリルニス塗り ビジメツクニス塗り(表7.13.1) オキシメツクニス塗り(OS) W P 木材保護塗料塗り A種 B種 クイヤラッカー塗りA種の工程2の運用 適用する(着色剤: 溶剤系着色剤 油性染料着色剤) 適用しない ウレタン樹脂ニス塗りの工程1の着色の適用 適用する 適用しない オイルステイン塗りの工程等	5 圧接完了後の試験(8.3.8)	試験方法 超音波探傷試験を全圧接部で行う。	6 割裂補強筋 (8.21.6) (8.22.7)	形状 スパイラル筋 種類の記号 SR235 または SMM-P 呼び径、曲げ直径、ピッチ 図示による()	2 あと施工アンカーの試験(8.2.4) (8.12.7)	性能確認試験 行わない 行う 施工確認試験 行う(引張試験機による引張試験 確認強度) 行わない 1 ロット 1日に施工されたものの径及び仕様ごと 試験の箇所数 1ロットに対し3本、無作為に抜き取る	
			1 コンクリートの強度(8.1.3) (8.1.4) (8.9.1) (8.9.2)	コンクリートの種類 類 類 普通コンクリート 打 設 部 位 Fc(N/mm ²) スラブ(cm) 備 考 基礎 2.4 1.8 上部 2.4 1.8 軽量コンクリート 打 設 部 位(適用箇所) Fc(N/mm ²) スラブ(cm) 備 考 2.1 2.1 構造体コンクリートの発注強度は以下のとおりとする。 { Fc + 構造体強度補正值(S) } / N/mm ² (標仕6.14.1によるもの及び土間コンクリートは構造体強度補正は行わない)	8-4 耐震補強工事(鉄骨工事)	1 鉄骨の製作工場 (8.1.5)	監督職員の承諾する工場 建築基準法第68条の25に基づき国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している鉄骨製作工場又は同等以上の能力のある工場 (S H M R J)グレード以上		
			2 普通コンクリートの材料(8.2.5)	普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 高炉セメントのB種(施工箇所) シリカセメント フライアッシュセメントのB種(施工箇所) 骨材 粗骨材 砂利(JIS A5308)、砕石(JIS A5005) 高炉スラグ 電気炉酸化スラグ 再生骨材H 細骨材 砂(JIS A5308)、砕砂(JIS A5005) 高炉スラグ 電気炉酸化スラグ 鋼スラグ 再生骨材H アルカリシリカ反応性による区分 A(無害)	6 コンクリートの試験(8.8.2) ~ (8.8.5)	フレッシュコンクリートの試験 省略する	2 鉄骨製作工場における施工管理技術者(8.1.6)	適用する 適用しない	
				3 寒中コンクリート	予想平均気温が表8.2.4に示す予想平均気温未満の場合には標仕第6章第11節(寒中コンクリート)による。	7 軽量コンクリート(8.9.1)	常時土又は水に直接接する部分の使用 可 不可 種類 1種 2種 気乾単位容積質量 t/m ³	3 鋼材の種類(8.2.8)	種類の記号 使用箇所 規格等 SS400 JIS G 3101 SM400A JIS G 3106 SN400A JIS G 3136 図示による
						8 暑中コンクリート(8.10.2)	暑中における構造体補正值(S) 地 域 日平均気温が25度を超える期間(打設日) 補 正 値 北 部 地 域 7月11日~8月31日 6 N/mm ² 中 部 地 域 7月21日~8月31日 3 N/mm ² 南 部 地 域 7月1日~9月10日	4 高力ボルト(8.2.9) (8.14.2) (8.14.7)	ボルトの種類 トルシア形高力ボルト(建築基準法の認定品) JIS形高力ボルト(JIS B 1186) 2種(F10T) 溶融亜鉛めっき高力ボルト(建築基準法の認定品、1種(F8T)) ねじの呼び すべり係数試験(対比試験片を作成し、摩擦面の処理状況を確認する) 行わない 行う 試験方法等 図示による JIS形高力ボルトの本締めで、ボルトの長さがねじの呼びの5倍を超える場合の 回転量



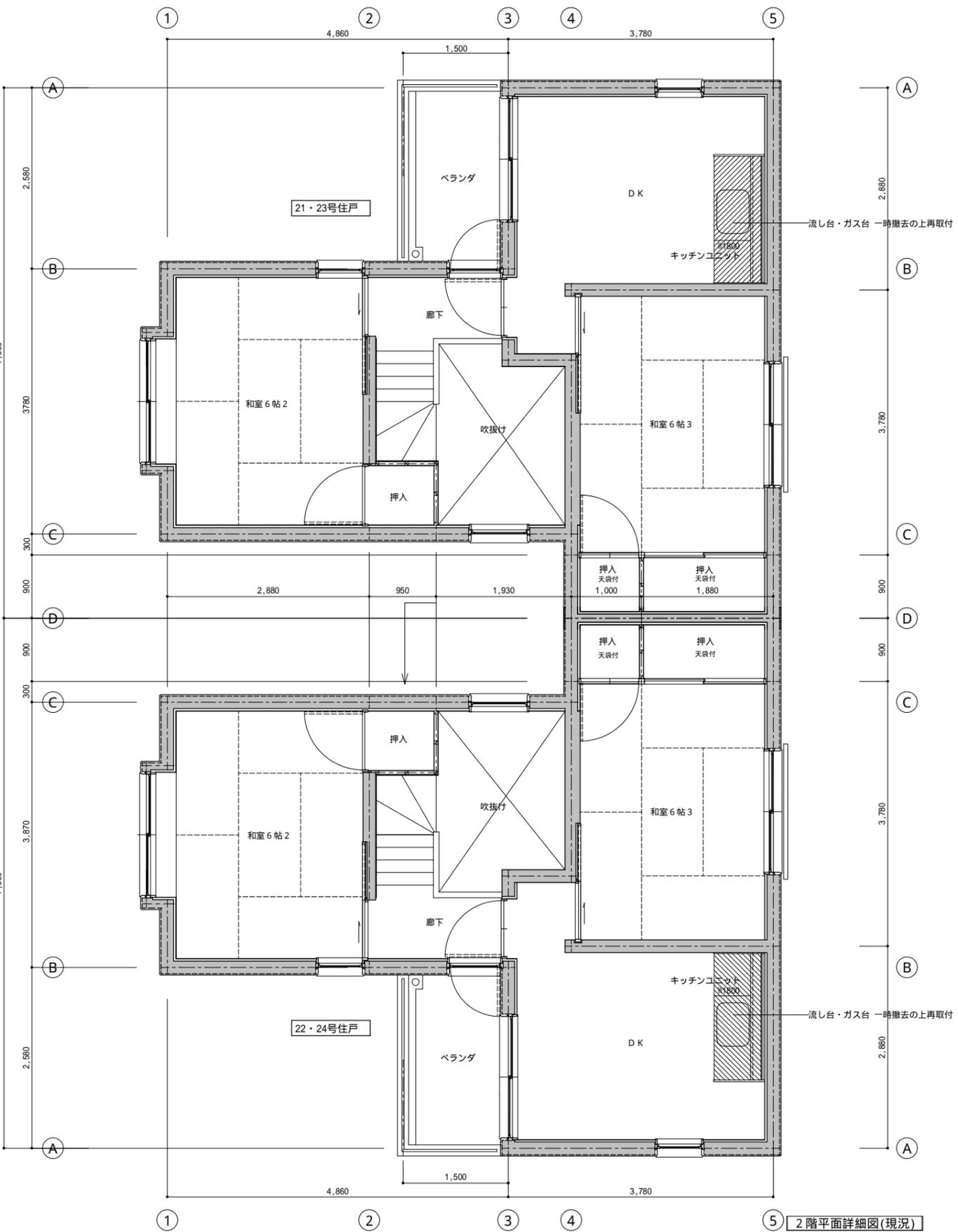
章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項																																						
13 ア ス ベ ス ト 対 策 工 事	① ① 通用範囲 (9.1.1)	アスベストを重量で0.1%を超えて含有する、アスベスト含有建材の除去工事に適用する。 アスベスト含有吹付け材除去工事 除去工法 () 封じ込め工法 () 囲い込み工法 () アスベスト含有保温材等除去工事 アスベスト含有成形板除去工事	5 仕上げ工事 (9.1.1)	アスベスト含有建材除去後の仕上げ工事 図示による	13 ア ス ベ ス ト 対 策 工 事	9 アスベスト含有保温材等の除去 (9.1.4)	除去を行う範囲 図示による 除去の方法 原形のまま手ばらし 手ばらし以外 (この場合は改修標仕9.1.3(a)による隔離とする)																																						
	② 法令等の遵守	施工にあたっては、「大気汚染防止法(昭和43年法律97号)」「労働安全衛生法(昭和47年法律57号)」「石綿障害予防規則(平成17年厚生労働省令21号)」「廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和45年法律137号)」「建築基準法(昭和25年法律201号)」「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)(平成12年法律104号)」「京都府建築物の解体等に伴う石綿の飛散防止に関する緊急措置条例(平成17年京都府条例45号)」等、石綿除去に関する諸法令に基づき適正に作業を行う。諸法令の適用及び運用は、受注者の負担と責任において行う。ただし、当該工事に関係のない事項は適用しない。	⑥ 石綿作業主任者 (9.1.2)	石綿作業主任者は、石綿作業主任者技能講習修了者または平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とし、証明書の写しに工事経歴書を添付して監督職員に提出する。		13 ア ス ベ ス ト 対 策 工 事	⑩ アスベスト含有成形板等の除去 (9.1.5)	除去を行う範囲 図示による 除去の方法 湿潤化したのちに手ばらし 湿潤剤等の噴霧、散水等により十分に湿潤化した状態で破砕 除去を行うアスベスト含有成形板の仕様 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>厚 (mm)</th> <th>種 類</th> <th>厚 (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石綿含有スレート</td> <td></td> <td>石綿含有ビニル床タイル</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>石綿含有けい酸カルシウム板</td> <td></td> <td>石綿セメントけい酸塩シム板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>石綿含有押出成形セメント板</td> <td></td> <td>化粧石綿むすびけい酸塩シム板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>石綿含有岩綿吸音天井板</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>石綿含有石膏ボード</td> <td>9.0</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種 類	厚 (mm)	種 類	厚 (mm)	石綿含有スレート		石綿含有ビニル床タイル	2.0	石綿含有けい酸カルシウム板		石綿セメントけい酸塩シム板		石綿含有押出成形セメント板		化粧石綿むすびけい酸塩シム板		石綿含有岩綿吸音天井板				石綿含有石膏ボード	9.0															
	種 類	厚 (mm)	種 類	厚 (mm)																																									
	石綿含有スレート		石綿含有ビニル床タイル	2.0																																									
石綿含有けい酸カルシウム板		石綿セメントけい酸塩シム板																																											
石綿含有押出成形セメント板		化粧石綿むすびけい酸塩シム板																																											
石綿含有岩綿吸音天井板																																													
石綿含有石膏ボード	9.0																																												
③ 石綿含有建材の調査 (1.5.1)	事前調査 ・施工計画に先立ち、改正大気汚染防止法第18条の17の規定により、特定工事に該当するか否かの調査を行う。 調査結果について発注者に書面を交付して説明を行い、調査結果その他環境省令で定める事項を、公衆に見やすいように掲示し、その写しを工事の現場に備え置く。 なお、特定工事に該当する場合は、「特定粉じん排出等作業実施届出書」の届出内容について発注者に書面を交付して説明を行う。 ・施工計画に先立ち、石綿障害予防規則第3条の規定により、アスベスト含有建材の有無を調査する。 調査結果を記録し、作業に従事する労働者が見やすいように掲示する。 事前調査は、国土交通省に登録された機関が行う講習を修了した建築物石綿含有建材調査者、石綿作業主任者技能講習修了者、日本アスベスト調査診断協会に登録されたアスベスト診断士等が行い、資格証明書の写しを監督職員に提出する。 調査範囲 図示による 調査事項 石綿使用部位の確認 石綿層の厚さの確認 施工範囲と工事管理区分の確認 更衣施設等の仮設計画 廃棄物等の搬出方法 アスベスト含有分析 行う(分析結果を監督職員に提出する) <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>定性分析方法</th> <th>定量分析方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>(箇所数)</td> <td>(箇所数)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(箇所数)</td> <td>(箇所数)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(箇所数)</td> <td>(箇所数)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(箇所数)</td> <td>(箇所数)</td> </tr> </tbody> </table> サンプル数 1箇所あたり3サンプル JIS A 1481に基づくこと。 行わない 既存の石綿含有建材の調査報告書の貸与 あり なし	材 料 名	定性分析方法	定量分析方法		(箇所数)	(箇所数)		(箇所数)	(箇所数)		(箇所数)	(箇所数)		(箇所数)	(箇所数)	7 特別管理産業廃棄物管理責任者 (9.1.2)	特別管理産業廃棄物管理責任者の有資格者とし、証明書の写しに工事経歴書を添付して監督職員に提出する。ただし、アスベスト含有成形板の除去工事を除く。	⑩ アスベスト含有成形板等の除去 (9.1.5)	除去物等の保管 他の建設副産物等と分別して保管する。 飛散防止措置を講ずる。 アスベスト等の保管場所であることの表示を行う。																									
材 料 名	定性分析方法	定量分析方法																																											
	(箇所数)	(箇所数)																																											
	(箇所数)	(箇所数)																																											
	(箇所数)	(箇所数)																																											
	(箇所数)	(箇所数)																																											
4 アスベスト粉じん濃度測定 (9.1.1)	アスベスト粉じん濃度測定 行う <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定点(各施工箇所ごと)</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">除去作業前</td> <td>除去作業室内</td> <td>1点 2点 3点</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td>調査対象室外部付近</td> <td>1点 2点</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">除去作業中</td> <td>除去作業室内</td> <td>1点 2点 3点</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td>負圧粉じん装置の排出吹き出し口</td> <td>吹出し風速1m/秒以下の位置 各</td> <td>1点 2点 3点</td> </tr> <tr> <td>除去作業室外</td> <td>1点 2点 3点</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">除去作業後</td> <td>除去作業室内</td> <td>1点 2点</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td>除去作業室内</td> <td>1点 2点 3点</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td>調査対象室外部付近</td> <td>1点 2点</td> <td>点</td> </tr> </tbody> </table> 周囲の状況等により上記によりがたい場合は、監督職員と協議する。 行わない 測定機関 (公社) 日本作業環境測定協会による「石綿含有の有無の判定及び石綿の含有率の測定が可能な石綿含有率分析可能機関」とする。 報告書提出部数 3部 部	測定時期	測定場所	測定点(各施工箇所ごと)	備 考	除去作業前	除去作業室内	1点 2点 3点	点	調査対象室外部付近	1点 2点	点	除去作業中	除去作業室内	1点 2点 3点	点	負圧粉じん装置の排出吹き出し口	吹出し風速1m/秒以下の位置 各	1点 2点 3点	除去作業室外	1点 2点 3点	点	除去作業後	除去作業室内	1点 2点	点	除去作業室内	1点 2点 3点	点	調査対象室外部付近	1点 2点	点	8 アスベスト含有吹付け材の除去 (9.1.3)	施工業者 工事に相応した技術を有することを証明する資料をあらかじめ提出する。 「吹付アスベスト粉じん飛散防止処理技術」について(一財)日本建築センターの建設技術審査証明事業による建築物等の施工技術及び保全技術の審査証明を取得した工法の施工業者等。 除去を行う範囲 図示による (仕上げ表による 床・壁・天井毎に種別を確認) 全ての室 除去工法 改修標仕9.1.3(b)(1)による 除去を行うアスベスト含有吹付け材の仕様 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>種 類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>吹付け石綿</td> <td></td> </tr> <tr> <td>石綿含有吹付けロックウール</td> <td></td> </tr> <tr> <td>石綿含有吹付けひる石</td> <td></td> </tr> <tr> <td>石綿含有吹付けパーライト</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 除去したアスベスト含有吹付け材等の飛散防止 密封処理(二重袋梱包) 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機、除じん機フィルタ等についても密封処理とする。 湿潤化 セメント固化 溶融固化 除去物等の保管 他の建設副産物等と分別して保管する。 飛散防止措置を講ずる。 アスベスト等の保管場所であることの表示を行う。 除去物等の処分 廃棄物及び清掃に関する法律(昭和45年法律137号)の規定を遵守して行う。 特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場における埋立処分 都道府県知事等から設置許可を受けた溶融施設における溶融または環境大臣の認定を受けた無害化処理施設における無害化処理 指定処分地((株)京都環境保全公社 瑞穂環境保全センター 京都府船井郡京丹波町猪鼻冠石2-1 TEL 0774-88-0431) なお処分に関しては会社の受け入れ基準等を確認する。	種 類	種 類	吹付け石綿		石綿含有吹付けロックウール		石綿含有吹付けひる石		石綿含有吹付けパーライト		除去物の処理方法 密封処理(二重袋梱包) 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機、除じん機フィルタ等についても密封処理とする。 セメント固化 溶融固化 除去物等の処分 他の建設副産物等と分別して保管する。 飛散防止措置を講ずる。 アスベスト等の保管場所であることの表示を行う。 除去物等の処分 廃棄物及び清掃に関する法律(昭和45年法律137号)の規定を遵守して行う。 特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場における埋立処分 都道府県知事等から設置許可を受けた溶融施設における溶融または環境大臣の認定を受けた無害化処理施設における無害化処理 指定処分地((株)京都環境保全公社 瑞穂環境保全センター 京都府船井郡京丹波町猪鼻冠石2-1 TEL 0774-88-0431) なお処分に関しては会社の受け入れ基準等を確認する。
測定時期	測定場所	測定点(各施工箇所ごと)	備 考																																										
除去作業前	除去作業室内	1点 2点 3点	点																																										
	調査対象室外部付近	1点 2点	点																																										
除去作業中	除去作業室内	1点 2点 3点	点																																										
	負圧粉じん装置の排出吹き出し口	吹出し風速1m/秒以下の位置 各	1点 2点 3点																																										
	除去作業室外	1点 2点 3点	点																																										
除去作業後	除去作業室内	1点 2点	点																																										
	除去作業室内	1点 2点 3点	点																																										
	調査対象室外部付近	1点 2点	点																																										
種 類	種 類																																												
吹付け石綿																																													
石綿含有吹付けロックウール																																													
石綿含有吹付けひる石																																													
石綿含有吹付けパーライト																																													







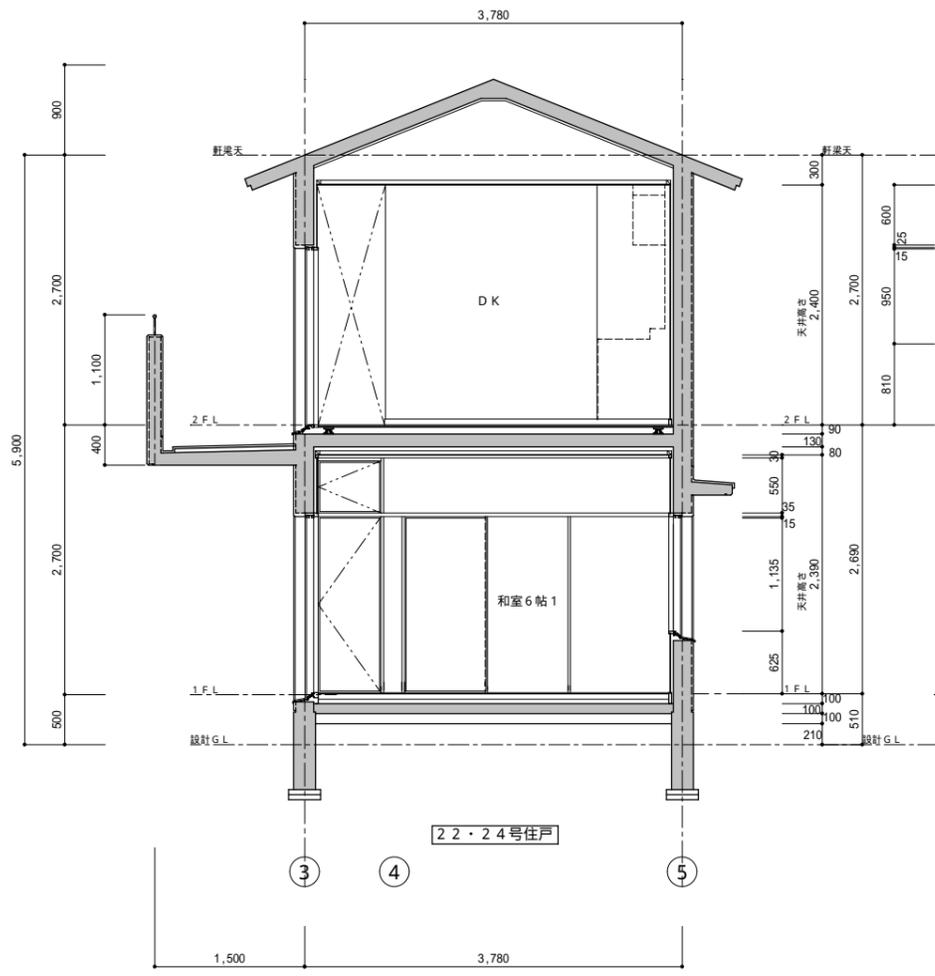
1階平面詳細図(現況)



2階平面詳細図(現況)

撤去工事範囲を示す





断面詳細図1 (現況)

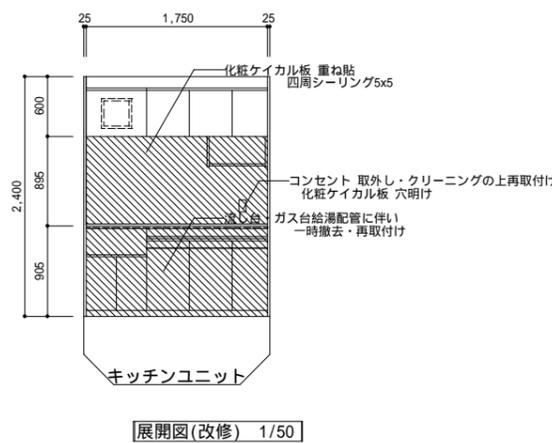
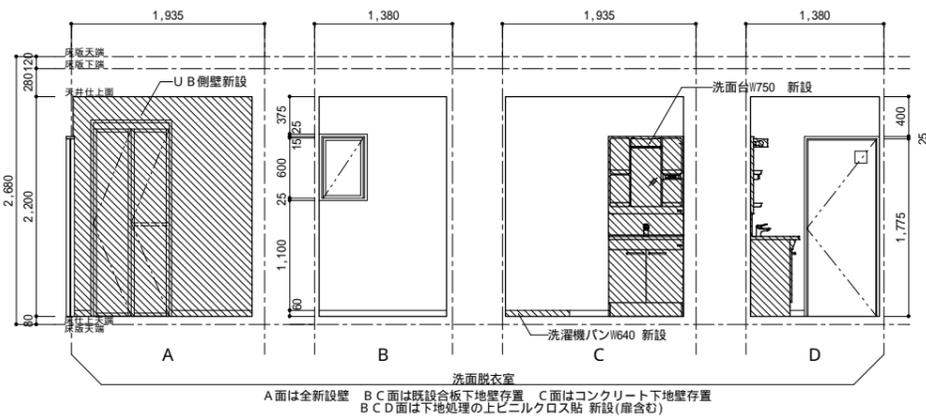
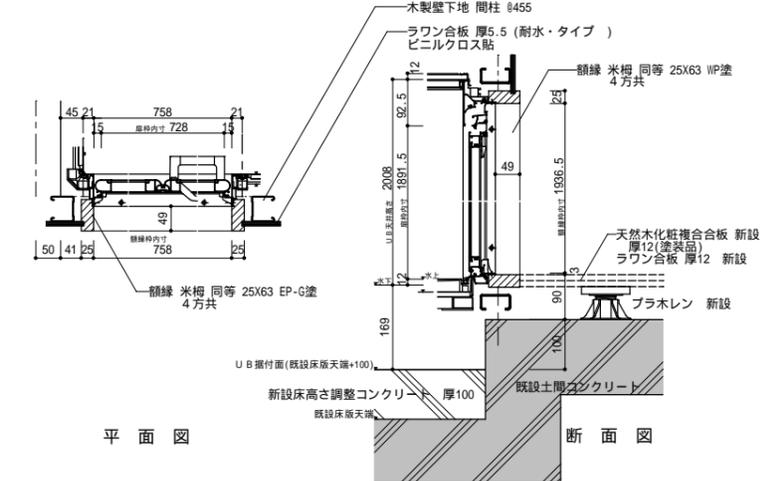
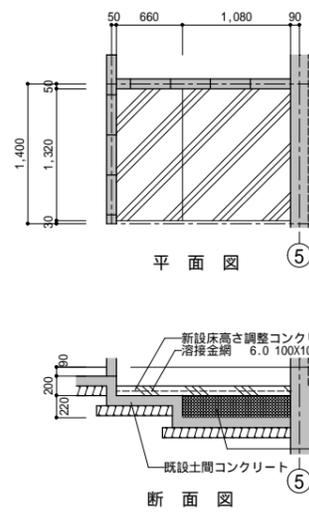
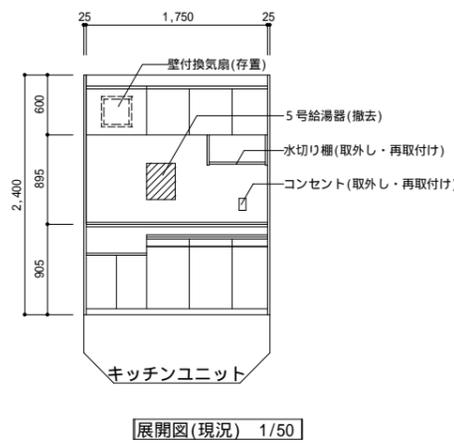
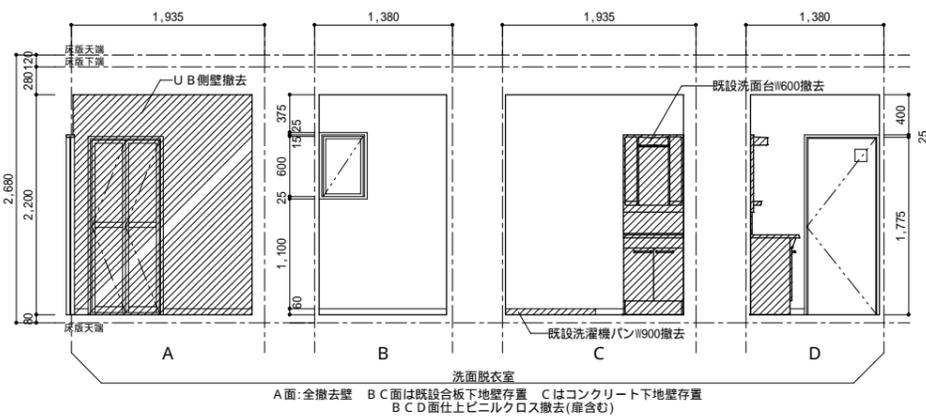


断面詳細図2 (現況)

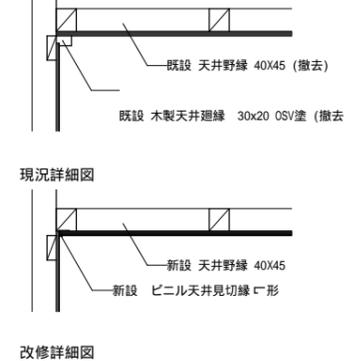
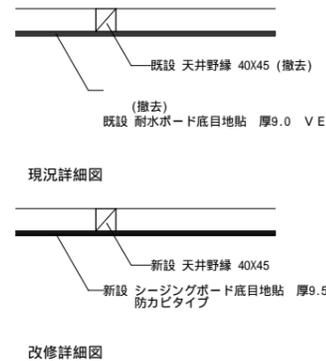
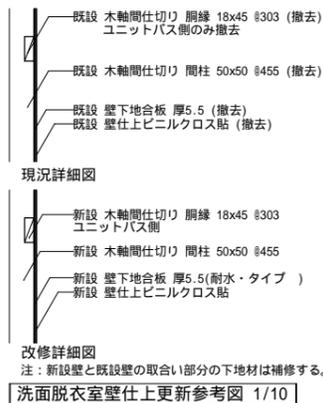
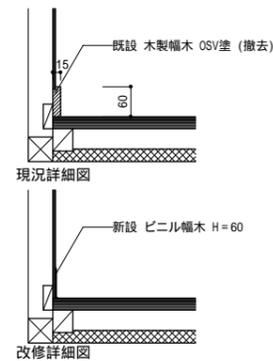
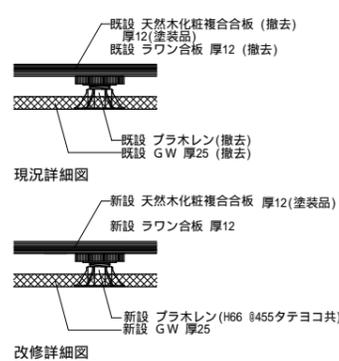
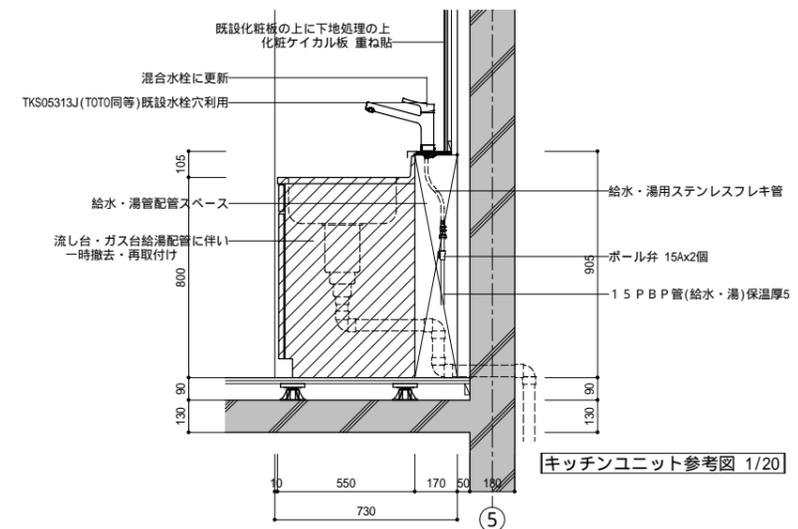
撤去工事範囲を示す

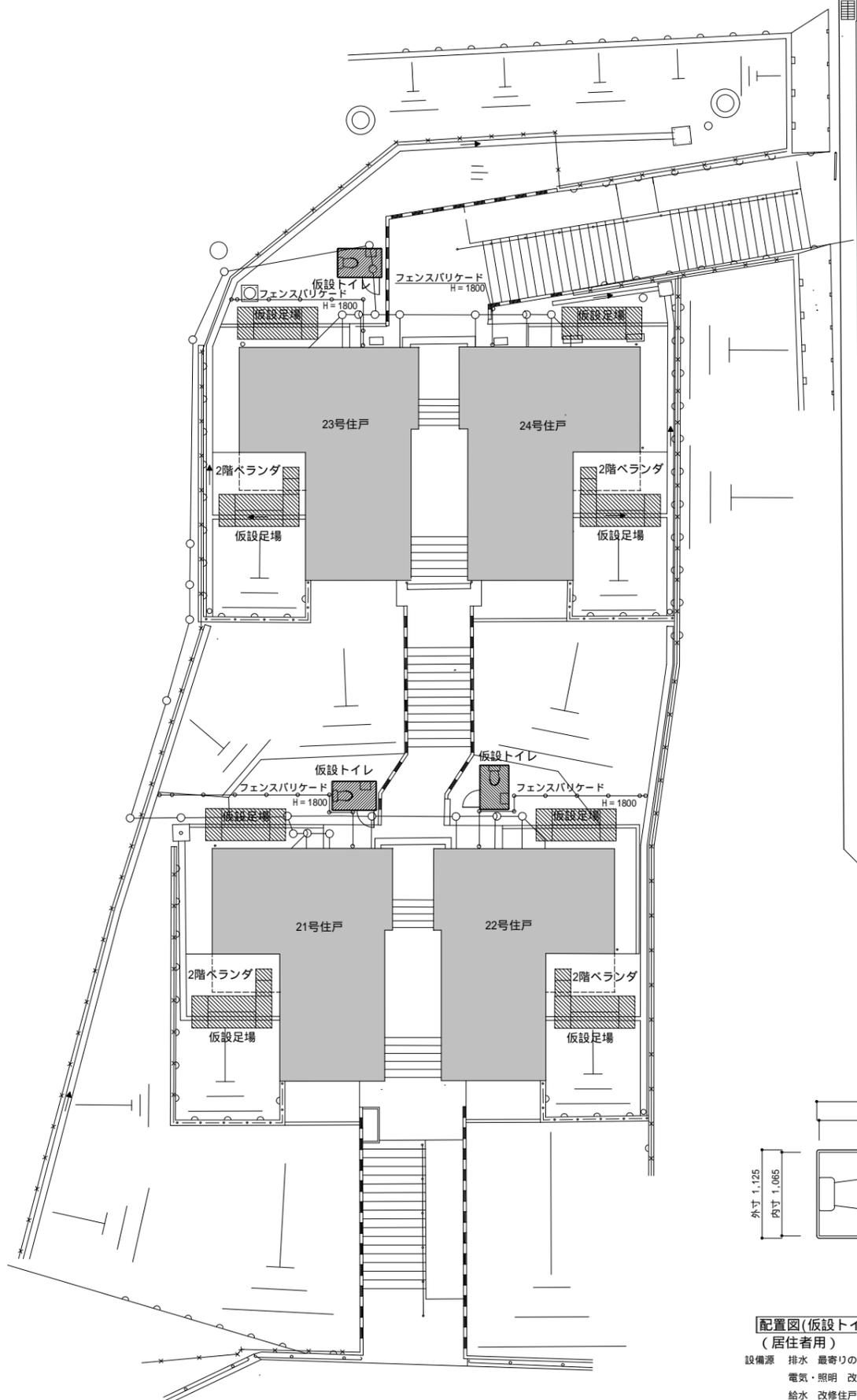


室名		床		幅木		壁		天井		天井廻り縁		天井高	備考
DK	現況	天然木化粧複合板 厚12(塗装品) 下地ラワン合板 厚12 プラホレン	現況 現況	木製(白ラワン) H=60 SOP塗り	現況	コンクリート打放し下地 ラワン合板 厚5.5下地	現況 現況	木製天井野縁下地 化粧石膏ボード 厚9.0 面取突付貼	現況 現況	木製天井廻り縁	現況	2400	キッチンユニット一時取外し・再取付(流し台・ガス台・バックガード) キッチンユニット壁付湯沸器(先止め)撤去
	改修	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	キッチンユニット壁 化粧ケイカル板 厚6.0 化粧接着貼(1750x895)
洗面・脱衣室	現況	天然木化粧複合板 厚12(塗装品) 下地ラワン合板 厚12 プラホレン 断熱GW 厚25	撤去 撤去	木製(白ラワン) H=60 SOP塗り	撤去	コンクリート打放し下地 ラワン合板 厚5.5下地	撤去 撤去	木製天井野縁下地 耐水ボード厚9.0貼 VE塗 (アスベスト含有)	撤去 撤去	木製天井廻り縁	撤去	2300	洗面化粧台・洗濯機バン撤去 天井耐水ボード葉、湿潤化の上 手ばらしとする
	改修	天然木化粧複合板 厚12(塗装品) 下地ラワン合板 厚12 プラホレン グラスウール保温板 厚25	新設 新設	ビニル巾木 H=60	新設	コンクリート打放し下地調整 ラワン合板 厚5.5下地調整 新設UB側壁: 木製壁軸組下地、耐水合板厚9下地調整の上	貼替え 貼替え	木製天井野縁下地 化粧シーリングボード厚9.5貼	新設 新設	ビニル廻り縁	新設	—	洗面化粧台・洗濯機バン新設 床下点検口 450x450 新設 天井点検口 450x450 新設 手摺(インテリア・パー1型 32 L=600 軟質樹脂被覆) 新設改修壁に取付け
ユニットバス	現況	FRP成形板 浴槽 FRPバス	撤去 撤去	—	—	化粧ケイカル板 厚5.0 (アスベール板)	撤去	—	—	—	—	2200	1216型ユニットバス全撤去 セキスイ BSN-1216U-BL
	改修	FRP カラリ床(単色) ゆるり浴槽 FRPバス(ステップなし) 追焚用 50開口 ゴム栓 断熱防水バン付	新設 新設	—	—	HQパネル	新設	化粧鋼板複合パネル(抗菌防カビ仕様・モール式) 石膏ボード2枚貼り 点検口 450(絞り点検口・落下防止用紐付)	新設 新設	—	—	2008	1216型ユニットバス新設 TOTO RJV1216US 同等



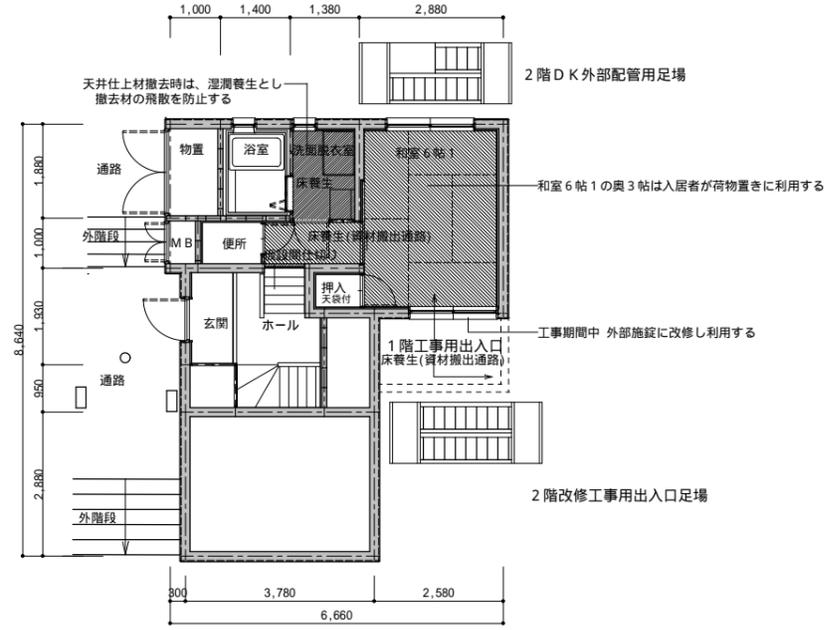
注:既設排水管の位置に注意(再利用する・周辺切り平面図参照)



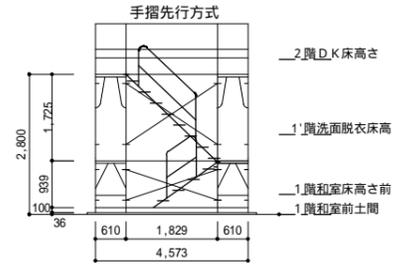


配置図(仮設トイレ設置計画参考図)
(居住者用)

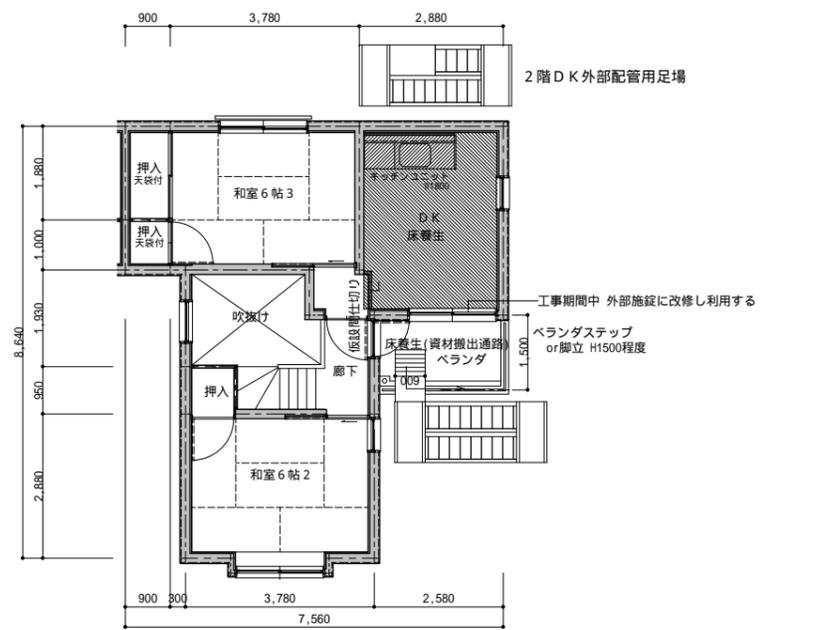
設備源 排水 最寄りの排水側に接続
 電気・照明 改修住戸の外部コンセントに接続
 給水 改修住戸の外部給水に接続
 23号室と24号室の改修時は同じ位置に設置し
 給排水管と電気・照明については各住戸より接続すること。
 各居住者以外の者が使用できないように施設等の措置を講ずること。
 その他必要に応じて監督職員と協議する。



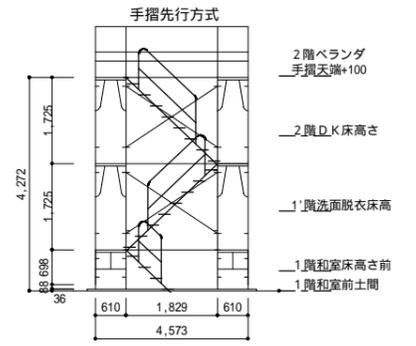
1階仮設計画参考図



2階D K外部配管用足場
 :資材搬出入用の通路については、監督職員と協議の上、仮設計画を策定する。
 通路等に通行の支障となる物がある場合は、一時撤去の上
 工事完了後復旧、又は別途専用通路を構築する。



2階仮設計画参考図



2階改修工事用出入口足場
 :資材搬出入用の通路については、監督職員と協議の上、仮設計画を策定する。
 通路等に通行の支障となる物がある場合は、一時撤去の上、
 工事完了後復旧、又は別途専用通路を構築する。

:作業足場は、当該住戸2階工事期間に設置し、工事関係者が利用する
 :仮設トイレは、各住戸の工事期間に設置し、当該住戸の住民が使用する
 :床養生は、当該工事期間に設置し、現況室内及び物品に損傷等なきよう留意する
 :仮設間仕切りは、各住戸工事期間に設置し、工事対象室外への防塵と安全を確保する
 :仮設間仕切りは、P B t=12.5片面貼仕とし、床から天井迄(CH2400)とする



機械設備工事特記仕様書 1

【工事概要】
1 工事場所 宇治市宇治東山60番地の1
2 建物概要
建物名 構造 階数 延床面積(m²) 消防法令別表第一 耐震安全性の分類 備考
3 工事科目
工事科目
空調設備
換気設備
排煙設備
自動制御設備
衛生器具設備
給水設備
排水設備
給湯設備
消火設備
ガス設備
さく井設備
厨房機器設備
浄化槽設備
医療ガス設備
撤去工事

- 【特記事項】
1 一般事項
1) 特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)令和4年版」(以下、「標準仕様書」という。)、 「公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)令和4年版(以下「標準図」という。))及び「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)令和4年版」(以下、「改修標準仕様書」という。)による。
2) 工事種目に電気設備工事及び建築工事を含む場合、その仕様は当該図面及び各工事の標準仕様書による。
2 特記事項
項目及び特記事項は、 印をついたものを本工事に適用する。ただし、 印のない場合は、 印を適用する。

Table with 4 columns: 章, 項目, 特記事項, 事項. Contains detailed specifications for equipment materials, quality assurance, and construction procedures.

Table with 4 columns: 章, 項目, 特記事項, 事項. Contains detailed specifications for construction methods, equipment installation, and safety measures.

Table with 4 columns: 章, 項目, 特記事項, 事項. Contains detailed specifications for building systems, piping, and energy efficiency measures.



章	項目	特記事項
空	鋼板製煙道 (ボイラー)	厚さ 3.2mm 4.5mm ばい煙濃度計の取付座 ばいじん量測定口 伸縮継手 掃除口
	ばい煙濃度計 (ボイラー)	送風機付き 送風機なし (電源は熱源機器付属制御盤より取出し、配管配線共本工事に含む) 固定形 個 着脱可能形 (測定用タッピング 個 本体 個)
調	瞬間流量計	1) 冷媒管の保温外装は下記による。 ・屋内 隠べい部 不要 必要 露出部 保温化粧ケース (塩化ビニル樹脂製)
	保温 (図面特記部分は除く)	・屋外 ステンレス鋼板 保温化粧ケース (樹脂製 アルミ合金製 ステンレス鋼板製 溶融亜鉛めっき鋼板製) ・保温化粧ケースの下部カバー 必要 不要 2) ファンコイルユニット等のドレン管の保温は、給排水設備工事の排水管による。 3) 加温用給水水槽の保温は膨張タンクに準ずる。 4) トラフ内の油管はプラスチックテープ1/2重ね1回巻きとする。
備	ダクトの工法	アングルフランジ工法 コーナーボルト工法 (共板フランジ工法 スライドオンフランジ工法) スパイラルダクト 換気用塩ビ管 (VP) 塩ビフレキシブルダクト
	ダクトの分岐方法	給気ダクト 割込み方式 直付け方式 排気ダクト 割込み方式 直付け方式
設	厨房排気ダクトの板厚	厨房排気ダクトは亜鉛鉄板とし、板厚は下記による。
	排気フード	1) 排気フードの補強・支持金物・接合剤等は、亜鉛鉄板製ダクトの当該事項によるものとし、材質は下記による。 ステンレス鋼板 (補強共) 2) 排気フード廻りに取付ける扉板は、上記フードと同材質とする。 本工事 別途工事 3) グリスフィルターの予備 不要 必要
備	保 温	浴室・厨房 (多湿箇所) の外気取入ダクトの保温 不要 必要 外気取入ダクトの保温 (空調を行っている室について) 不要 必要 全熱交換器までの外気取入ダクトの保温 (空調を行っている室について) 不要 必要 全熱交換器以降の外気取入ダクトの保温 (空調を行っている室について) 不要 必要 保温を行う場合は仕様書第2編第3章第1節による。
	排煙対象部分	廊下 事務室 図示 最大面積 m ²
備	ダクトの種類	高圧1ダクト 高圧2ダクト
	ダクトの工法	アングルフランジ工法
設	ダクトの材料	亜鉛鉄板製 鋼板製 (1.5mm以上)
	排煙口	1) 形 状 スリットフェース形 パネル形 ダンパー形 2) 排煙口の開放 手動 (機械式 電気式) 煙感知器連動 3) 復帰装置 手元復帰式 (手動式 電気式) 遠方復帰式 4) ダンパー本体及び操作箱との液り配線は本工事とし、それ以降の制御配管配線は別途工事とする。
備	保 温	床下及び暗渠内の保温 不要 必要 (図示) 図面による。
	小便器用節水装置	電気供給方式 A C電源 乾電池 自己発電 自動水栓 電気供給方式 A C電源 乾電池 自己発電 手動スイッチ 無し 有り
設	大便器用洗浄弁	操作方式 手動式 電気開閉式 (センサー式 タッチスイッチ式)
	水石けん入れ	手洗器一体型 手洗器分離型
備	車椅子使用者用器具	1) 大便器洗浄弁 センサー式 タッチスイッチ式 レバー式 2) 洗面器の水栓は自動水栓とする。
	給水方式	水道直結方式 高置タンク方式 ○水道直結増圧方式 (水道用直結加圧形ポンプユニット) ポンプ直送方式 (小型給水ポンプユニット)
設	配管材料 (図面特記部分は除く)	屋内配管 一般配管用ステンレス鋼管 (S U S 3 0 4) (呼び径60Su以下は拡管式、呼び径75Su以上は溶接接合) 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (H I V P) ポリエチレン粉体ライニング鋼管 (S G P - P A , S G P - F P A) 硬質塩化ビニルライニング鋼管 (S G P - V A , S G P - F V A) 保温材付ポリブデン管 (屋内隠蔽) (P B P)
	地中配管 [屋内]	一般配管用ステンレス鋼管 (S U S 3 1 6) (呼び径60Su以下は拡管式、呼び径75Su以上は溶接接合) 水道用ポリエチレン二層管 (5 0 A 以下) (1 種 2 種) (接合方法 メカニカル 電気融着) 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (H I V P) ポリエチレン粉体ライニング鋼管 (S G P - P D , S G P - F P D) 硬質塩化ビニルライニング鋼管 (S G P - V D , S G P - F V D)
備	地中配管 [屋外]	一般配管用ステンレス鋼管 (S U S 3 1 6) (呼び径60Su以下は拡管式、呼び径75Su以上は溶接接合) 水道用ポリエチレン二層管 (5 0 A 以下) (1 種 2 種) (接合方法 メカニカル 電気融着) 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (H I V P) ポリエチレン粉体ライニング鋼管 (S G P - P D , S G P - F P D) 硬質塩化ビニルライニング鋼管 (S G P - V D , S G P - F V D)
	緊急遮断弁装置	必要 不要 駆動方式 電気式 機械式
備	量水器	現地表示式 (直読式) 遠隔表示式 (バルス式)

章	項目	特記事項
給	水栓柱	合成樹脂製 (7 0 x 7 0 x 1 3 0 0 H) アルミニウム合金製 () ステンレス製 () 不凍水栓柱 () 特記なき場合、水栓取付け高さは約600とする。
	管の埋設深さ	1) 一般敷地 300mm 2) 構内車両通路 600mm 3) 寒冷地では凍結深度以上とする。
設	埋戻し及び盛土	良質土 再生コンクリート砂 山砂
	加入金・負担金	不要 必要 (別途 本工事)
備	本管引込工事	本工事 (舗装本復旧まで 舗装復旧まで) 別途工事
	排水方式	汚水と雑排水 [屋内] 分流式 合流式 汚水・雑排水と雨水 [屋外] 分流式 合流式 ポンプアップ排水 有り (雑排水 汚水 雨水 湧水 浄化槽2次側) 無し
排	放流式	汚水 直放流下水管 浄化槽 雑排水 直放流下水管 浄化槽 別途樹・側溝 雨水ポンプアップ排水 直放流下水管 雨水側溝 雨水樹 湧水ポンプアップ排水 直放流下水管 雨水側溝 雨水樹
	配管材料 (図面特記部分は除く)	屋内雑排水管 水道用亜鉛めっき鋼管 配管用炭素鋼管 (白) (ねじ接合 M Dジョイント) 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 硬質ポリ塩化ビニル管 (V P) リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 (R F - V P) 排水・通気用耐火二層管 (V P)
水	屋内汚水管	排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 硬質ポリ塩化ビニル管 (V P) リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 (R F - V P) 排水・通気用耐火二層管 (V P)
	通気管	配管用炭素鋼管 (白) (ねじ接合 M Dジョイント) 硬質ポリ塩化ビニル管 (V P) リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 (R F - V P) 排水・通気用耐火二層管 (V P)
設	地中配管 [屋内]	硬質ポリ塩化ビニル管 (V P) リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管 (R S - V U)
	地中配管 [屋外]	硬質ポリ塩化ビニル管 (V P V U) リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管 (R S - V U)
備	鋼管類のポンプアップ排水用の配管は、硬質塩化ビニルライニング鋼管 (S G P - V A , S G P - F V A) (地中配管は S G P - V D , S G P - F V D) とし、継手はフランジ接合とする。	
	負担金	不要 必要 (別途 本工事)
給	本管接続工事	本工事 (舗装本復旧まで 舗装復旧まで) 別途工事
	給湯方式	中央式 局部式
備	配管材料	水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 (S G P - H V A) 一般配管用ステンレス鋼管 (屋外隠蔽・屋外露出) 鋼管 (壁又は床埋設をする場合は、保温付被覆鋼管を使用してもよい。) 保温材付ポリブデン管 (屋内隠蔽) (P B P) 保温材付ポリブデン管 (屋外隠蔽・露出) (P B P)
	保 温	ガス湯沸器の排気筒の隠蔽面所の保温は、標準仕様書第2編3.1.5の表2.3.5による。
消	消火設備の種類	屋内消火栓 スプリンクラー 泡消火 不活性ガス消火 () 連結送水管
	配管材料 (図面特記部分は除く)	屋内配管 配管用炭素鋼管 (白) 圧力配管用炭素鋼管 (白 S c h 4 0) 一般配管用ステンレス鋼管 地中配管 [屋内] [屋外] 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 (S G P - V S) 消火用ポリエチレン管 (P E)
設	保 温	消火用充水タンクの保温を 施工する (膨張タンクによる) 施工しない 消火用呼吸水タンクの保温を 施工しない 施工する (膨張タンクによる) 屋外露出管の保温を 施工しない 施工する (給水管の保温仕様準ずる) 屋内露出管の保温を 施工しない 施工する (給水管の保温仕様準ずる) トレンチ内の保温を 施工しない 施工する (給水管の保温仕様準ずる)
	ガスの種類	都市ガス (発熱量 4 5 , 0 0 0 k J / N m 3 k J / N m 3) 液化石油ガス (5 0 k g 本立 2 0 k g 2 本立 (現用))
ガ	ガスメーター	親メーター 貸与品 購入 子メーター 購入 貸与品 計量方式 (差測式 バルス式)
	配管材料 (図面特記部分は除く)	屋内配管・屋外露出配管 配管用炭素鋼管 (白) 注: 屋外配管は指定色塗装とする。 地中配管 [屋内] [屋外] ポリエチレン被覆鋼管 ガス用ポリエチレン管
備	地中配管の接合方法	都市ガスの場合は、供給者仕様による。 S G M工法 ネジ工法 P E 管工法
	ビット内施工法	溶接工法
設	負担金	不要 必要 (別途 本工事)
	本管接続工事	本工事 (舗装本復旧まで 舗装復旧まで) 別途工事
設	排水弁設備	掘削工法 バーカッション式 ローター式 ダウンザホールハンマ式 回転振動式 掘削工法 掘削機による
	掘削工法	掘削機による
備	孔口保護管	深度 () m
	ケーシング材質	配管用炭素鋼管 (黒) 配管用ステンレス鋼管
設	地中熱交換弁設備	掘削工法 回転振動式 ローター式 ダウンザホールハンマ式 掘削工法 ローターバーカッション式
	掘削工法	掘削機による。

章	項目	特記事項
浄化槽設備	形式	ユニット形 現場施工形
	処理方法	小規模合併処理 (図面による) 合併処理 (図面による)
設備ガス		図面による。

章	項目	特記事項
その他	被覆工事	給水管 屋内隠蔽 H I V P 管 ポリスチレン保温筒+ガラスクロス 厚30mm 給水管 屋内隠蔽 ポリブデン管 ポリスチレン保温筒 厚5mm 給湯管 屋内隠蔽 ポリブデン管 ポリスチレン保温筒 厚5mm 給湯管 屋外露出 ステンレス管 ロックウール保温筒+ステンレスPL0.5 厚20mm 排水管 屋外露出 カラーV P 管
	コア抜き	鉄筋探査機により探査し鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。 ('グイ' 別穴明け) 参考メーカー 日本無機機 ハンディサーチRCレーダー N J J - 8 5 型同等品 校正記録 試験機器類の校正記録を提出する。 交通誘導員 機器類搬入時、撤去材搬出時、外部掘削時に配置する。 保安器材 カラーコーン、コーンウェイト、コーンバーにて囲いながら掘削する。 鉄板敷き 1. 5 2 4 x 6. 0 9 6 x 厚 2 2 mm
別表 付属品・予備品	工具箱 (ドライバー、モンキーレンチ、組スバナー、ハンマー)	
	マンホールフック バイブレンチ ポンプブライヤー ラバーカップ (大、小) イーゼルキャビネット 箱 キーボックス 盤類予備品 (ランプ及びヒューズの 1 0 0 %)	
試験・検査	水圧試験 排水満水試験 排水通水試験	風量測定 吹出口温度測定
	気密試験 点火試験 機器動作試験 騒音測定 振動測定 絶縁試験 消防設備試験 ○水質検査 水槽水張り試験 アンカー引張試験	



樹番号	名称	樹深さ	
15	小口径樹	150	-688
16	防臭樹	300	-626
17	小口径樹	150	-601
18	小口径樹	300	-753
19	小口径樹	150	-675
20	防臭樹	300	-484
21	小口径樹	150	-446

撤去
撤去
撤去
撤去

樹番号	名称	樹深さ	
90Y 15	小口径樹	150	-688
90Y 16	防臭樹	300	-570
90Y 17	小口径樹	150	-370
90L 17-1	小口径樹	150	-360
90Y 18	小口径樹	150	-570
90Y 19	小口径樹	150	-675
90Y 20	防臭樹	300	-570
90Y 21	小口径樹	150	-370
90L 21-1	小口径樹	150	-360

新設
新設
新設
既設
既設
新設
新設
新設
新設

1-14は既設

樹番号	名称	樹深さ	
32	小口径樹	150	-599
33	防臭樹	300	-534
34	小口径樹	150	-511
35	小口径樹	150	-647
36	防臭樹	300	-632
37	小口径樹	150	-740

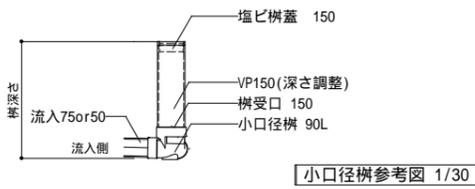
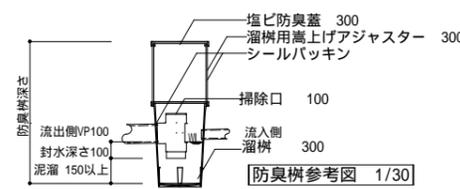
撤去
撤去
撤去
撤去
撤去
撤去

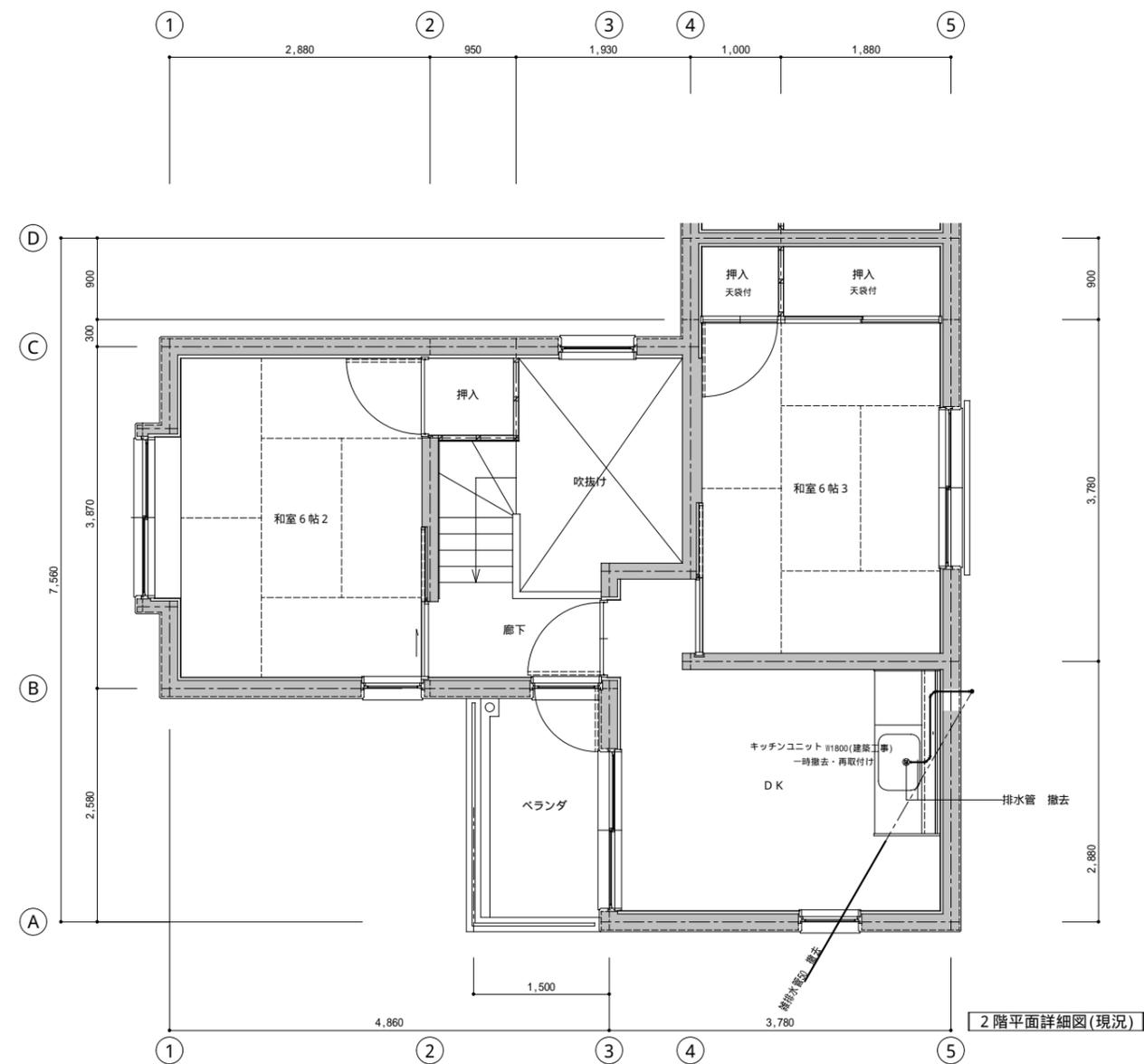
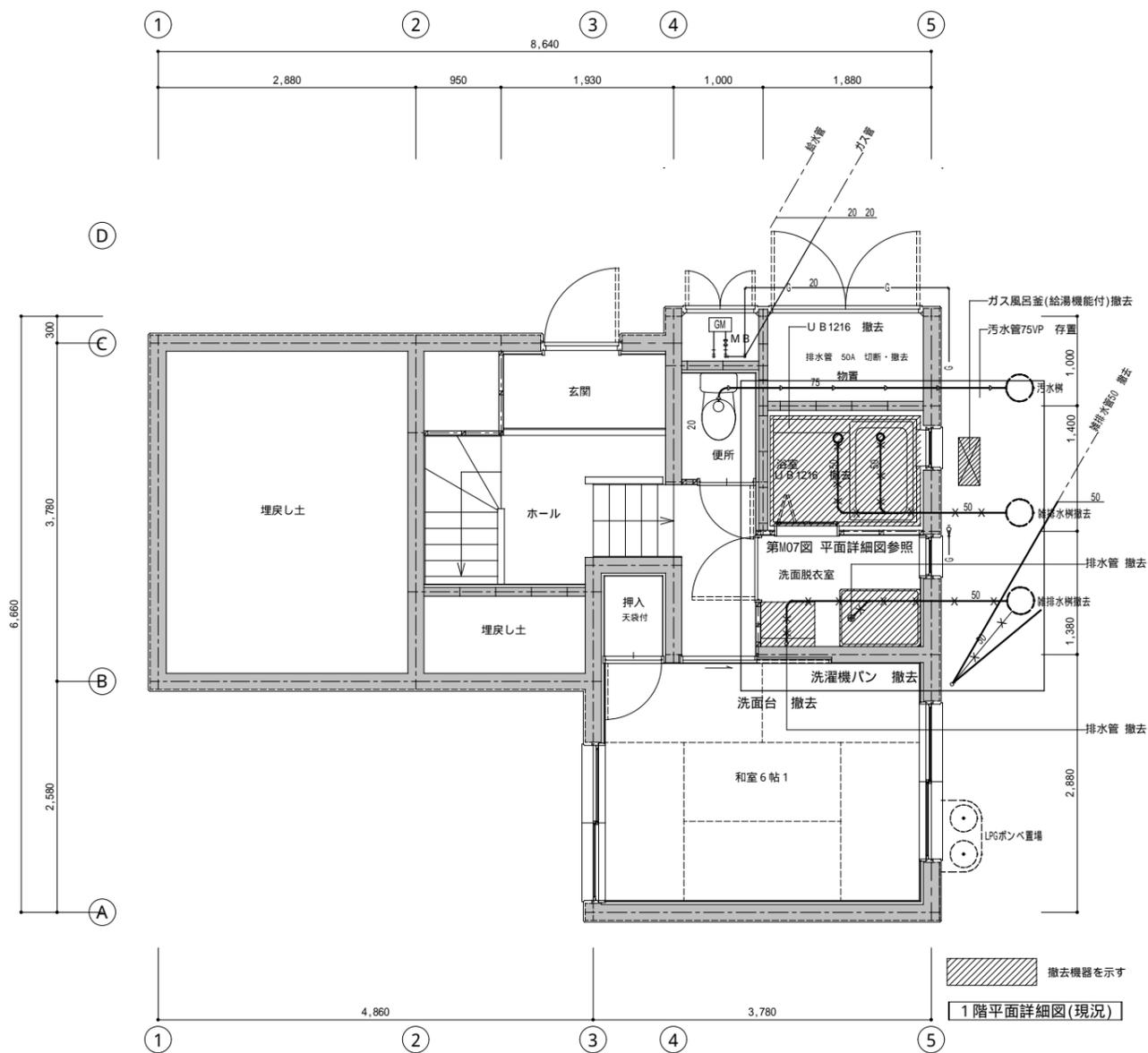
樹番号	名称	樹深さ	
90Y 32	小口径樹	150	-599
90Y 33	防臭樹	300	-570
90Y 34	小口径樹	150	-370
90L 34-1	小口径樹	150	-360
90Y 30	小口径樹	150	-660
90Y 35	防臭樹	300	-580
90Y 36	小口径樹	150	-380
90L 37	小口径樹	150	-360

既設
新設
新設
新設
既設
新設
新設
新設

配置図(現況排水設備)1/150

配置図(改修排水設備)1/150



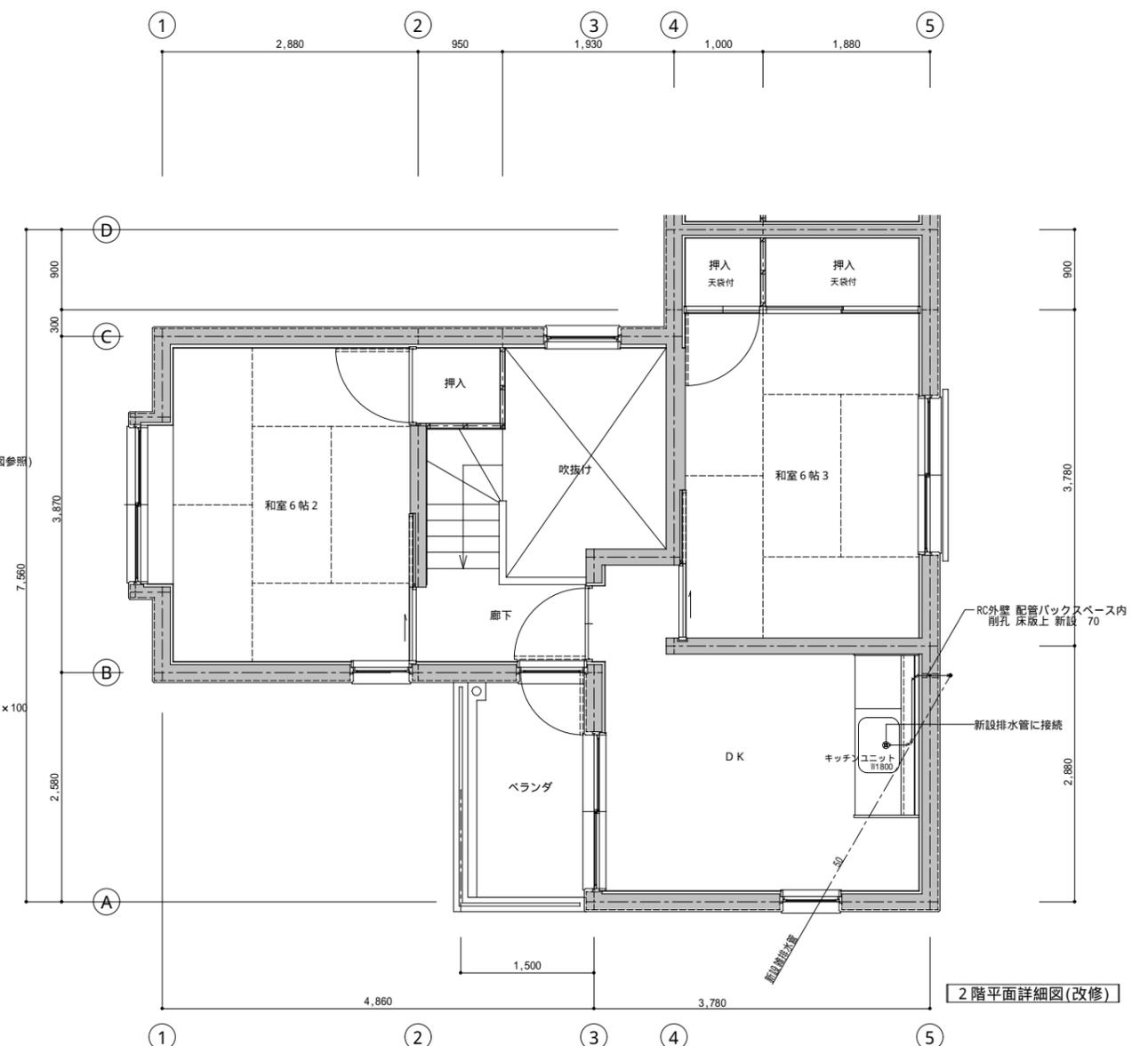
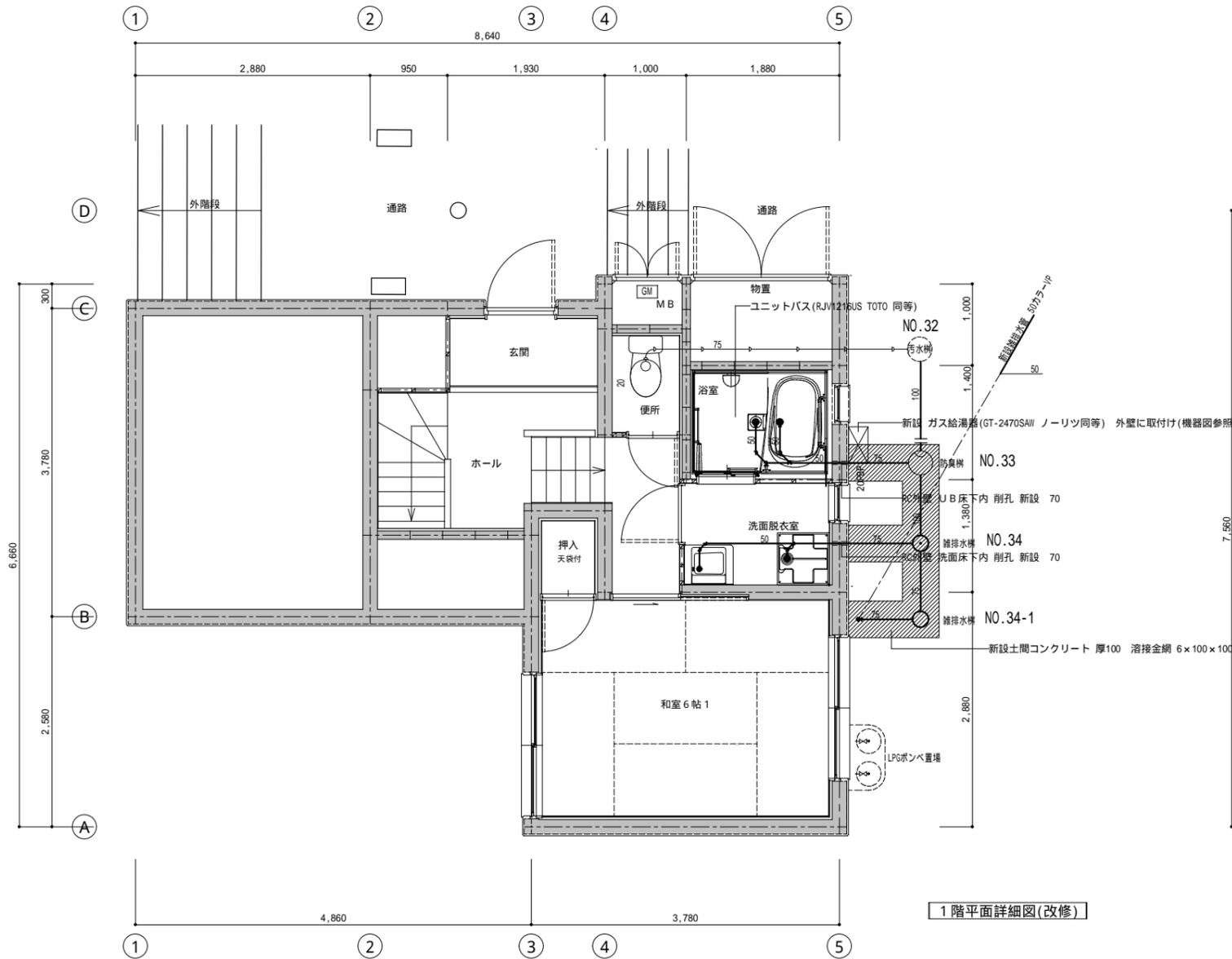


既設機器表(現況)	
ユニットバス 1216	B S N - 1 2 1 6 U (セキスイ)
	化粧ケイカル・折戸・ステンレス手摺
	混合水栓・ハンドシャワー
洗面化粧台	B L K - A - 5 0 0
洗濯機パン	9 0 0 x 6 0 0
天井扇(親子)	V - 1 5 Z F - B L
ユニットキッチン	B L - K U - 1 8 2 3
立形泡沫自在水栓	T 1 3 6 S 1 3
レンジ用換気扇	E - 2 0 K J 2 - B L
ガス給湯器(LPG仕様)	ガス風呂釜・屋外設置型・給湯能力24号
ガス給湯器(LPG仕様)	ガス給湯器・先止め型・給湯能力5号
ガスメーター GM	N - 5号

既設配管表	
---	給水管 H1VP
- -	給湯管 CP(M)
- -	追焚き管 CP(M)
—	雑排水管 VP
→	汚水管 VP
-○-	ガス管 SGP

-||..... : 既設配管の切断・再接続箇所を示す。
-||..... : 既設配管の切断・閉塞箇所を示す。
- x-x-x- : 既設配管の撤去箇所を示す。

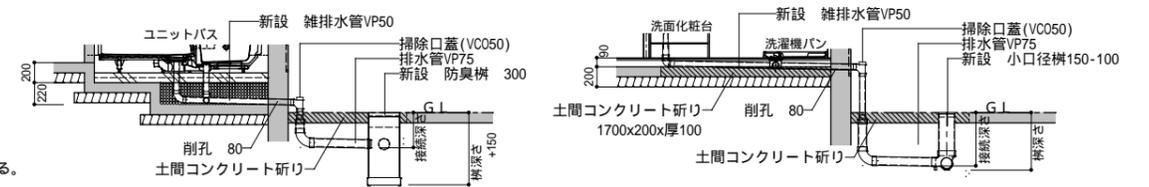




ユニットバス 1216	RJV1216US TOTO製同等
洗面化粧台	LDD0606BAGMK1+LMD0606GG1G TOTO製 同等
洗濯機パン	PWS64H2W TOTO製 同等
天井扇(親子)	VD-15ZFC14-BL 三菱電機製 同等
ユニットキッチン	B-L-K-U-1 8 2 3 (流し台・ガス台、取外し再取付け)
台付シングル混合水栓	T K S 0 5 3 1 3 J TOTO製 同等
レンジ用換気扇	E-2 0 K J 2-B L 存置・再利用
ガス給湯器(LPG仕様)	GT-2470SAHBL ノーリツ製 同等
配管カバー	H88-K450-II
浴室リモコン	RC-J101SE ノーリツ製 同等
台所リモコン	RC-J101ME ノーリツ製 同等

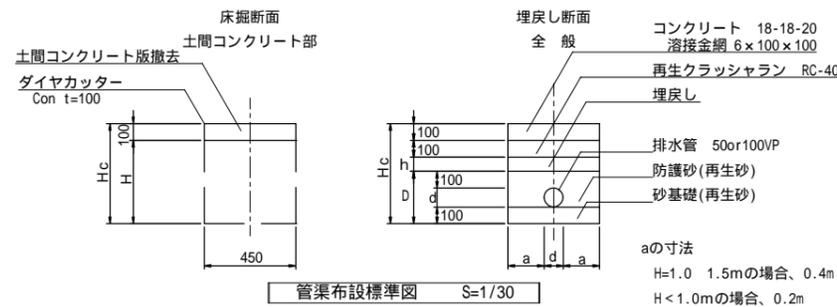
既設配管表	新設配管表
給水管 H1VP	給水管 PBP
給湯管 CP(M)	給湯管 PBP
追焚き管 CP(M)	追焚き管 PBP
雑排水管 VP	雑排水管 VP
汚水管 VP	汚水管 VP
ガス管 SGP	ガス管 SGP

.....||..... : 既設配管の切断・再接続箇所を示す。
||..... : 既設配管の切断・閉塞箇所を示す。
 x x x x : 既設配管の撤去箇所を示す。
 一般の給水管・給湯管は、床転ばし配管とする。
 UB内の給水管・給湯管・追い焚管は床転ばし配管としPBPにて施工する。
 排水管は、必要に応じて(配管勾配)一部土間コンクリートを研り転がし配管する。



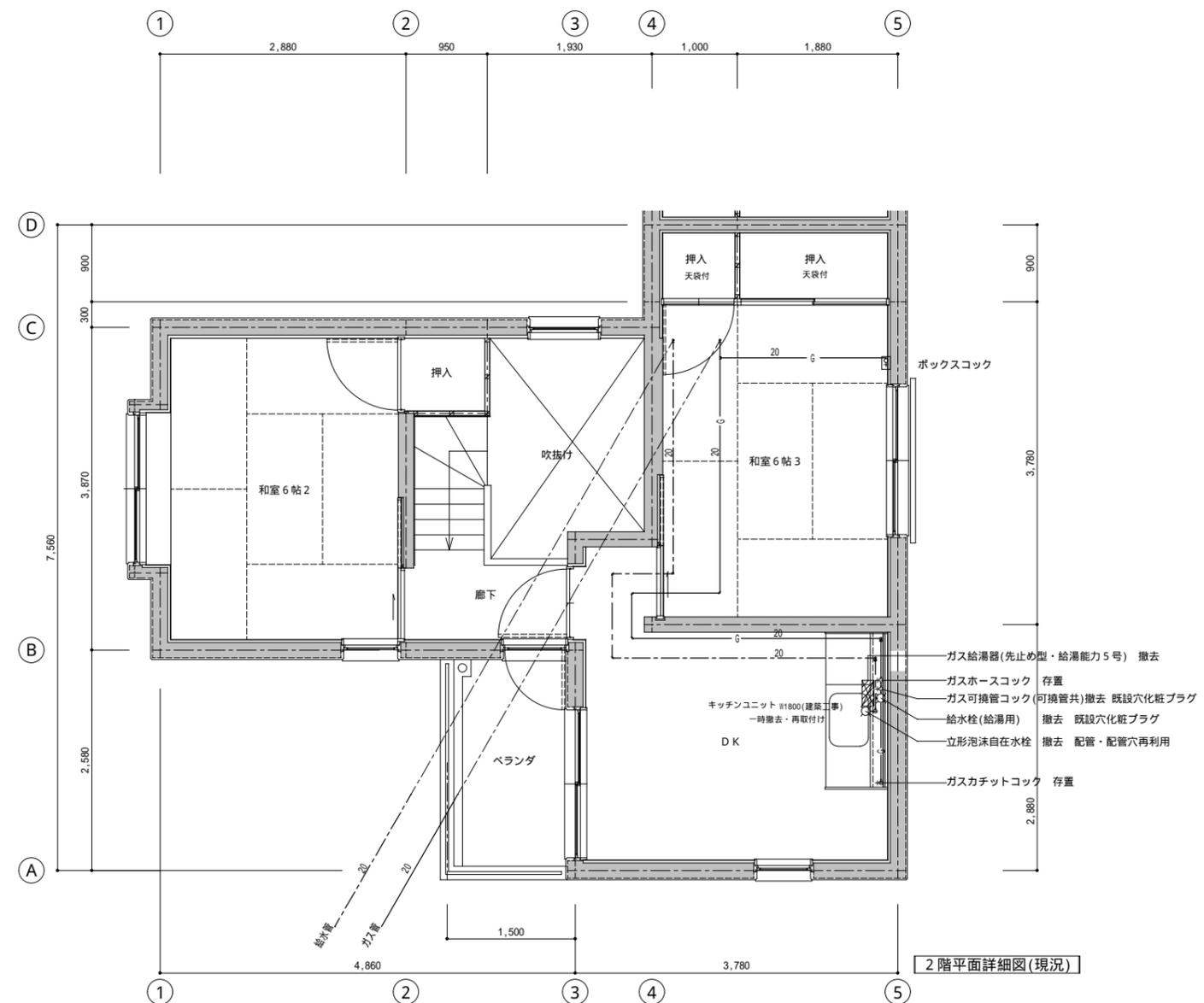
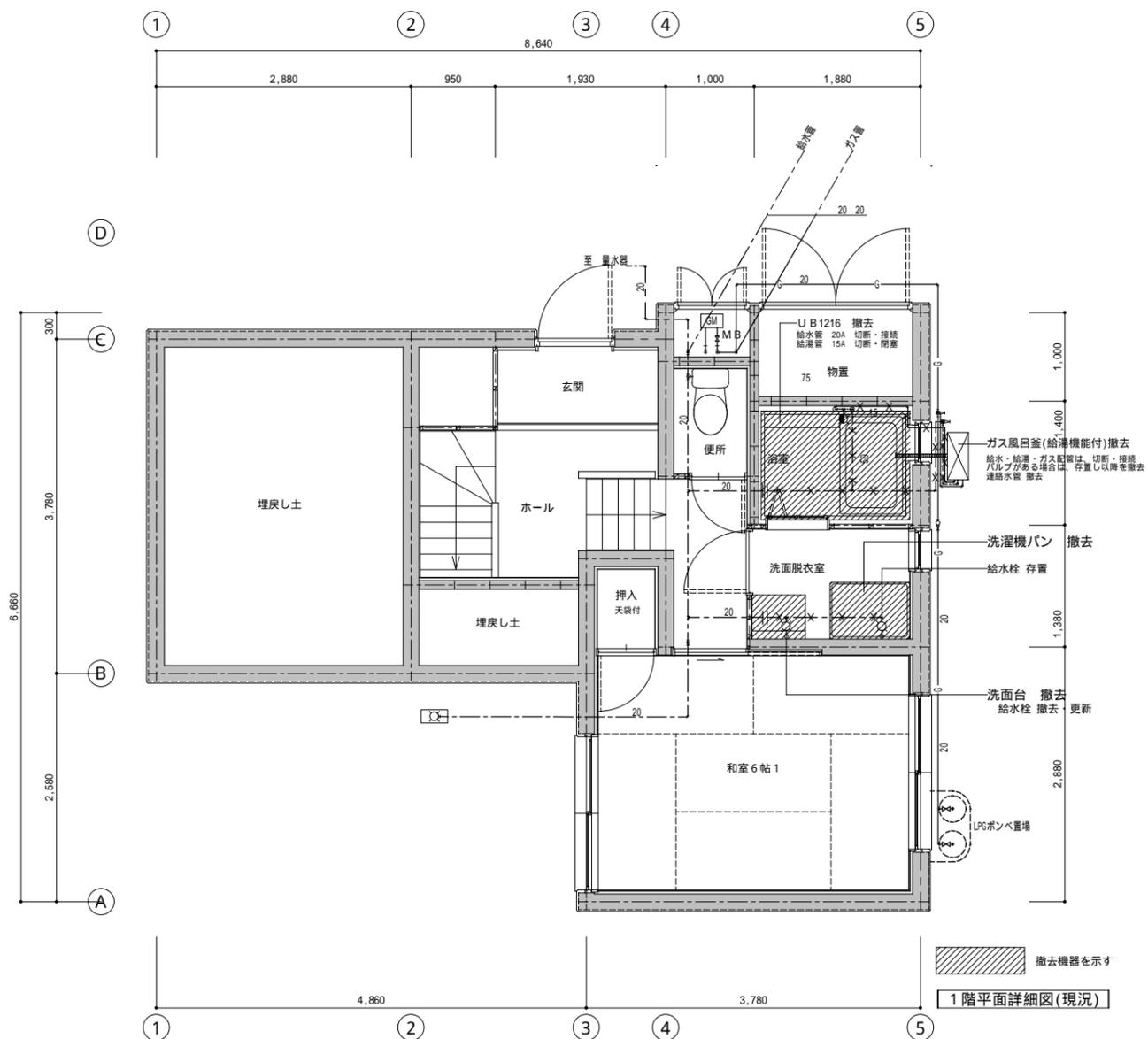
住戸番	接続深さ	掘深さ
21号	0.62	0.63
22号	0.52	0.53
23号	0.62	0.63
24号	0.45	0.48

住戸番	接続深さ	掘深さ
21号	0.69	0.74
22号	0.47	0.51
23号	0.55	0.60
24号	0.42	0.45



管径(d)	D
50	250
75	275
100	300
125	325
150	350



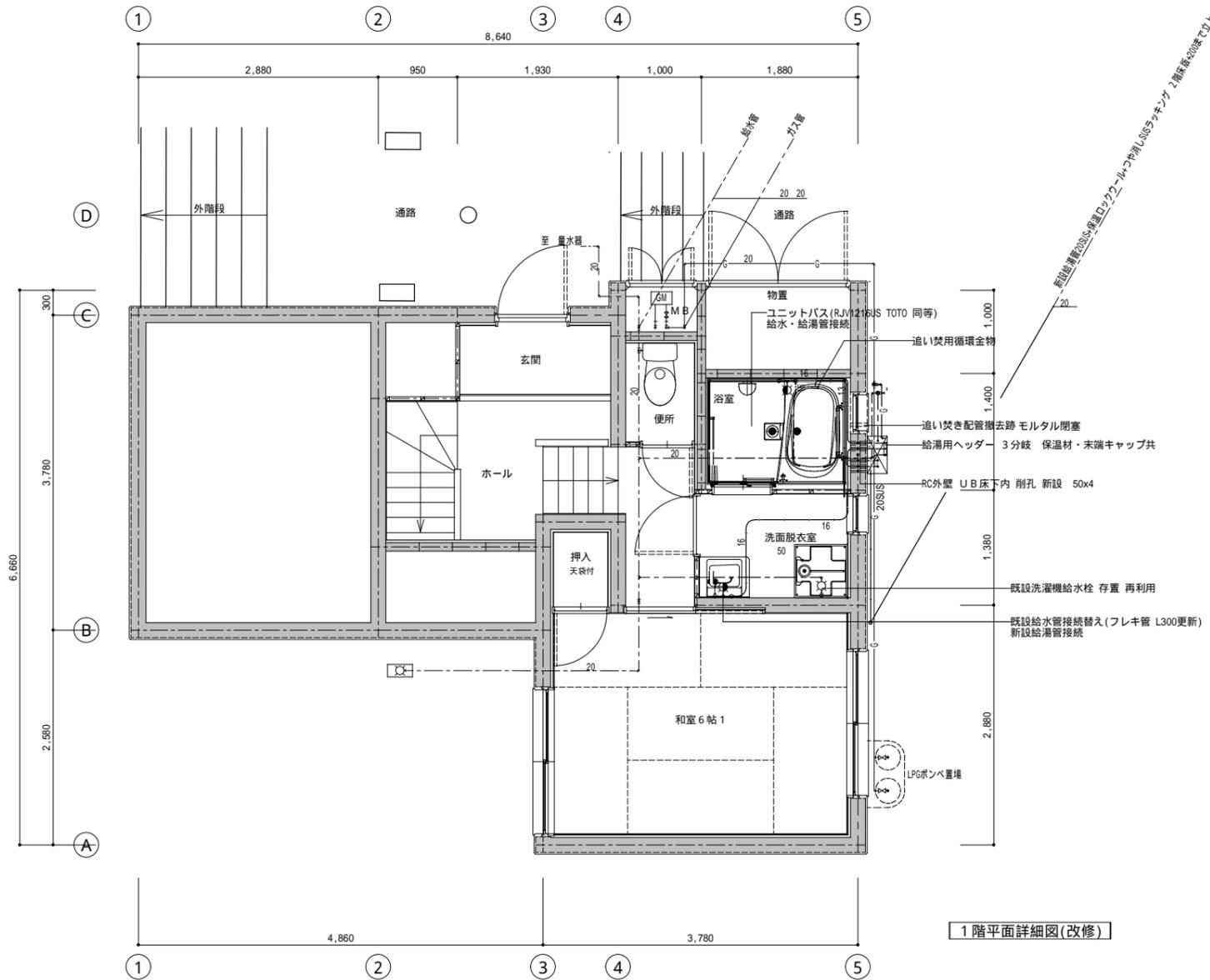


既設機器表(現況)	
ユニットバス 1216	B S N - 1 2 1 6 U (セキスイ)
	化粧ケイカル・折戸・ステンレス手摺
	混合水栓・ハンドシャワー
洗面化粧台	B L K - A - 5 0 0
洗濯機パン	9 0 0 x 6 0 0
天井扇(親子)	V - 1 5 Z F - B L
ユニットキッチン	B L - K U - 1 8 2 3
立形泡沫自在水栓	T 1 3 6 S 1 3
レンジ用換気扇	E - 2 0 K J 2 - B L
ガス給湯器(LPG仕様)	ガス風呂釜・屋外設置型・給湯能力24号
ガス給湯器(LPG仕様)	ガス給湯器・先止め型・給湯能力5号
ガスメーター	G M N - 5号

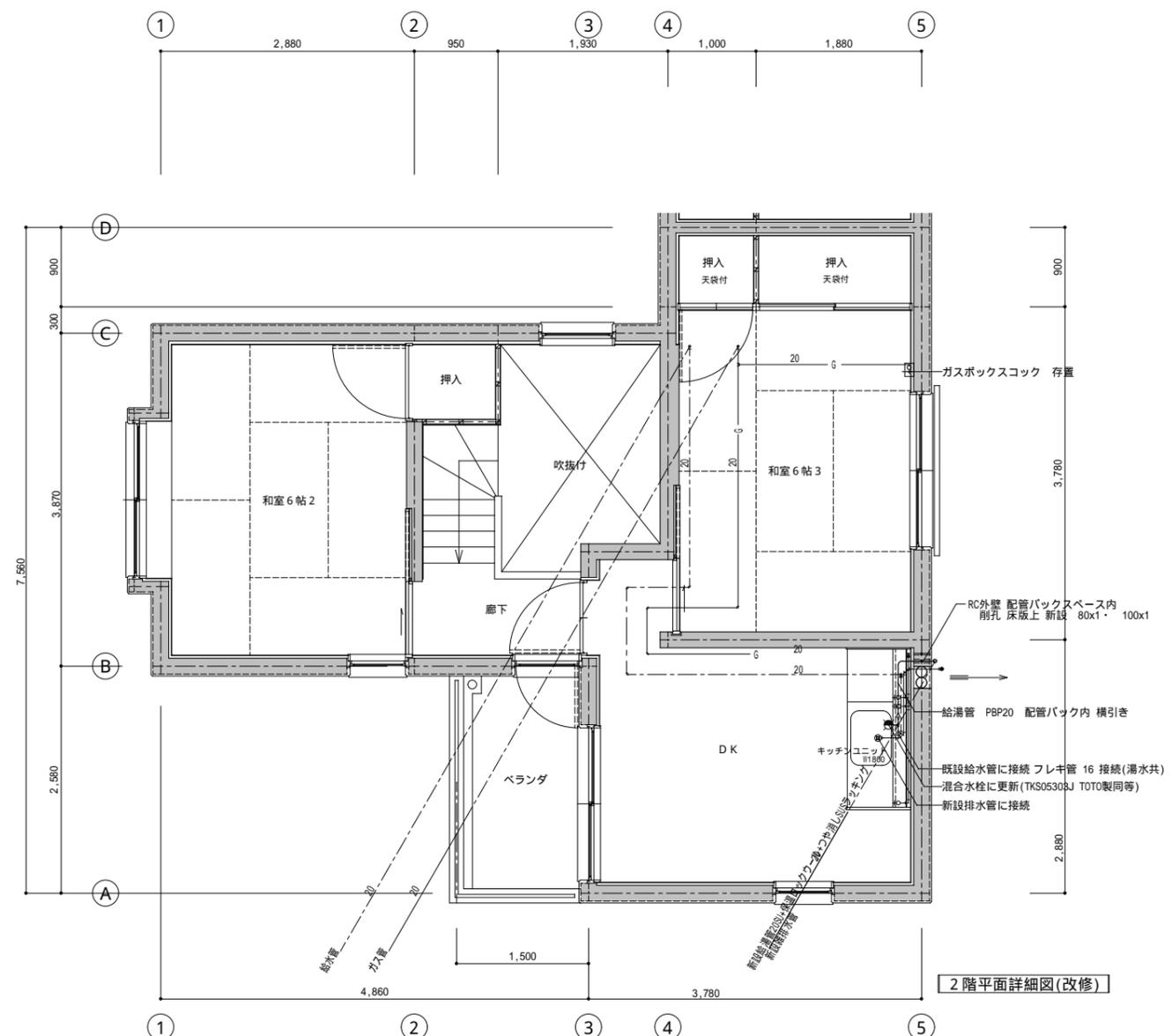
既設配管表	
---	給水管 H1VP
- -	給湯管 CP(M)
- -	追焚き管(M)
—	雑排水管
→	汚水管 VP
-○-	ガス管 SGP

-||..... : 既設配管の切断・再接続箇所を示す。
-||..... : 既設配管の切断・閉塞箇所を示す。
- x-x-x- : 既設配管の撤去箇所を示す。





1階平面詳細図(改修)

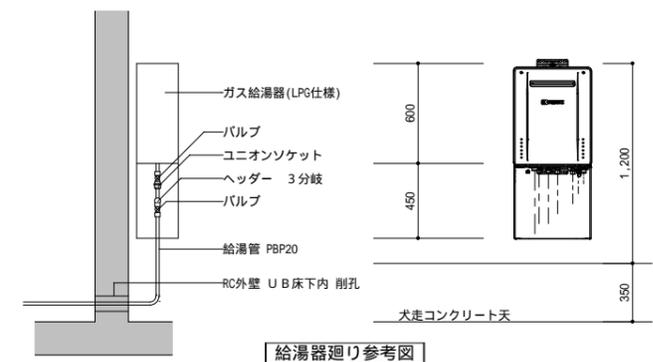


2階平面詳細図(改修)

改修設備機器表	
ユニットバス 1216	RJV1216US TOTO製同等
洗面化粧台	LDD8060BGMK1 + LUD8060G0G16 TOTO製 同等
洗濯機パン	PHSP64H2W TOTO製 同等
天井扇(親子)	VD-15ZFC14-BL 三菱電機製 同等
ユニットキッチン	B L-KU-1 8 2 3 (流し台・ガス台・取外し再取付け)
台付シングル混合水栓	T K S O S 3 1 3 J TOTO製 同等
レンジ用換気扇	E - 2 0 K J 2 - B L 存置・再利用
ガス給湯器(LPG仕様)	GT-2470SANBL ノーリツ製 同等
配管カバー	H68-K450-II
浴室リモコン	RC-J101SE ノーリツ製 同等
台所リモコン	RC-J101NE ノーリツ製 同等

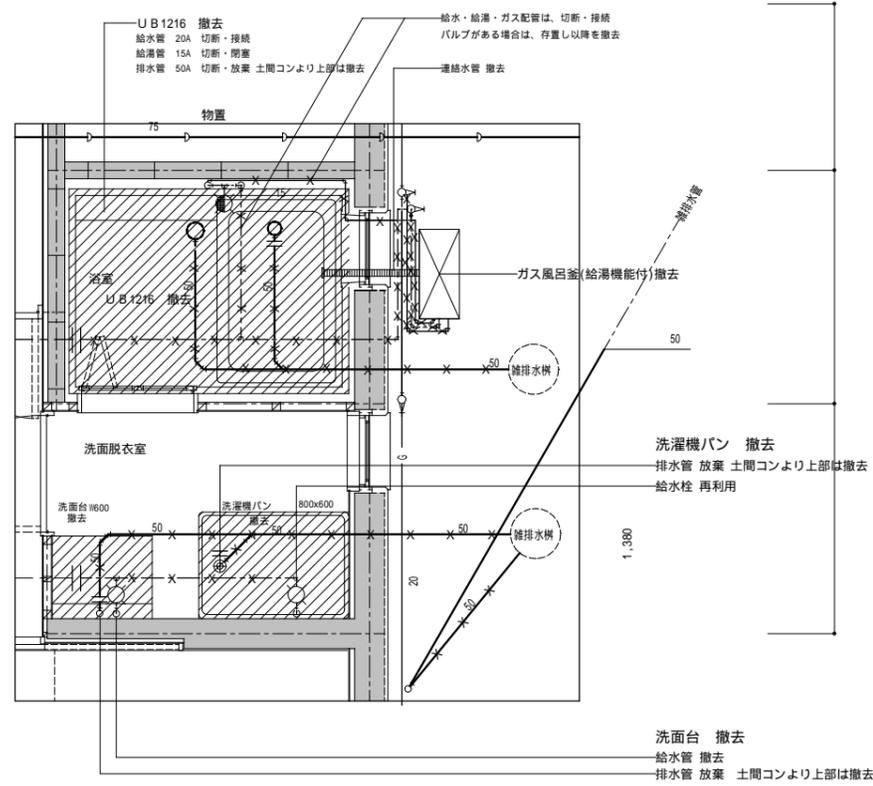
既設配管表		新設配管表	
給水管 H1VP	給水管 PBP	給水管 PBP	給水管 PBP
給湯管 CP(M)	給湯管 PBP	給湯管 PBP	給湯管 PBP
追焚き管 CP(M)	追焚き管 PBP	追焚き管 PBP	追焚き管 PBP
雑排水管 VP	雑排水管 VP	雑排水管 VP	雑排水管 VP
汚水管 VP	汚水管 VP	汚水管 VP	汚水管 VP
ガス管 SGP	ガス管 SGP	ガス管 SGP	ガス管 SGP

.....||..... : 既設配管の切断・再接続箇所を示す。
||..... : 既設配管の切断・閉塞箇所を示す。
 -x-x-x- : 既設配管の撤去箇所を示す。
 一般の給水管・給湯管は、床転ばし配管としPBPにて施工する。
 UB内の給水管・給湯管・追い焚き管は床転ばし配管としPBPにて施工する。

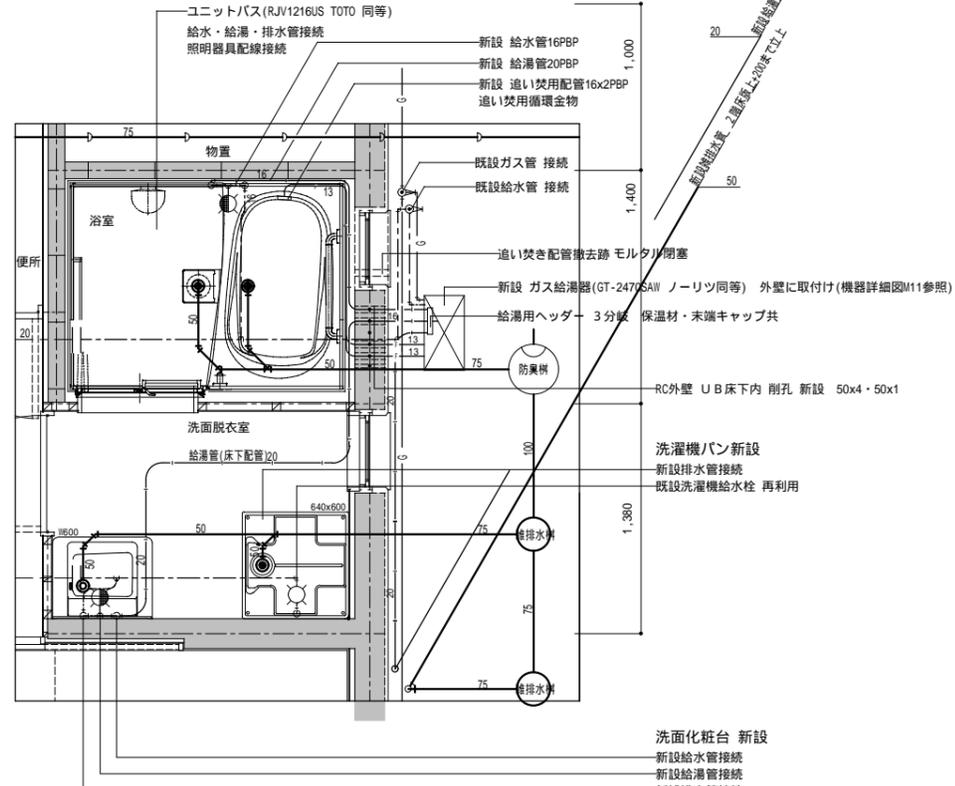


給湯器廻り参考図





2階平面詳細図(現況)



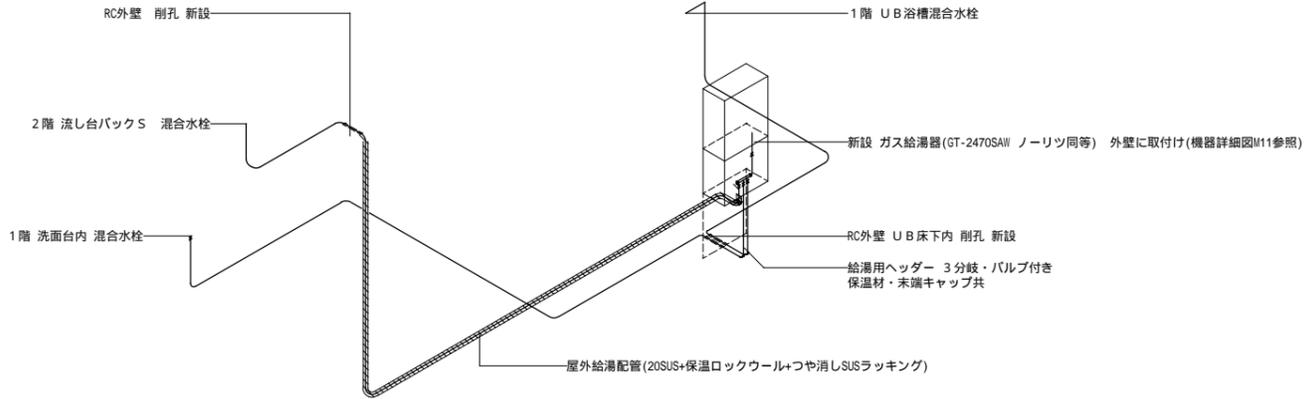
2階平面詳細図(改修)

既設機器表(現況)	
ユニットバス 1216	B S N - 1 2 1 6 U (セキスイ)
	化粧ケイカル・折戸・ステンレス手摺
	混合水栓・ハンドシャワー
洗面化粧台	B L K - A - 5 0 0
洗濯機パン	9 0 0 x 6 0 0
天井扇(親子)	V - 1 5 Z F - B L
ユニットキッチン	B L - K U - 1 8 2 3
立形泡沫自在水栓	T 1 3 6 S 1 3
レンジ用換気扇	E - 2 0 K J 2 - B L
ガス給湯器(LPG仕様)	ガス風呂釜・屋外設置型・給湯能力24号
ガス給湯器(LPG仕様)	ガス給湯器・先止め型・給湯能力5号
ガスメーター	G M N - 5 号

改修配管表	
---	給水管 PBP
- -	給湯管 PBP・SU
-f-	追焚き管 PBP
—	雑排水管 VP
→	汚水管 VP
-G-	ガス管 SGP

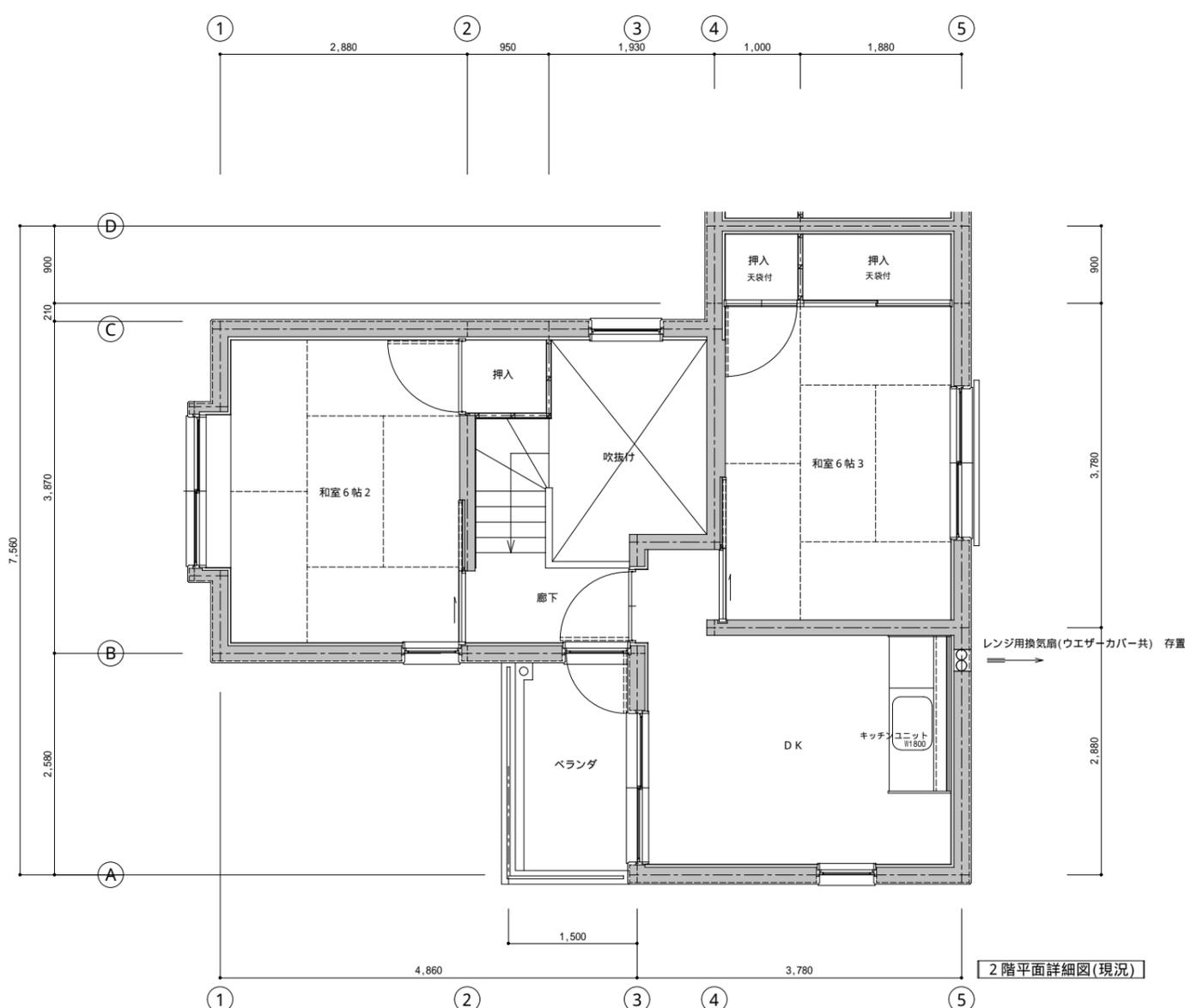
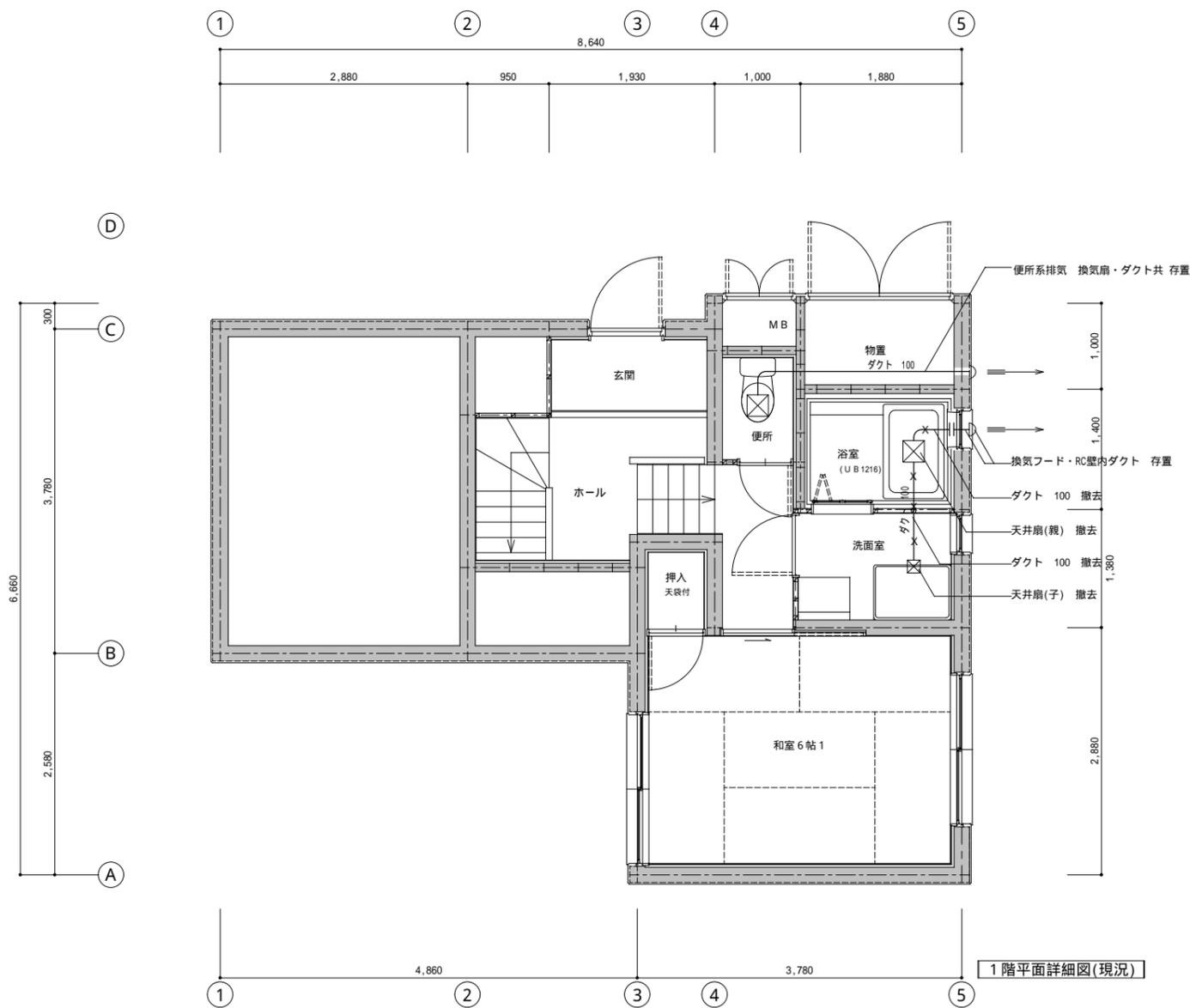
.....||..... : 既設配管に接続箇所を示す。
||..... : 既設配管の切断・閉塞箇所を示す。
 -x-x- : 既設配管の撤去箇所を示す。
 : 既設配管の内宅内土間コン下部でコンクリートの撤去を伴わない部分は存置・放棄する。

改修設備機器表	
ユニットバス 1216	RJV1216US TOTO製同等
洗面化粧台	L080608AGM1 + LMC06060G16 TOTO製同等
洗濯機パン	PHSP64H2W TOTO製同等
天井扇(親子)	VD-15ZFC14-BL 三菱電機製同等
ユニットキッチン	B L - K U - 1 8 2 3 (流し台・ガス台、取外し再取付け)
台付シングル混合水栓	T K S 0 5 3 1 3 J TOTO製同等
レンジ用換気扇	E - 2 0 K J 2 - B L 存置・再利用
ガス給湯器(LPG仕様)	GT-2470SAWBL ノーリツ製同等
配管カバー	H68-K450-II
浴室リモコン	RC-J101SE ノーリツ製同等
台所リモコン	RC-J101ME ノーリツ製同等



新設給湯管敷設アイソメ参考図

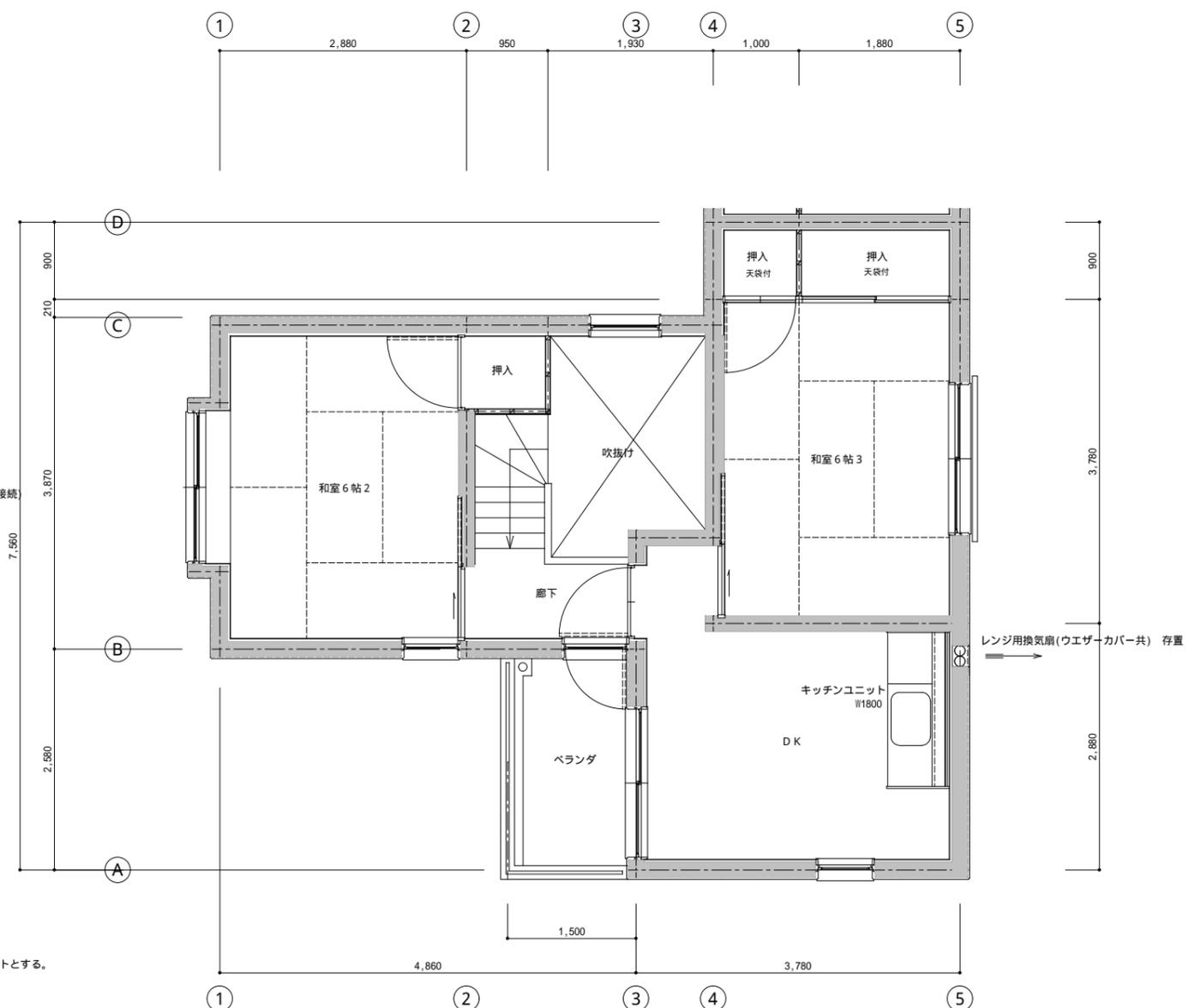
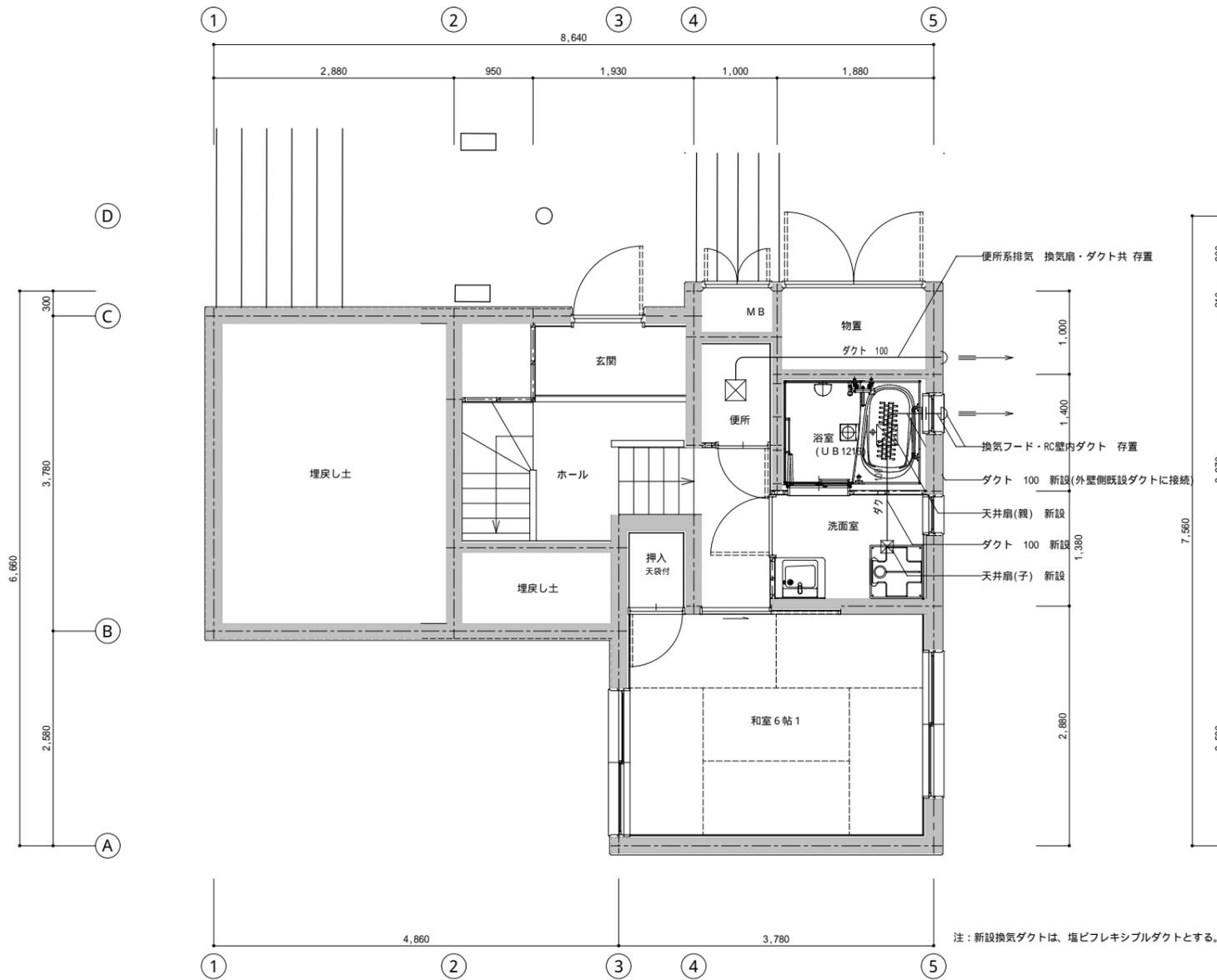




既設機器表(現況)	
ユニットバス 1216	B S N - 1 2 1 6 U (セキスイ)
	化粧ケイカル・折戸・ステンレス手摺
	混合水栓・ハンドシャワー
洗面化粧台	B L K - A - 5 0 0
洗濯機パン	9 0 0 x 6 0 0
天井扇(親子)	V - 1 5 Z F - B L
ユニットキッチン	B L - K U - 1 8 2 3
立形泡沫自在水栓	T 1 3 6 S 1 3
レンジ用換気扇	E - 2 0 K J 2 - B L
ガス給湯器(LPG仕様)	ガス風呂釜・屋外設置型・給湯能力24号
ガス給湯器(LPG仕様)	ガス給湯器・先止め型・給湯能力5号
ガスメーター GM	N - 5号

.....||..... : 既設配管の切断・接続箇所を示す。
||..... : 既設配管の切断・閉塞箇所を示す。
 — x — x — : 既設配管の撤去箇所を示す。
 注: 既設換気ダクトは亜鉛鍍鋼板製スパイラルダクト





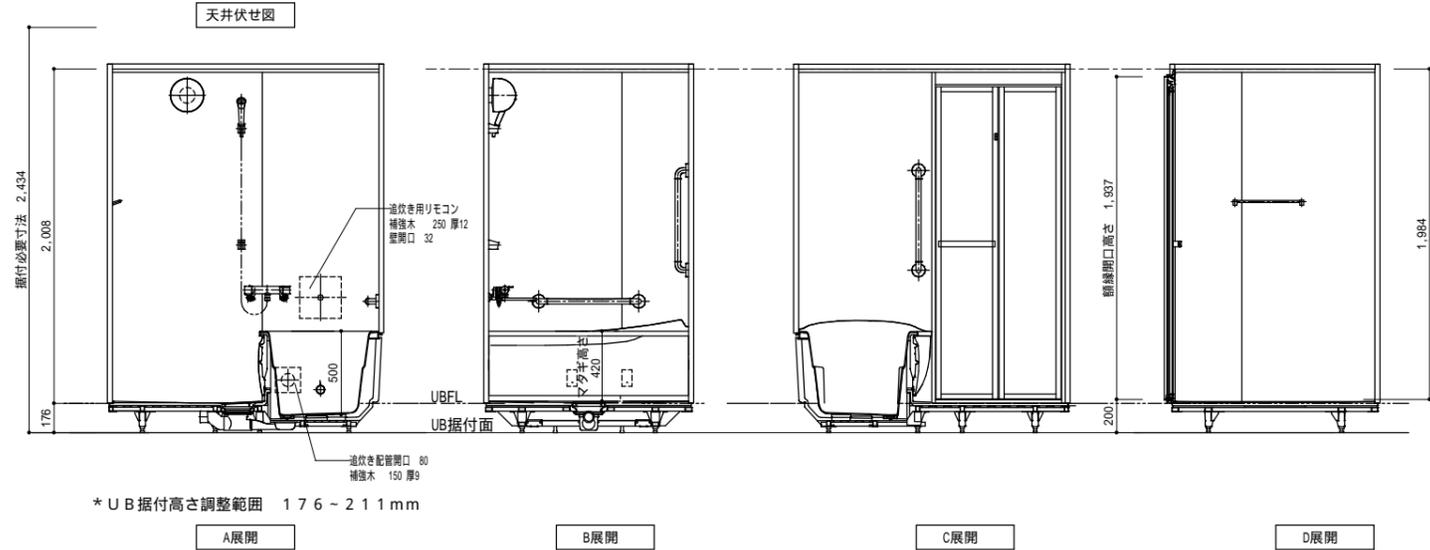
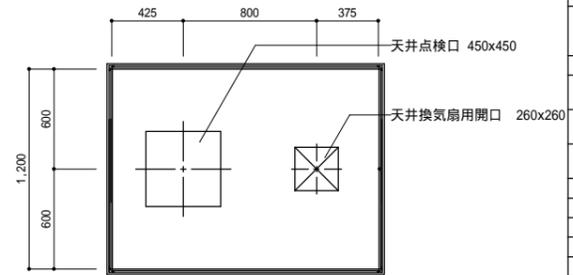
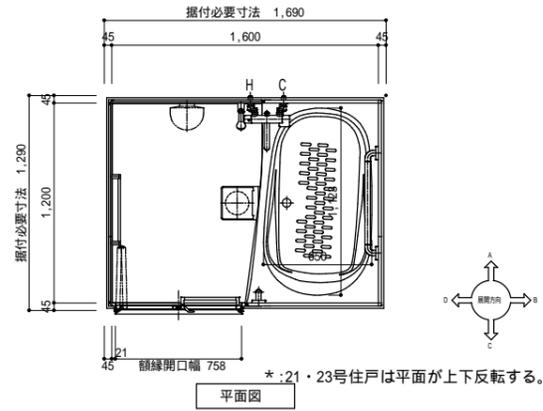
改修設備機器表	
ユニットバス 1216	RJV1216US TOTO製同等
洗面化粧台	LDB0608AGMK1+LMD0606DG1G TOTO製 同等
洗濯機パン	PIISP64H2W TOTO製 同等
天井扇(親子)	VD-15ZFC14-BL 三菱電機製 同等
ユニットキッチン	B L-KU-1823 (流し台・ガス台、取外し再取付け)
台付シングル混合水栓	T K S 0 5 3 1 3 J TOTO製 同等
レンジ用換気扇	E-20KJ2-BL 存置・再利用
ガス給湯器(LPG仕様)	GT-2470SAHBL ノーリツ製 同等
配管カバー	H68-K450-II
浴室リモコン	RC-J101SE ノーリツ製 同等
台所リモコン	RC-J101NE ノーリツ製 同等

- ||----- : 既設配管の接続箇所を示す。
- ||----- : 既設配管の切断・閉塞箇所を示す。
- x-x-x- : 既設配管の撤去箇所を示す。
: 既設配管の内宅内土間コン下部でコンクリートの撤去を伴わない部分は存置・放棄する。

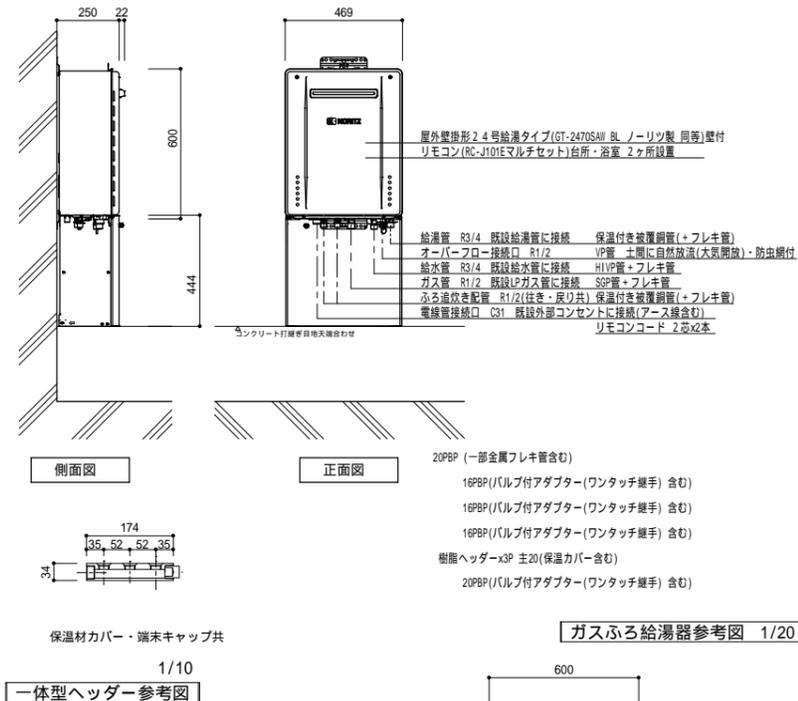
1階平面詳細図(改修)

2階平面詳細図(改修)

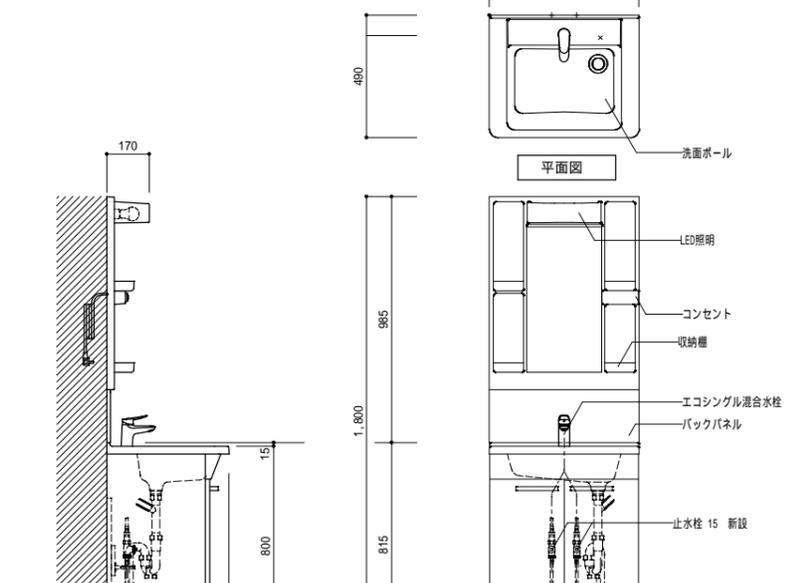




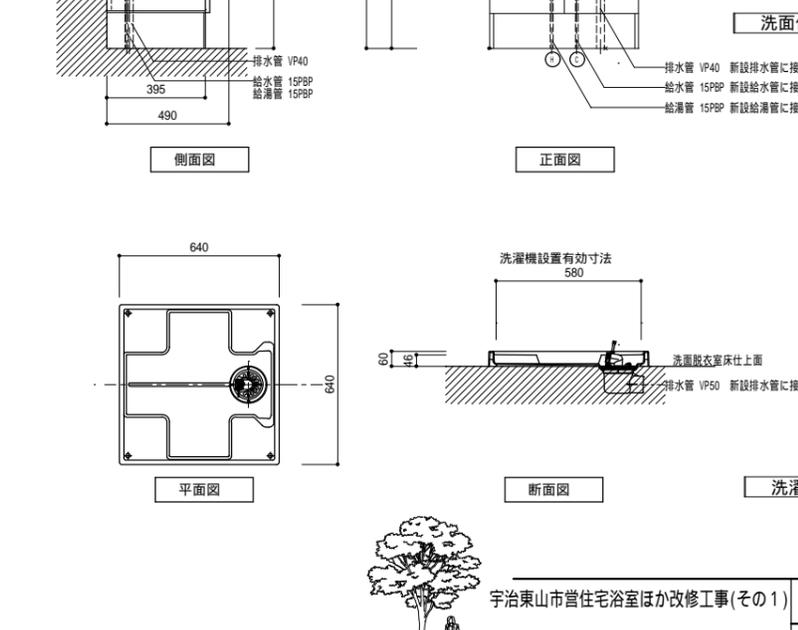
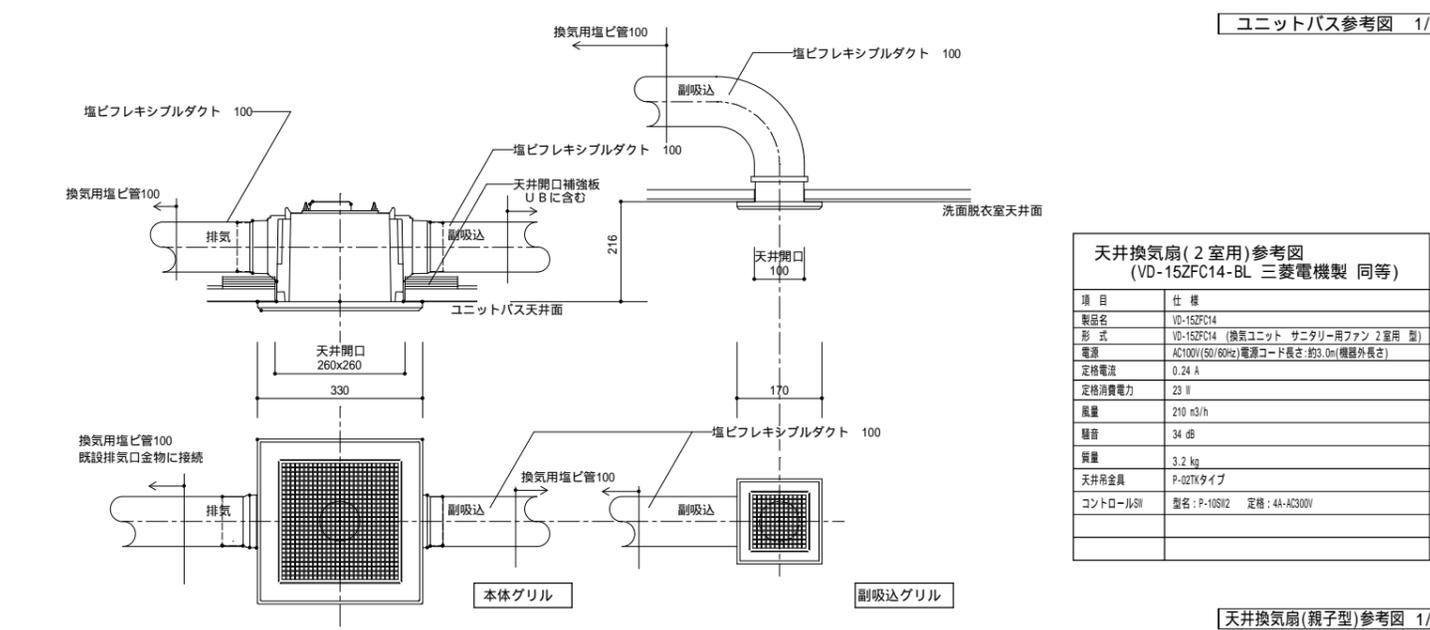
ユニットバス参考図 (RVJ1216US TOTO製 同等)		コロガシ は、基本仕様からの変更箇所		
名称	仕様・寸法	色・柄	特記事項	備考
天井パネル	化粧板複合パネル(抗菌防カビ仕様・モールド) 点検口 450(縦り点検口・落下防止用補助) 石膏ボード2枚張り	ホワイト		
壁パネル	HQパネル	ベージュホワイト		
床パネル	FRP カラリ床(単色)	ベージュ(単色)		
ドア枠	アルミアルマイト処理	ホワイト		(付特取付ネジUB交換、ネジ取付および付特取付)
ドアパネル	折戸(スッキリドア)枠なし 面材:樹脂ステンレ板 W=800(有効開口幅 671mm) H=2000	ホワイト 面材:半透明		
浴槽	ゆるり浴槽 FRPバス(ステップなし) 追焚用 50開口 ゴム性 断熱防水パン付	ホワイト エプロン:ホワイト	配管固定板(結束バンド付): 2ヶ所	YAB25
追焚用リモコン加工	リモコン取付用補強木取付および、追焚用開口のみUB組立			YBA09
追焚用配管加工	補強木取付および、配管開口 80x1のみUB組立			YAB25
浴槽水栓	TBV0343J8型 壁付サーモスタットシャワー全具(スバウトL=170)			
シャワーヘッド	スプレーシャワー ホース:L=1600	ヘッド:ホワイトグレー ホース:シルバー		
シャワーハンガー	TH556F6型	ホワイト		
照明	半球形照明(LEDランプ) 消費電力9W以下 60W相当 電球色 VVF1.6x2C L=3.0m付		(以降接続別途)	
換気扇	260 開口および補強木取付のみUB組立		(材工別別途)	IKA04
給水エルボ(浴槽用)	青銅銅物製 接続口 Rc1/2		(以降接続別途)	
給湯エルボ(浴槽用)	青銅銅物製 接続口 Rc1/2		(以降接続別途)	
排水トラップ	ABS樹脂製 封水深50mm 接続口 VP50受口 取っ手付ヘアキャッチャー 浴槽側逆流防止機構付		(以降接続別途)	AHV03
排水管	VP50 未選付		(以降接続別途)	
タオル掛け	ステンレスパイプ 13 L=400	座:ホワイト		
手すり(浴槽側短辺)	インテリアバー 32 I型 L=600	スマイルベージュ		
手すり(ドア枠横)	インテリアバー 32 I型 L=600	スマイルベージュ		
手すり(洗い場)	手すり(洗い場)無し			KEA00



ガスふろ給湯器参考図 (GT-2470SAW BL ノーリツ製 同等)	
項目	仕様
製品名	GT-2470SAWBL
形式	GT-2470(S)AW
型式適用ガス種	LPガス
種類	設置の方式 壁外壁設置型・FS標準設置型 給湯方式 強制排気式(押し込み)
点火方式	電子イグナイタによるダイレクト点火
給湯能力制御方式	FF+FB+水圧制御(水量センサー)+0機能
最低作動流量	2.0L/min・10kPa
使用水圧	0.1~1.0MPa(推奨水圧0.2~0.5MPa)
外形寸法	高さ600mm幅469mm奥行240mm
質量(本体)	23.5kg(満水時24.6kg)
配管	ガス R1/2(15A) 給湯口径 給水・給湯 R3/4(20A) 排水 R1/2(15A) 循環アダプター JK 含む
電気関係	電源 AC100V(50/60Hz)電源コード長さ:約1.8m(機器外長さ) 消費電力 115W 凝結防止ヒーター:125W 待機時:0.8W
材質	本体外装 カラー:鋼板 接続口 ステンレス 熱交換器 銅
本体外装色	GGホワイト(近似的:マンセルNo.9.3YR8.4/1.0)
安全装置	立消火安全装置(フ列ムロード)、残火安全装置(バイメタルスイッチ) 空たき安全装置(バイメタルスイッチ)、空たき防止装置(水流スイッチ) 停電時安全装置、過熱防止装置(温度センサー)、過電流防止装置 過圧防止安全装置(スプリング式)、ファン回転検出装置 ふるボンブ回転検出装置、凍結防止装置 漏電安全装置(高感度型)、凍結防止装置 逆流防止装置(逆止め弁)、誘導保護装置

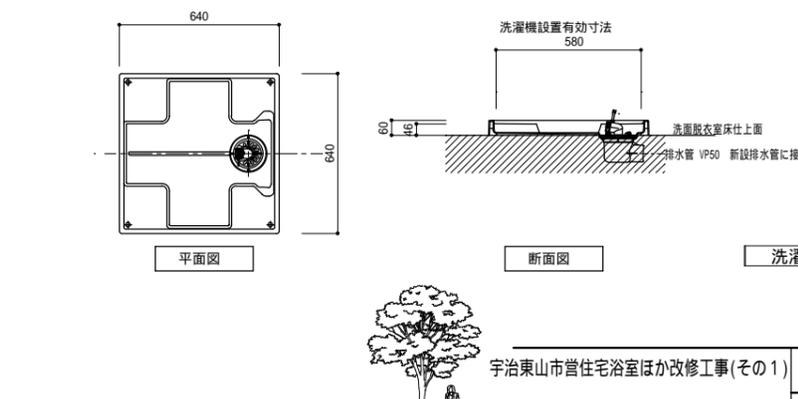


洗面化粧台 + 一面鏡参考図 (LDDB060BAGMK1 + LMDB060GDG1G TOTO製 同等)	
項目	仕様
製品名	洗面化粧台 LDDB060BAGMK1 + LMDB060GDG1G 一面鏡(収納トレイ4段付き)
形式	BL固定洗面化粧台 LDDB060BAGMK1 LMDB060GDG1G
洗面ボウル	人工大理石
水栓	エコシングル混合水栓
排水性	ヘアキャッチャー付ゴム栓
排水トラップ	水抜き付きハード管・床排水用
電源	AC100V 電源コード長さ 約1.0m
コンセント	1000W コンセント1個付き(許容電力1.2kWまで)
照明	LEDランプ 4.4W 1個付き
収納トレイ	左右各2段付き
バックパネル	樹脂製



洗面化粧台参考図 1/20	
項目	仕様
洗面ボウル	人工大理石
水栓	エコシングル混合水栓
排水性	ヘアキャッチャー付ゴム栓
排水トラップ	水抜き付きハード管・床排水用
電源	AC100V 電源コード長さ 約1.0m
コンセント	1000W コンセント1個付き(許容電力1.2kWまで)
照明	LEDランプ 4.4W 1個付き
収納トレイ	左右各2段付き
バックパネル	樹脂製

天井換気扇(2室用)参考図 (VD-15ZFC14-BL 三菱電機製 同等)	
項目	仕様
製品名	VD-15ZFC14
形式	VD-15ZFC14(換気ユニット サニタリー用ファン 2室用 型)
電源	AC100V(50/60Hz)電源コード長さ:約3.0m(機器外長さ)
定格電流	0.24 A
定格消費電力	23 W
風量	210 n3/h
騒音	34 dB
質量	3.2 kg
天井用金具	P-Q2TKタイプ
コントロールSW	型名:P-10S12 定格:4A-AC300V



洗濯機パン参考図 (PWSP64H2W TOTO製 同等)	
項目	仕様
製品名	PWSP64H2W
洗濯機(パン)	PHP640K2H(P製)
排水トラップ	PJ2008NW(ABS樹脂製)
その他	固定ネジ・防水化底キャップ付き

電気設備工事特記仕様書 - 1

【工事概要】

- 1 工事場所 宇治市宇治山60番地の1他
- 2 建物概要

建物名	構造	階数	延床面積(m ²)	消防法令別表第1	耐震安全性の分類	備考
東山市営住宅21-24号	RC造	2階建て	274.14㎡	5項の口	甲乙 甲乙 甲乙	改修工事

- 3 工事科目 印をついたものを適用し、各一式とする。

工事科目	建物名称	市営住宅
電灯設備		
動力設備		
雷保護設備		
受変電設備		
電力貯蔵設備		
発電設備		
構内情報通信網設備		
構内交換設備		
情報表示設備		
映像・音響設備		
拡声設備		
誘導支援設備		
テレビ共同受信設備		
監視カメラ設備		
駐車場管制設備		
防犯・入退室管理設備		
火災報知設備		
中央監視制御設備		
医療関係設備		
構内配電線路		
構内通信線路	○	
電波障害調査		
撤去工事		

【特記事項】

- 1 一般事項
 - 1) 特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）令和4年版」（以下、「標準仕様書」という。）、「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）令和4年版」（以下、「標準図」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）令和4年版」による。
 - 2) 工事種目に機械設備工事及び建築工事を含む場合、その仕様は当該図面及び標準仕様書による。
- 2 特記事項

項目及び特記事項は、印をついたものを本工事に適用する。ただし、印のない場合は、印を適用する。

章	項目	特記事項
一	設備機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図面に規定するものまたは、これらと同等のものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。
	機材の品質・性能証明	使用する機材が、(一社)公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿(最新版)」による場合は、評価書の写しをもって、標準仕様書第1編第1章第4節1.4.2(2)の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。ただし、標準仕様書に規定される製作図・試験成績書等は除く。
	現場代理人	本工事の施工に当たっては、請負契約書第10条に規定する現場代理人は、主任技術者又は監理技術者と同様、受注者との直接的かつ恒常的な雇用関係のある者を選任する。
	電気工事士	契約電力500kW以上の場合も、第1種電気工事士による施工を行う。
	工用電力・水その他	本工事に必要な工用電力・水などの費用は、引き渡し時まですべて受注者の負担とする。
	官公署への手続き	官公署等への手続きは速やかに行い、それに要する費用は、すべて受注者の負担とする。
	工用仮設物	構内につくることができる できない
	足場・作業構台	別契約の関係者・受注者が定置したものは、無償で使用できる。
	監督職員事務所	設置しない 設置する(本工事 別途)
	監督職員事務所に備え付ける図書	下記の図書を監督職員事務所に備え付ける。 ・公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編) ・電気設備工事監理指針 ・建築設備耐震設計施工指針 ・公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)
二	建設副産物の処理及び建設発生土の処理	建設副産物の処理 右記のほか、現場説明書による。 引き渡しを要するもの【 再生資源利用を図るもの【 特別管理産業廃棄物
	建設発生土処分	右記のほか、現場説明書による。 構外指定地に搬出処理 (一財)城陽山砂利採取地整備公社 構内指示場所に敷き均し
	再生資源利用(促進)計画・実施書の提出	詳細は現場説明書による。
	1)「建設発生土処理計画書」及び「廃棄物処理計画書」を監督職員に提出する。	
	2)関係法令等に従い、適正に廃棄物等処理し、「建設発生土処理計画書」及び「廃棄物処理報告書」により監督職員に報告する。	
	アスベスト成形板の処理等(以下のほか、現場説明書による)	
	施工調査	アスベスト成形板の撤去に当たり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。調査結果は図面により記録し監督職員に提出する。 ・アスベスト成形板使用部位の確認 ・アスベスト成形板の種別、厚さ等の確認 ・アスベスト成形板使用数量の確認 ・施工範囲等の確認
	確認範囲	成形板の製造年等の確認 X線解析法
	処理方法	非飛散性アスベスト廃棄物の取扱いに関する技術指針」に従いあらかじめ処理計画書を作成し、適切に解体処分等を行うこと。

章	項目	特記事項				
一	工事関係書類	営繕工事契約関係提出書類書式集 一覧表により提出。 宇治市「A」参照 <http://www.city.ujii.kyoto.jp>				
	履行報告	月報 2部 3部 毎月末にメレ、翌月の5日までに提出する。				
	工事写真	1) 国土交通省大臣官房官庁営繕部「営繕工事写真撮影要領(最新版)」による。 2) 工事完成時、整理の上、1部提出する。 3) 小黒板情報電子化については、現場説明書による。				
	完成図書	名称	内容	大きさ	部数	
		完成図	金文字製本	A4版	1部	
		完成図	背貼り製本(版)	A4ファイル止め	2部	
		施工図	背貼り製本(版)	A4ファイル止め	2部	
		機器完成図等	機器製作図 保守指導案内書(機器取説書を含む) 機器性能試験成績書・保証書・施工の試験成績書	ファイル止め	A4版	2部
		諸官庁提出書類	副本			1式
	二	原図	完成図		1部	
完成写真		アルバム綴り		2部		
電子納品については、現場説明書による。						
著作権等		当該建物において取得する、施工図等の著作権に係る当該建物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。				
付属品及び予備品		標準仕様書によるほか、別表による。				
耐震施工		1) 設備機器の固定は、国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修の「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」により計算を行い、監督職員に報告し承諾を得る。 2) 下記の設計用水平震度(KH)により、機器製作固定を行う。				
三	設置場所	特定の施設	一般の施設	一般の施設		
		重要機器	一般機器	重要機器		
	上層階、屋上及び塔屋	2.0(2.0)	1.5(2.0)	1.5(2.0)	1.0(1.5)	
	中間階	1.5(1.5)	1.0(1.5)	1.0(1.5)	0.6(1.0)	
	1階及び地下階	1.0(1.0)	0.6(1.0)	0.6(1.0)	0.4(0.6)	
	設置場所	特定の施設	一般の施設	一般の施設		
		水	水	水		
	上層階、屋上及び塔屋	2.0	1.5	1.5		
	中間階	1.5	1.0	1.0		
	1階及び地下階	1.5	1.0	1.0		
注1	耐震安全性の分類が甲類の建物は特定の施設、乙類の建物は一般の施設を適用する。					
注2	屋外に設置する機器は、建物の耐震安全性の分類に準じる。ただし、敷地内に甲類の建物と乙類の建物が混在する場合は、特定の施設を適用する。					
注3	()内の数値は、防震支持の機器の場合に適用する。					
注4	設計用鉛直震度は、設計用水平震度の1/2とする。					
注5	上層階の定義は、6階以下の場合には最上階、7~9階建の場合には上階2階。					
注6	重要機器(水槽類含む)は、下記による。(水槽類にはオイルタンク等を含む。)					
	配電盤	直流電源装置	自家発電装置	交換機		
	電算用電源	中央監視装置	UPS装置	自動火災報知装置		
注7	操作卓は本体を床又は壁にアンカーボルトで固定できるように固定金具を備えたものとし、卓上機器は、転倒防止用の措置を講じたものとする。					
四	風圧力に対する性能	建築基準法に基づき定められた風速及び地表面粗度区分 Vo(3.0 3.2 3.4) 地表面粗度区分()				
	風圧力(耐風力)	建築基準法施行令第87条に定めるところによる風圧力(耐風力)検討(計算)書を監督職員に提出する。なお、検討(計算)範囲には、それぞれの取付部分を含めるものとする。 受留部システム及び引下げ導線システム 太陽光アレイ及び接続箱 〇風力発電装置 テレビ共同受信アンテナ及びアンテナマスト				
	電線類	1) 特記なきものは、EM-Eとする。 2) EM電線、EMケーブルで標準仕様書に規格等の記載のないものは、ハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとし、次の記号及び仕様による。				
	EM-アクセスフロア	JCS4502(600Vアクセスフロア用耐燃性ポリエチレンスケーブル)による600Vアクセスフロア用ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンスケーブル(EM-EE)及び600Vアクセスフロア用架橋ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンスケーブル(EM-CE)を示す。				
	EM-MEES	JCS4271に準じ、絶縁材及びシースにJCS規格によるEMケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの				
	3) 長さ1m以上の通線を行わない配管には、導入線(樹脂被覆鉄線等)を挿入する。					
	電線管	電線管	PF管	ただし、露出部分は鋼製電線管とする。 分電盤等の2次側で第1ボックスまでは(鋼製電線管 PF管)とする。 ねじなし電線管 1) 雨線外及び湿気の多い場所または水気のある場所に使用する露出電線管は、厚鋼電線管とする。 2) スラブ厚の1/4を超える外径の配管及び(PF22)又は(E25)相当を超えるものは、コンクリート埋設配管を行わない。 最上階のスラブでモルタル防水及び樹脂防水の場合、埋込配管は避けるのを原則とする。		
	電線本数、管路等	下記の露出配管は塗装(指定色塗装)を行う。 屋外(屋上を除く) 屋内居室 屋内P.S・EPS 屋内機械室・電気室 〇廊下 分電盤、制御盤、端子盤等の2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径等は監督職員の承諾を受けて変更することができる。				
	ボックス	樹脂管で配管する場合は、合成樹脂製ボックスを使用する。				
	予備配管	分電盤の予備の配線用遮断器が4個以下の場合(25)を1本、5個以上の場合(25)を2本天井内まで立上げる。ケーブルラックの床の防火貫通部に(51)を1本以上立上げる。				
フラッシュプレート	和室	樹脂製	金属製(新金属製 ステンレス製)			
五	床配線器具等	床用配線器具の形式は以下による。(図面特記のあるものを除く。) 二重床 インナー形 〇飛び出し形 〇内部固定形 〇外部固定形 二重床以外 飛び出し形 〇引出し形 〇内部固定形 〇外部固定形 (フロアベースは水平高低調整式(空転防止リング付) 砲金製 〇アルミ製とする。)				
	機器	寸法	盤その他機器類について図示した寸法は、約寸法とする。			
	接続	電動機への接続は、本工事とする。				
	アンカーボルト	アンカーボルト、全ネジ及びナットは、下記による。 屋外・多湿室等 (溶融亜鉛メッキ SUS) その他 (一般品 SUS)				

章	項目	特記事項	
一	あと施工アンカー	施工後確認試験 行う 行わない 試験方法 引張試験機による引張試験とし、国土交通省大臣官房官庁営繕部の公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)「8.12.7 施工確認試験」による。 確認強度 監督職員との協議による。	
	機器内配線等	下記の機器内配線及びケーブルには、EM電線及びEMケーブルを使用する。ただし、高圧主回路配線はこの限りでない。 分電盤 〇A盤 実験盤 開閉器箱 〇制御盤 キュービクル式配電盤 直流電源装置 交流無停電電源装置(UPS)(簡易型を除く)	
	はつり	1) 既存のコンクリート床・壁等の配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターを使用する。 2) 復旧はモルタル補修までとする。	
	再使用機器	取り外した上再使用する機器は、清掃し絶縁抵抗測定の上取付ける。なお照明器具等の見え掛り部分は、洗剤を使用するなどして、十分に清掃する。	
	その他	屋外の盤類・開閉器箱 SUS 鋼板製 屋外のプルボックス SUS 鋼板製	
	工事範囲	配管 配線 機器取付	
	電気方式	幹線 単相3線式 100V/200V 直流2線式 100V 分岐 単相2線式 100V 200V 直流2線式 100V	
	照明制御による効果の評価	一般社団法人日本照明器具工業会技術資料130「照明制御装置による消費電力削減効果の評価手法」により、消費電力削減効果の評価を行い監督職員に提出する。	
	照明制御装置	照明制御装置の各センサー設定は、監督職員と協議する。センサー設定器を附属させる。	
	多重伝送制御システム	多重伝送制御システムの設定は、監督職員の指示による。システム設定器を附属させる。	
二	LED制御装置の種類	図面特記があるものを除き、LED照明器具の制御装置の種類は、調光信号線が接続された器具にあってはLX又はLZ、それ以外はLN又はLJとする。	
	ORP又はMP形照明器具	標準図において、防雨形または防湿形の器具本体の材質に、SUSを含む複数の材料が適用されている場合は、SUSを適用する。	
	非常用照明の形式	電池内蔵形 電池別置形	
	フロアコンセント	引出し形 飛び出し形 内部固定形 外部固定形 〇Aフロア用	
	分電盤等	1) 本工事の分電盤、〇A盤、実験盤で、分岐に用いる配線用遮断器及び漏電遮断器の寸法は、JISC8201-2-1「回路遮断器」、同付属書JC「電灯分電盤用協約形回路遮断器」、JISC8201-2-2「漏電遮断器」、同付属書JC「電灯分電盤用協約形漏電遮断器」による1種サイズのものとする。 2) SPD分離器(配線用遮断機)は(警報接点付 警報接点無)とする。 3) SPD分離器は、監督職員の承諾を受けて、SPD内蔵とすることができる。 〇A盤の端子盤部に 通気口 冷却ファン を設ける 開閉器を設ける(配線用遮断器 カットアウトスイッチ) 開閉器を設けない 実施 する しない	
	照明用ホール	実施 する しない	
	一般照明の照度測定	実施 する しない	
	工事範囲	配管 配線 機器取付	
	電気方式	幹線 三相3線式 200V 分岐 三相3線式 200V	
	制御盤	1) 制御回路に用いる変圧器は絶縁変圧器とする。 2) インバータ発熱対策用冷却装置を扉面に取り付けた場合、開扉時に冷却装置を休止させる。 3) インバータ発熱対策用冷却装置の故障を盤面に表示(させる させない)	
三	監視方法	警報盤による代表監視 中央監視制御装置による監視	
	インターロック	自動火災報知設備の受信機、運動制御器及びガス漏れ火災警報受信機と連動して、制御盤で空回機を停止させる。	
	インバータ装置の規約効率	三相可変性電動機用インバータ装置の規約効率は、次表の値以上とする。 電動機出力(kW) 0.4 0.75 1.5 2.2 3.7 5.5 7.5 11 インバータ効率(%) 86.0 88.5 92.0 93.0 94.0 94.0 94.5 94.5 電動機出力(kW) 15 18.5 22 30 37 45 55 75 インバータ効率(%) 95.0 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5 備考) 1) 電動機の供給電圧は100V又は200Vとする。 2) インバータ効率は、100%負荷時の値とする。	
	工事範囲	配管 配線 機器取付	
	保護レベル	受雷部システム	突針支持管 鋼製 ステンレス製
	接地システム	A型接地極(板状接地極 垂直接地極 放射状接地極) B型接地極(環状接地極 網状接地極) 構造体利用接地極(構造体底層部の大地抵抗率測定のための大地抵抗率測定用補助接地極を〇設ける 設けない)	
	工事範囲	配管 配線 機器取付	
	電気方式	高压 三相3線式 6kV 低压 三相3線式 200V 単相3線式 100V/200V 三相3線式 V 三相4線式 V/V	
	配電盤形式	屋内キュービクル式配電盤 屋外キュービクル式配電盤 開放形配電盤 変圧器盤 コンデンサ盤 高压スイッチギア(CX形 CW形 PW形) 低压スイッチギア(CX形 CS形 CW形 FW形)	
	変圧器の規格【G】	1) 変圧器(スリット結線変圧器、モールド変圧器でH絶縁材料を使用するもの、一次電圧が低圧または特別高圧のものを除く。)は、グリーン購入法による特定調達品目の判断基準を満たすものとする。 2) ダイヤル温度計は、最高温度指針付とする。	
監視方式	警報盤による代表監視 中央監視制御装置による監視		
基礎	本工事 別途工事 既設		
付属品等	盤内に予備限流ヒューズを収納する。		
その他	低压配電盤の配線用遮断器は取付け板組込形で埋込形とする。 低压配電盤の裏面に負荷側引出し端子を設ける。 低压配電盤に内部点検空間を設ける。(幅600mm以上・高さ1,800mm以上) 盤内照明器具はLEDとする。 換気扇を設ける場合は回転センサー付とする。(盤面警報ランプ共)		



電気設備工事特記仕様書-2

章	項目	特記事項
電力貯蔵設備	工事範囲	配管 配線 機器取付
	直流電源装置	用途 建築基準法用 消防法用 受変電設備専用 その他 過放電防止保護装置(直流不足電圧継電器)の設定電圧は、90Vとする。
	交流無停電電源装置(UPS)	用途() 方式(一般形 簡易形)
	工事範囲	配管 配線 機器取付
	形式	オープン形 簡易形 キュービクル
	連続運転可能時間	10時間(乙) 72時間(甲)
	発電機	電気方式 三相3線式 電圧 210V 6.6kV 415V 定格出力 kVA以上 力率 0.8
	原動機	種別 ガスタービン ディーゼル機関 ガスエンジン マイクロガスタービン 燃料電池 コージェネレーション kW(PS)以上 定格出力 電気式 空気式 始動方式 ラジエーター式 水循環環式 冷却方式 ラジエーター式 水循環環式 現地負荷試験 行わない
	燃料	種類 重油 軽油 灯油 ガス() 燃料小出槽 主燃料槽
	監視方式	警報盤による代表監視 中央監視盤による監視
太陽光発電装置	太陽電池	アレイ 公称最大出力 kW以上 設置可能建築面積 m ² 以下(長辺 m x 短辺 m)
	系統連系	受動 能動
	パワコンディショナ出力	相 線式 V kW以上
	逆潮流	有 無
	交流出力電圧	100V 200V
	出力電気方式	三相3線式 単相3線式 単相2線式
	外部移報	有 無
	構内情報設備	○工事範囲 ○配管 ○配線 ○機器取付
	○施工方法	○金属管配線(屋外) ケーブル配線 ○合成樹脂管(PF)配線
	構内交換設備	工事範囲
保安器用接地		本工事 別途工事
形式		電子交換機 ボタン電話装置
情報表示設備	工事種類	マルチサイン装置 出退表示設備 時刻表示設備
	工事範囲	配管 配線 機器取付
	親時計及び付属装置	CR-PM CW-PM プログラムタイム(カード式 キー式)
子時計	特記なきものは SWA ₃₃ -GPB ₂	
映像音響設備	工事範囲	配管 配線 機器取付
	施工方法	金属管配線 ケーブル配線 合成樹脂管配線
拡声設備	工事範囲	配管 配線 機器取付
	増幅器	用途 全館放送用(一般放送 非常放送) ローカル放送用 自動放送はアッテネーターを経由した回路とする。
	スピーカ	特記なきものは S.C.Hi-1V ₂ -M
誘導支援設備	工事範囲	配管 配線 機器取付
	工事内容	音声誘導装置 検出方式(磁気式 無線式 画像認識) インターホン 電話式 相互式 テレビインターホン 親機に子機カメラ角度調整機能(上下)を設ける。 トイレ等呼出し装置 1窓 3窓 5窓 呼出しボタン 壁付ボタン(プルスイッチの長さは0.2m程度とする) 通話機能 壁付押しボタン(押しボタンの長さは1.2m程度とする) 受付呼出し装置 誘導音
	工事範囲	配管 配線 機器取付
	アンテナ	UHF用 BS用 CS用 AM用 FM用 CATV
	アンテナマスト	壁面取付形 自立形 配管用ステンレス鋼管 一般構造用炭素鋼管(溶融亜鉛メッキ仕上げ) 圧力配管用炭素鋼管(溶融亜鉛メッキ仕上げ)
	電界強度測定	電界強度及び画質は、最上階が打上がったときに、アンテナ取付予定位置、またその周辺で測定し、その測定記録を監督職員に速やかに提出すること。 測定チャンネルは、監督職員と協議する。

章	項目	特記事項
監視カメラ	工事範囲	配管 配線 機器取付
	画像	カラー 白黒
	伝送方式	ネットワーク伝送方式 デジタル同軸伝送方式 ○
管駐車場設備	工事範囲	配管 配線 機器取付
	車両検出方式	ループコイル方式 光線方式
防犯・入退室管理設備	工事範囲	配管 配線 機器取付
	工事種類	機械警備用配管 防犯装置 入退室管理制御装置
火災報知設備	自動火災報知装置	工事範囲 配管 配線 機器取付
	受信機	形 級 回線 壁掛形 自立形 単独形 複合形 耐受信機 窓 盤面に消火ポンプ運転表示灯を設ける。
	光警報装置	
	消火ポンプ始動	消火栓箱内押ボタン 発信機と連動(総合盤に始動表示灯を設ける。)
	機器収容箱	消火栓一体形 単独形
	自動閉鎖装置	工事範囲 配管 配線 機器取付 連動制御器 回線 【予備電源(蓄電池)内蔵】 単独 自火報受信機と一体
	自動閉鎖装置	防火戸用【DC24V 0.6A以下電磁式またはラッチ式】 防煙ダンパ用 【別途工事 瞬時通電式又は電動式 DC24V 0.6A以下 遠方復帰機構(電動式)DC24V 0.7A以下】 防火シャッター用 【別途工事 DC24V 0.6A以下】
	非常警報装置	工事範囲 配管 配線 機器取付 電気方式 DC24V 警報装置 非常電源(蓄電池) 自動火災報知設備と兼用
	ガス漏れ火災警報装置	工事範囲 配管 配線 機器取付 受信機 単独形 自火報受信機と一体
	ガスの種類	都市ガス(13A) 液化石油ガス
諸警報表示	受信機に諸警報表示窓(窓)を設ける。	
制中央監視設備	工事範囲	配管 配線 機器取付
	監視方式	警報盤 監視制御装置
医療関係設備	工事範囲	配管 配線 機器取付
	非接地電源用分電盤	キャビネット 鋼製 ステンレス製
	ナースコール装置	トイレ及び浴室等の 呼出押ボタン 有線式 無線式 防滴 防湿
	その他	オプション等の試験は、監督職員の指示による。
構内配線	電気方式	配管 配線 機器取付
	高圧	三相3線式 6kV 三相3線式 200V 単相3線式 100/200V 単2線式 (100V 200V)
	低圧	管路式 波付硬質合成樹脂管(FEP) ポリエチレン被覆管(PLP)
	ふ設方式	埋設深さ 特記なきものはGL(舗装がある場合は、舗装下面) から300mm以上とする。
	架空線	電柱 速心カプレストレストコンクリートポール
	区分開閉器	用途 架空引込用 地中引込用 耐中埋じん用 耐重埋じん用 形式 引外し装置付き(SOG形) 引外し装置なし 避雷器内蔵 制御電源用変圧器内蔵
	マンホール及びハンドホール	構造・寸法 標準図による 蓋の文字 蓋の用途表示は電力とする。 ハンドホールにおいてもケーブル支持材を設ける。 ケーブルが直接接触しない場合の金物は、接地を省略してもよい。 屋外に使用する高圧ケーブルはEM-高圧架橋ポリエチレンケーブルは、JCS 4395「6600V 架橋ポリエチレンケーブル(3層押出型)」に(よる ○よらない) 余長 高圧ケーブルは、受変電設備までの配線経路中、1ヶ所以上で3m余長をとる。 耐圧ケーブルは、耐圧用 重耐圧用
	端子、高圧ケーブル 端末処理	一般用 耐塩形
	避雷器	屋外形 耐塩形
	装柱材	一般用 耐塩形
外灯	基礎 本工事 別途工事 外灯ポールの材質が鋼製(SPC)の場合で特記がない場合は溶融亜鉛メッキとし、指定色塗装とする。	
構内通信線路	工事範囲	配管 配線 機器取付
	ふ設方式	埋設深さ 特記なきものはGL(舗装がある場合は、舗装(表層)下面) から300mm以上とする。 架空線 電柱 速心カプレストレストコンクリートポール
マンホール及びハンドホール	構造・寸法 標準図による 蓋の文字 蓋の用途表示は通信とする。 ハンドホールにおいてもケーブル支持材を設ける。 ケーブルが直接接触しない場合の金物は、接地を省略してもよい。	

章	項目	特記事項
調査	調査範囲	測定のみ 対策工事実施設計書作成まで 工事前 工事中 完成後
	測定時期	箇所
	測定箇所	受信可能な全チャンネルとし、結果報告書を提出する。
	測定内容	

別表 付属品・予備品

イーザーキャビネット	箱	キーボックス	テスター	マンホールフック
工具箱(ドライバー、モンキーレンチ、組スパンナー、ハンマー)				
受変電設備・盤		ランプ及びヒューズの予備品は、2.0%とする。		

試験・検査一覧

工事完成に際しては、各種試験、検査に合格の責任を持つ。
検査及び試験を行うべき機材等は標準仕様書による他下記の項目とする。
受変電機器 動力盤及び電灯盤 耐圧試験 絶縁抵抗測定 接地抵抗測定 機器機能試験 その他監督職員の指示するもの
工事着手に際し、事前に必要な機器(照明機器、空調機器、放送設備等)の機能確認を行い、確認結果報告書を提出する。
工事着工前に既設照明器具で床面照度を測定し、完成後の照度と比較する。(照度測定箇所は監督職員の指示する箇所とする。)
○着工前・工事完成後、空調機器の機能・調整確認を行い、確認結果報告書を提出する。
○着工前・工事完成後、放送機器の機能・調整確認を行い、確認結果報告書を提出する。
後施工アンカ-の施工確認試験(引張試験による引張試験)は、1日の施工本数の3%以上かつ3本以上とする。
例 盤・ケーブルラック・ケーブルダクト等

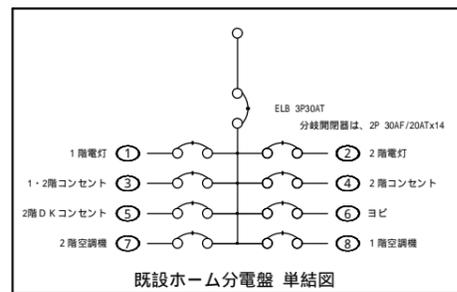
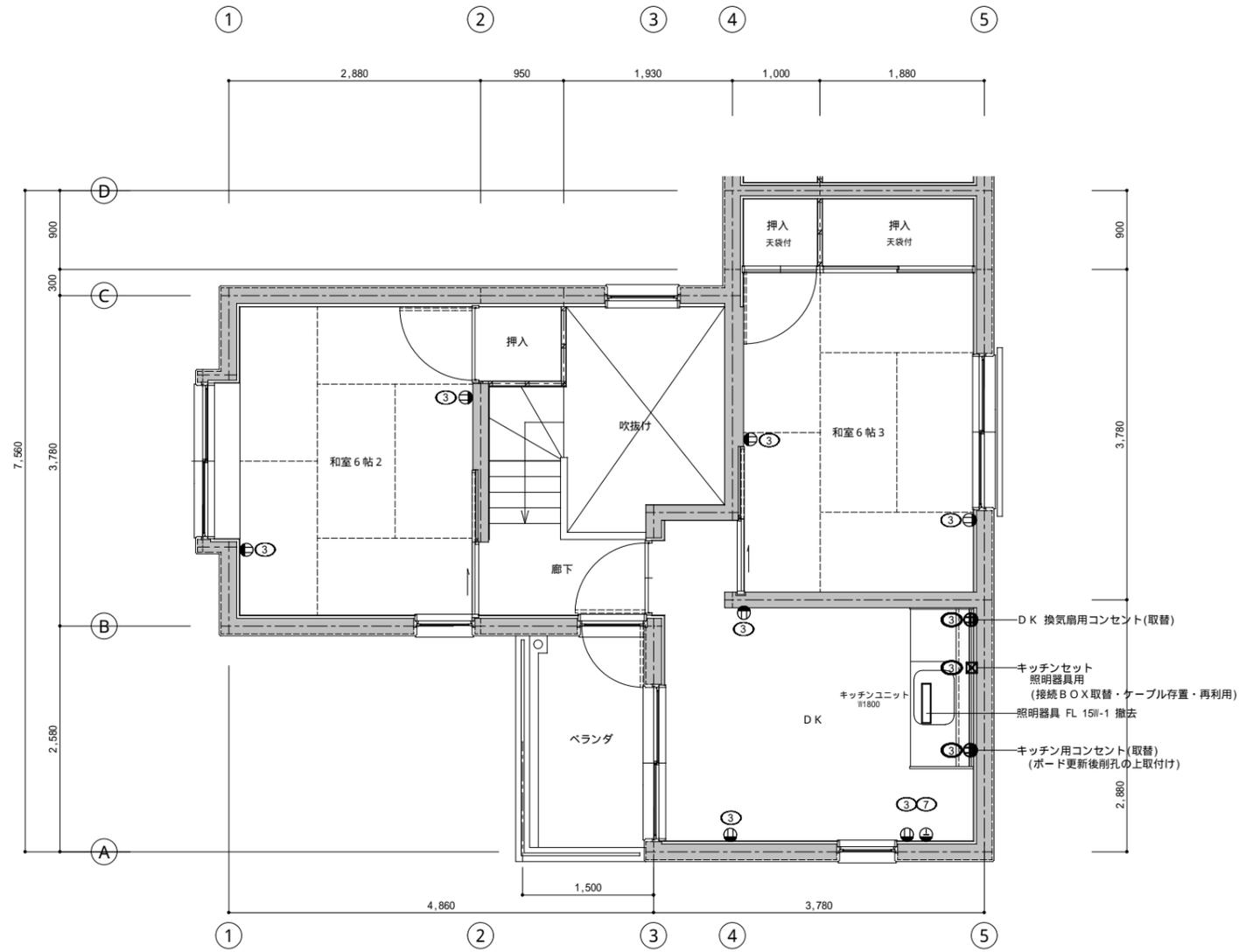
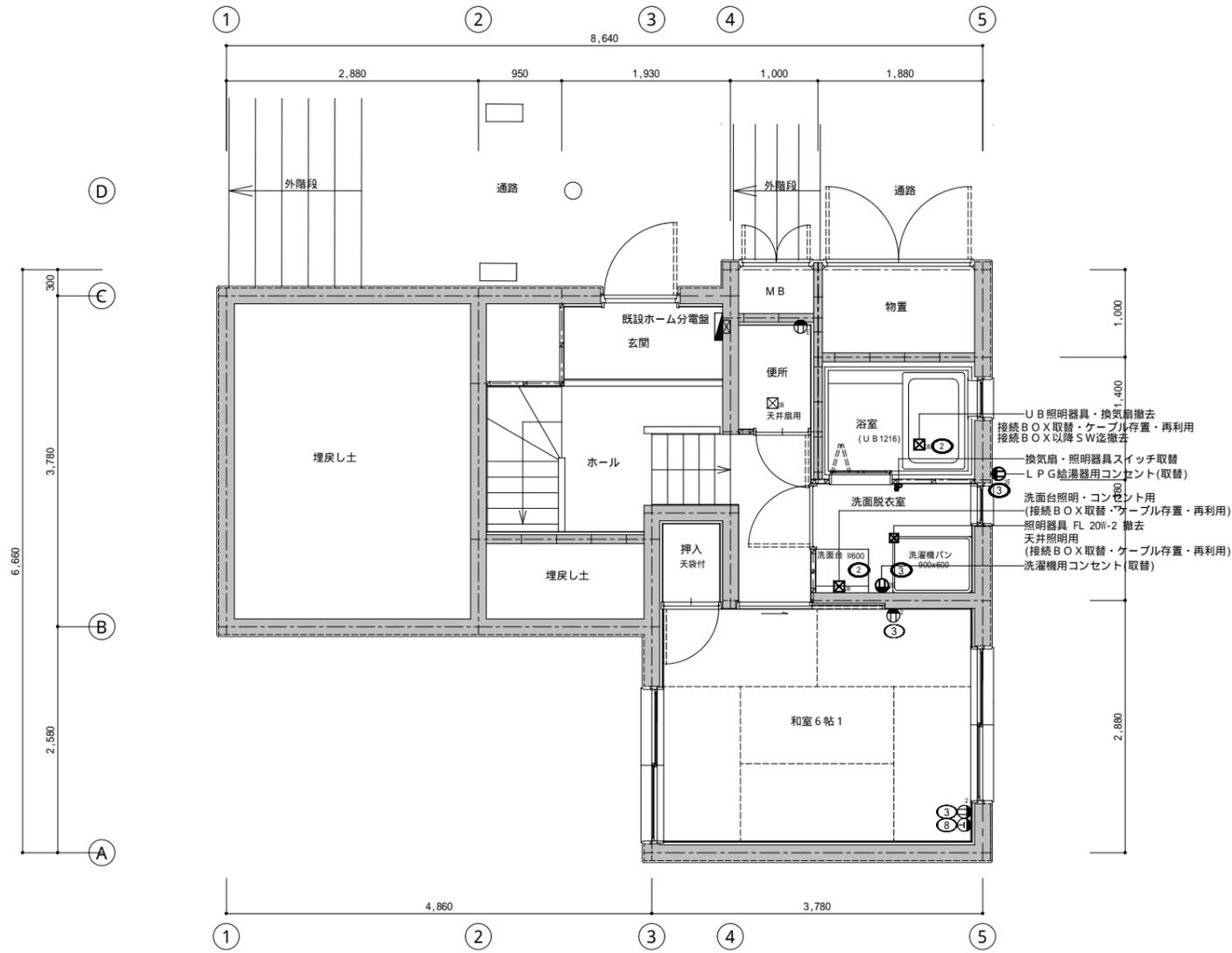
その他

試験機器類の校正記録を提出する。
停電工事の必要な時は、当該高圧受変電設備の電気主任技術者と協議し、打合せ記録を提出する。
尚、電気主任技術者の立会費用は本工事に含む。
工事に係る申請手続き費、消防設備竣工検査費、高圧電気設備検査等の竣工に必要な費用は本工事に含む。
分電盤等の端子接続部施工管理手順は、電気設備工事監理指針(令和4年度版)の資料5(P1119)に基づき施工する。
鉄筋コンクリ-トをダイヤドリル等で貫通する時は、鉄筋探査機で開口位置を確認する。
整備不良の電動工具等持ち込まない。
構外搬出適切産廃処分とする(電線、電線管、器具、管球等報告書を提出する)。
交通誘導員は大型機器搬入時及び監督職員が必要と指示した時は、安全確保のため交通誘導員を2名以上配置する。
カラーコーン、コーンウェイト、コーンバーにて囲いながら掘削する。

機器取付高さ(参考寸法の為、盤の寸法・取付位置は監督員と協議する。)

	名称	測点	取付高(mm)		名称	測点	取付高(mm)	
電力共通	取引用計器	地上-上端	2,000	電	端子盤	床上-上端	1,900	
	引込開閉器	〃	1,800		保安器函	天井下-上端	200	
					壁付位置ボックス	床上-中心	300	
動力	壁掛型制御盤	床上-上端	1,900	話	〃(和室)	〃	150	
	手元開閉器	床上-中心	1,500					
	操作スイッチ	〃	1,300					
力				拡声、時計	壁掛スピーカー	天井下-上端	200	
					アッテネーター	床上-中心	1,300	
					壁掛型親時計	床上-上端	1,900	
電灯	分電盤	床上-上端	1,900	インターホン	子時計	天井下-上端	200	
	スイッチ(一般)	床上-中心	1,300					
	〃(身障者便所)	〃	900		壁掛インターホン	床上-中心	1,500	
	コンセント(一般)	〃	300		〃(身障者)	〃	1,100	
	〃(和室)	〃	150		壁付位置ボックス	〃	300	
	〃(台上)	台上-中心	300		〃(和室)	〃	150	
〃(土間)	床上-中心	1,300						
灯	ブラケット(一般)	〃	2,100	テレビ共聴	機器収納函	天井下-上端	200	
	〃(踊場)	〃	2,500		直列ユニット	床上-中心	300	
	〃(鏡上)	鏡上端-中心	150		〃(和室)	〃	150	

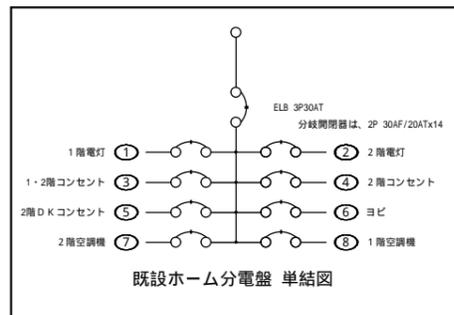
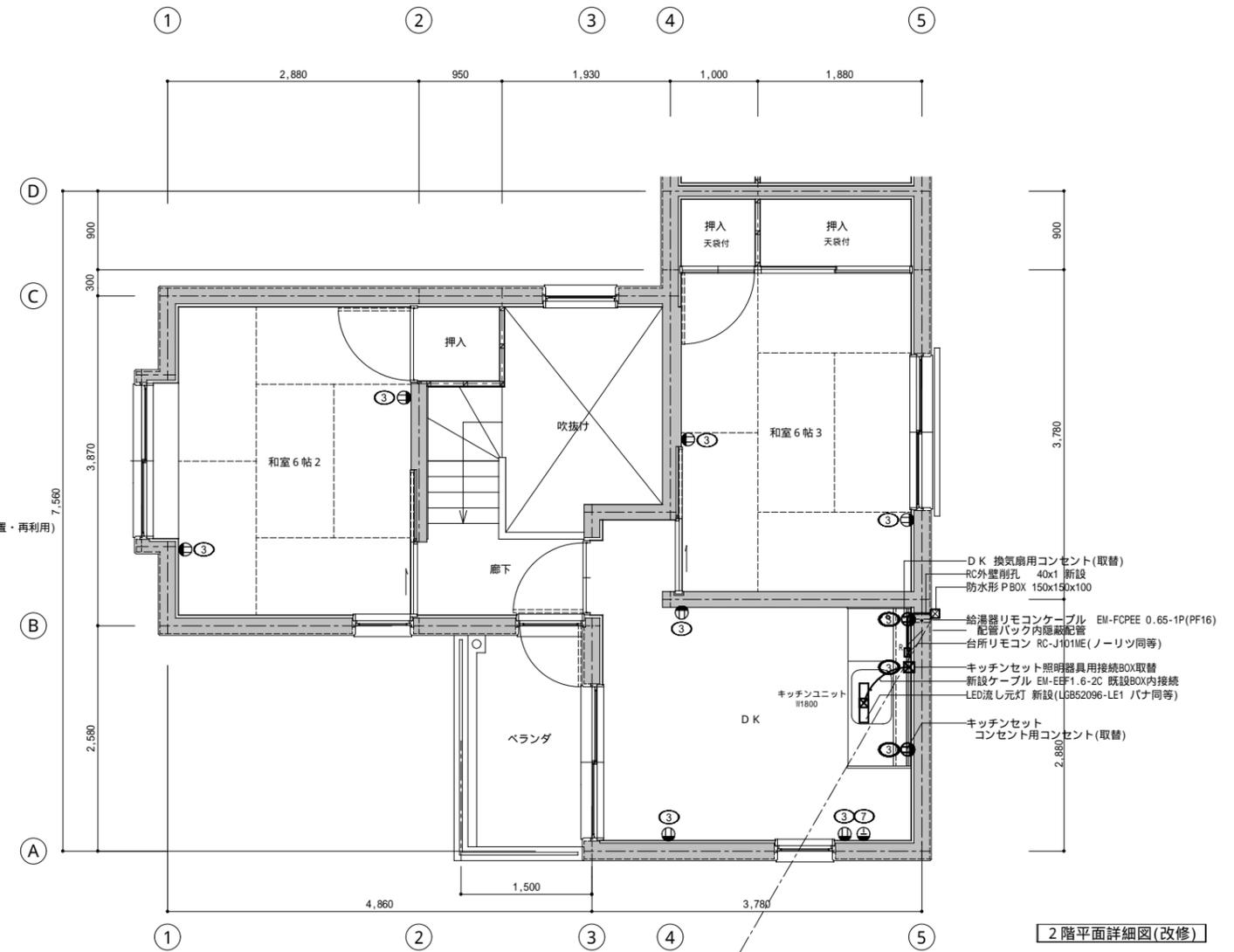
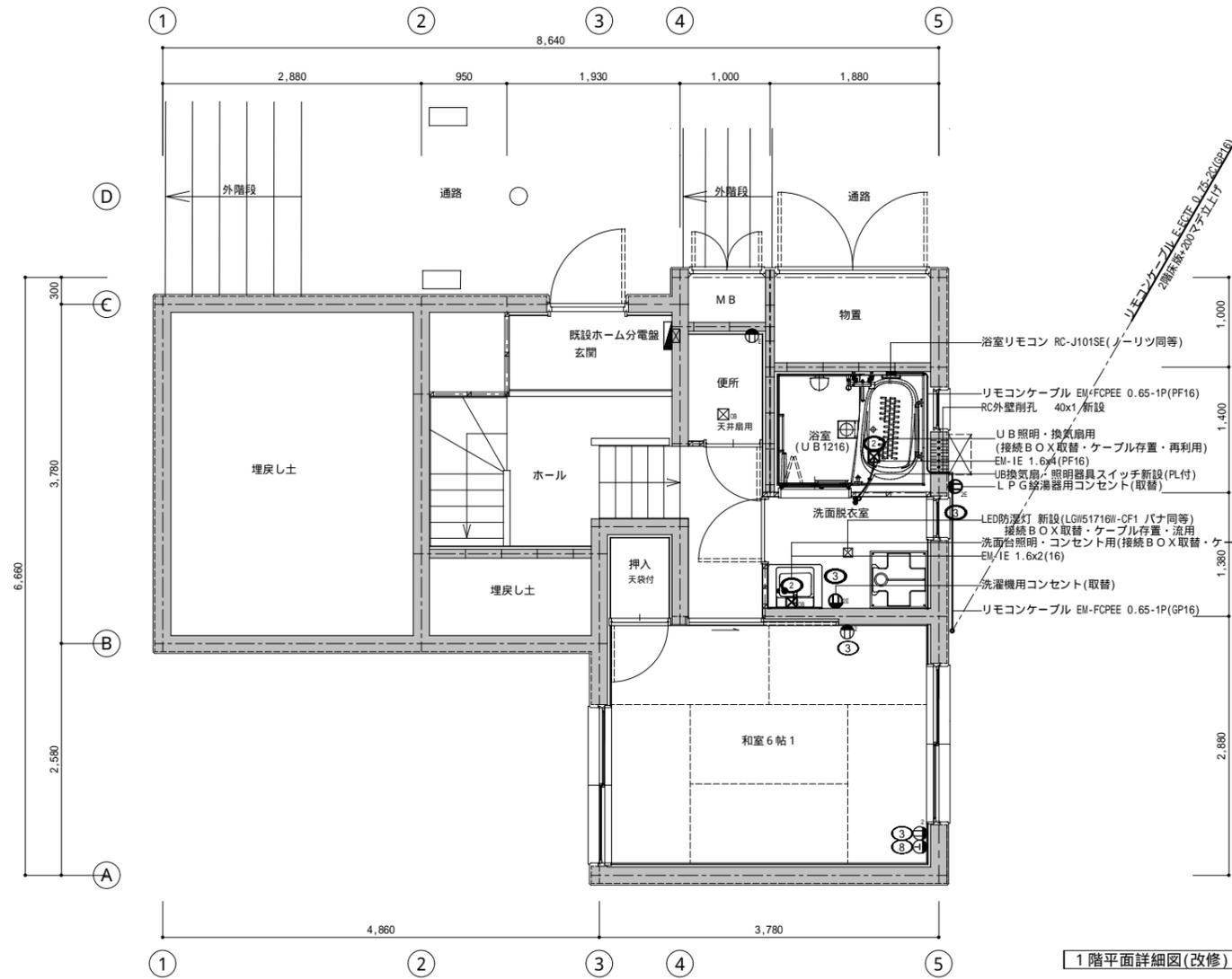




1階平面詳細図(現況)

2階平面詳細図(現況)





LED流し元灯 更新 LGB52096LE1(パナソニック同等)	LED防湿灯 更新 LGW51716WCF1(パナソニック同等)
	
昼白色(5000K)、Ra83 器具光束980lm、消費電力12W、電圧100V 拡散タイプ、コンセント付 カバー：プラスチック(乳白) スイッチ付、両面化粧タイプ	電球色(2700K)、Ra83 器具光束705lm、消費電力7.8W、電圧100V 防湿型・防雨型、拡散タイプ、ネジ込み方式 プラスチック(ホワイト) カバー：アクリル(乳白)

- 1: 電気配管は特記なき限りPF16とする。
- 2: 換気扇スイッチ・UB照明スイッチは、大角運用型・新金製・Pランプ付とする。
- 3: 給湯器用リモコンケーブルは、EM-ECTF 0.75-2C(16)とする。
- 4: 給湯器リモコンケーブル配管は、給湯管に並置して配管する。

